



# 地域による学校支援活動

## 事例集

平成 24 年度

文部科学省  
生涯学習政策局  
初等中等教育局

# 地域による学校支援活動事例集発行にあたって

文部科学省では、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支援する「学校支援地域本部」や「放課後子ども教室」の取組等を推進しており、現在は、全国各地でその地域の特色にあった様々な活動が行われております。

あわせて、地域の人々（保護者・地域住民等）と目標を共有した上で、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」の全国展開を目指しており、その有効な仕組みとして「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を推進しております。

本事例集は、平成24年度に行った「優れた「地域による学校支援活動」推進に係る文部科学大臣表彰」において、表彰を受けられた全国各地の「地域による学校支援活動」を広く紹介するために作成いたしました。

「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の取組と連携した「地域の方々による学校支援活動」や、「学校支援地域本部」及び「放課後子ども教室」等の更なる推進並びに一層の活動内容の充実のために、ご活用いただければ幸いです。

末筆ですが、本事例集の作成にあたりまして、関係者の皆様方の多大なご協力をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

平成25年3月

文部科学省  
生涯学習政策局社会教育課  
初等中等教育局参事官付（学校運営支援担当）

# 目 次

●はじめに ..... 1

●「地域による学校支援活動」事例

都道府県 市名	市町村名	活動名または学校名	活動区分				こんな活動です	ページ
			本部	放課後	CS	その他		
北海道	根室市	根室市放課後子どもプラン運営委員会		○			放課後子ども教室と児童クラブの一体化した運営	6
	砂川市	砂川市放課後子ども教室	○	○			地域のサポーターが子どもの見守りと豊かな体験活動を推進！	7
	枝幸町	枝幸町学校支援地域本部	○	○			地域で育てる枝幸の子どもたち 学校と地域のWin - Winな関係を目指して！	8
青森県	五所川原市	栄小支援センター	○				子どもたちの笑顔とがんばりのために！ ～今日も楽しく学校支援～	9
	弘前市	弘前市立第一中学校学校支援地域本部 αネットワーク	○				「我らは一中応援隊」地域財産である自然、歴史、風土を感じるための応援隊として活動	10
	今別町	今別町学校支援地域本部	○	○			地域で子どもを育てる活気ある町づくりを目指して！	11
岩手県	釜石市	釜石小学校支援地域本部	○				「できることを、できるときに、できるところから」 「べっこすけっから」で広がる輪	12
福島県	大玉村	大玉村学校支援地域本部	○	○	○		みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ大玉の教育	13
	鏡石町	鏡石町学校支援地域本部	○	○			「学校が元気になれば町中みんなが元気になれる！」 ～元気のスパイラル～	14
	本宮市	ぬかざわ遊友クラブ	○	○			日常的集団遊び場としての放課後子ども教室を目指して！	15
栃木県	さくら市	喜連川小学校地域応援隊	○				新たな地域と学校の協働を目指して 共に歩む喜連川小学校地域応援隊	16
	日光市	大沢地区放課後子ども教室		○			心豊かで健やかな子どもを 「地域で、守り・育む」放課後活動	17
群馬県	伊勢崎市	学校支援ボランティアセンター 「うえにの森」	○				出会い・ふれあい・ボランティア －「子どもの笑顔に触れて、楽しんで」－	18
	中之条町	東部学校支援地域本部	○				各校の要請で「お助け隊」が子どもたちのために活躍中！	19
埼玉県	上尾市	上尾市立上尾小学校きらきら応援団	○				児童も教師も地域も、笑顔いっぱい、元気いっぱい。 地域と密着した教育活動の展開！	20
	蕨市	蕨市放課後子ども教室		○			わらびっ子のつよお～い味方！！ “地域力”が子どもの居場所づくりをサポート	21
	飯能市	飯能市立双柳小学校応援団	○				地域の力を学校に、多彩な体験授業や自治会と連動した活動の実施	22
千葉県	習志野市	秋津小学校学校運営協議会			○		学校と地域の軽やかな関係を構築	23
	我孫子市	根戸小あびっ子クラブ		○			子どもたちを見守り育てる地域づくりは、 ここから始まった！根戸小あびっ子クラブ	24
	木更津市	木更津市 学校支援ボランティア活動推進委員会	○				木更津発トライアングルハッピー ～家庭・地域・学校が1つになれば、みんなが幸せに～	25
東京都	杉並区	杉プラン (杉並第一小学校学校支援本部)	○	○	○		「ふるさと杉」を意識し、 学校・地域・保護者が一体となった学校支援	26
	小平市	小平市立小平第四小学校	○	○	○		「かかわろう・みまろう・そだてよう」をモットーに、 地域と共に子どもたちを育成！	27
	文京区	文京区立誠之小学校	○	○	○		地域からのさまざまな支援を受けながら 学校のそして子どもたちの未来が輝いている	28
神奈川県	厚木市	しみずっすこやかネットワーク会議				○	学校と地域の連携強化！！安心・安全に「しみずっすこ」 がすこやかに育つことを願って	29
	厚木市	相川小学校放課後子ども教室		○			「学習・体験・交流・遊び」をプログラム。 児童の入退室はメール配信サービスで安心！	30
新潟県	燕市	燕市立吉田小学校	○				学校・家庭・地域が信頼と笑顔で結ばれ共に喜びと感謝が育つ活動	31
	新発田市	新発田市立東豊小学校	○				地域ぐるみで学校を支援。 多くの活動にゲストティーチャーが参画！	32
	上越市	中郷の子どもを育てる会	○		○	○	地域の様々な活動に参画する生徒が、まちづくりの鍵	33
富山県	魚津市	本江子ども教室		○			地域に密着した多様な活動！本江子ども教室	34

都道府県市名	市町村名	活動名または学校名	活動区分				こんな活動です	ページ
			本部	放課後	CS	その他		
石川県	津幡町	萩野っ子げんき塾		○			子どもの「郷土愛」を育む活動 ～子どもを育て「地域力」UP！～	35
	小松市	荒屋小学校支援地域本部	○				安全確保・環境整備からクラブ指導まで、 多彩な支援活動で学校教育をバックアップ	36
	輪島市	協育推進町野地域本部	○	○			少子高齢過疎が進む中、子どもたちは地域の宝。 地域総ぐるみで見守り、磨きをかける。	37
福井県	大野市	阪谷放課後子ども教室		○			地域の子どもは地域で育てる。 地域住民が講師となり、体験学習を行う。	38
山梨県	南アルプス市	みんなで汗をかく地域八田	○				地域の宝・子どもの育成に向け、八田小を核に地域 総ぐるみで地域の教育力の向上を図る	39
	北杜市	北杜市放課後子ども教室		○			「放課後子どもプランの推進」 小学校や放課後児童クラブとの連携を図っています！	40
	甲斐市	甲斐市立双葉西小学校 学校支援地域会議	○		○		「ともに学びともに育つ」～地域による様々なボラ ンティアが学校を活性化させる～	41
長野県	上田市	上田市立浦里小学校			○		地域と共に育つ 地域・保護者・学校 三者が一体となった学校づくり	42
	諏訪市	中洲小学校学校運営協議会			○		「学校に出かけよう 学校に手を貸そう 共に学ぼう」 「地域が誇れる学校づくり」	43
岐阜県	郡上市	郡上市学校支援実行委員会	○	○			地域は学校の応援団 ～できることをできるときに無理なく楽しく～	44
	恵那市	恵那市子ども教室		○			保護者や地域の方々と一緒に、 楽しみながら成長できる子ども教室	45
愛知県	知多市	岡田放課後子ども教室		○			地域、学校、家庭をつなぐ架け橋！ ～地域の力で安心・安全な居場所づくり～	46
	東郷町	兵庫小学校放課後子ども教室		○			～学び・遊び・体験・ふれあい～ 元気にあそぼう！体験活動にチャレンジしよう！	47
	幸田町	荻谷放課後子ども教室		○			年間を通して子どもたちの安全・安心な居場所づくり	48
三重県	いなべ市	石博の里 コミュニティ			○		子どもは地域の宝 交流・協働・共育の学校づくり・人づくり・里づくり	49
	津市	高野尾小学校 学校支援本部	○				高野尾発、地域ぐるみのキャリア教育！	50
	亀山市	ののぼりくらぶ		○			自然とふれ合う実体験で子どもは成長する！ 自然体験型教室の実施	51
京都府	笠置町	笠置小学校支援地域本部	○	○		○	家庭教育支援活動から子どもの体験活動を含めた 一体的な学校支援活動！	52
	長岡京市	長岡京市立長岡第四中学校 学校支援地域本部	○				教室の外でも使える「英語」をめざして ～地域ボランティアによる英語学習の支援～	53
大阪府	河内長野市	河内長野市立美加の台中学校区学校支 援地域本部 ゆめ☆まなびネット	○	○		○	つながる美加の台！！ ～心豊かに たくましく きらり輝く 美加の台っ子～	54
	—	大阪府立東大阪支援学校	○	○			開かれた学校づくりで、子どもたちに豊かな体験活動 を！	55
	和泉市	幸小学校げんきっ子プラザ		○			子どもたちの「やってみたい！」をかたちに。	56
兵庫県	南あわじ市	南あわじ市立市小学校	○				地域に学ぶ、地域で育つ。 地域の優れた人材を活用した学校教育活動！！	57
	上郡町	山野里小学校放課後子ども教室		○			統合後の旧校区では公民館実施！ 下校バスの活用 で1校区3会場の子どもの教室が実現！	58
	芦屋市	Smileねっと				○	「無理なく・楽しく・できることから」 地域全体で児童が心豊かに育つ環境づくり	59
奈良県	御所市	御所市立御所小学校支援地域本部	○				子どもの笑顔あふれる学校づくりに地域力を活用しよ う！！	60
	大和高田市	大和高田市土曜塾		○			大和高田市土曜塾 一教育力・地域力向上一絆の花を 咲かせる源として！	61
和歌山県	古座川町	古座川町共育コミュニティ推進本部	○				あがらで育てよう こざがわっ子	62
鳥取県	南部町	会見小学校地域協働学校運営協議会			○		一人一役、1000人の瞳で育む ～学校と地域の連携・融合～	63
	伯耆町	伯耆町学校支援地域本部	○	○			町民みんなで子どもたちを育てる学校支援活動 ～誰でも参加できる学校支援活動を推進～	64
島根県	出雲市	多伎地域学校運営ブロック協議会	○	○	○		地域で育む子どもの笑顔『キラリ多伎っ子』の取組	65
	大田市	仁摩学校支援地域本部	○	○			地域が一体となった“心に花が咲く”学校支援活動	66



都道府県 市名	市町村名	活動名または学校名	活動区分				こんな活動です	ページ
			本部	放課後	CS	その他		
岡山県	津山市	津山市立東小学校学校支援活動	○				学校と地域ががっちりスクラム！！	67
	総社市	わくわく温羅クラブ昭和		○			あるがままの姿で！子ども同士の豊かな関わり合いの中で成長を！	68
広島県	大崎上島町	わくわくスクール東野教室		○			特色ある多様な活動と安全・安心な子どもの居場所づくり	69
	府中町	府中町学校支援地域本部	○				地域コーディネーターのチームワークによる学校支援！！	70
	安芸太田町	戸河内小学校放課後子ども教室		○			学校や地域、各種団体との連携を密にした放課後子ども教室の運営	71
山口県	山口市	大殿地域学校支援本部	○		○		みんなの手で輝く学校づくり ～地域のみなさんとともに～	72
	光市	あさなえネット			○		地域力が生きるコミュニティ・スクール ～地域コミュニティの広がりや深まりをめざして～	73
	周南市	福川地区放課後子ども教室		○	○		地域で子どもを育てるネットワークの構築が地域づくりにもつながる！	74
徳島県	鳴門市	撫養クラブ子ども教室		○			～地域に広げる子育ての輪～撫養クラブ子ども教室	75
	徳島市	新町小学校放課後子ども教室		○			地域をあげて、「見守ろう」「育てよう」！ 子どもは地域の宝！	76
	藍住町	児童を守ろう会				○	地域の人々が学校のおじいちゃん・おばあちゃんとして児童と学校を支援する活動	77
香川県	さぬき市	さぬき市放課後子ども教室		○			地域の特性と地域力を活かした学びと交流活動による子どもたちの居場所づくり	78
愛媛県	久万高原町	久万子どもの居場所づくり教室		○			放課後児童クラブとの連携 すべての子ども、地域の方が心地よく過ごせる居場所づくり	79
	新居浜市	地域と共に塩田文化を繋ぐ活動				○	私たちの誇り「多喜浜塩田」をみんなで未来へ伝えよう	80
	伊方町	三崎中学校区学校支援地域本部	○				学校・家庭・地域が手をとり合って、 地域の宝である子どもを育てる	81
高知県	中土佐町	中土佐町立大野見中学校		○	○		内と外に開く教育活動を生徒と教職員が協力して全員で取り組む学校！	82
	大月町	大月町放課後子ども教室		○			大月の子どもは大月で守り育てる！地域に見守られ、豊かに育て 地域の宝「大月っ子」	83
福岡県	春日市	春日南中学校学校運営協議会			○		みらいに羽ばたく なんちゅう生徒を みんなで育てる共育活動	84
	岡垣町	山田小学校学校運営協議会			○		「地域の子は地域で育てる」 —学校教育と連動した家庭・地域活動—	85
	柳川市	蒲池スクールサポーターズ	○				学校の強力な応援部隊として、 行事や教育活動において活躍中！！	86
長崎県	佐世保市	祇園小学校学校支援会議	○	○			合言葉は「心はひとつ チーム祇園」・地域の子どもは地域で育てる	87
	佐世保市	かっちえてクラブ（日野小学校区放課後子ども教室）	○	○			「かっちえて」は、いろんな仲間を増やす合い言葉	88
熊本県	益城町	益城町学校支援地域本部	○				公民館での学習を学校支援活動に活かす！！	89
	宇土市	宇土市立網田小・中学校			○		網田小学校と網田中学校の連携効果を支える、地域の取組	90
	氷川町	氷川町学校支援地域本部	○				地域の力を学校に！～暮らしの中で培った、知識・技術が学校支援の大きな戦力に～	91
大分県	中津市	三光中学校区ネットワーク会議	○				「子どもは地域の宝」を合言葉に 地域ぐるみで子どもたちを見守り育む地域づくり	92
	豊後高田市	高田校区学校支援地域本部会議	○				地域の人材を活かした教育の協働	93
	宇佐市	長洲中学校区地域協育協議会	○				地域総参加で子育てのまちづくり ～地域の力を結集して～	94
宮崎県	小林市	こばやしスクールサポートボランティアセンター（KSSVC）	○	○			市内全域における学校支援体制の整備 ～KSSVCによる運営～	95
	木城町	木城町学校支援地域本部	○	○			地域みんなで子どもを守り・育てる 木城っ子安全守る隊・木城っ子応援隊	96
	高原町	高原地区学校支援地域本部	○				地域みんなで支える学校・育てる子ども ～できることを・できるひとが・できるときに～	97

都道府県 市名	市町村名	活動名または学校名	活動区分				こんな活動です	ページ
			本部	放課後	CS	その他		
鹿児島県	指宿市	丹波小学校区学校応援団事業	○				学校応援団で子どもは笑顔！ 大人はイキイキ！地域は元気！！	98
	南九州市	いきいき大丸学舎		○			地域ぐるみで次代を担う人材を育てる学舎活動	99
沖縄県	那覇市	壺屋小放課後子ども教室		○			学校、地域、子ども教室、学童クラブが連携プレー で子どもの安全を守る！	100
	うるま市	うるま市立具志川小学校支援地域本部	○	○			地域の子どもの地域で育てる (学校と連携した地域住民の参画)	101
	浦添市	浦添市立沢岨小学校支援地域本部	○				地域・保護者・教諭が一丸となったわがシマの学校づくり	102
仙台市	—	加茂中学校区学校支援地域本部	○				「地域の窓口」そして「学校と地域の架け橋」を目指して	103
	—	わいわいパーク黒松	○	○			子どもにも大人にも大切な「居場所」作り。 地域のつながりの中で子育て支援・学校支援	104
さいたま市	—	桜木子ども広場/ 桜木小チャレンジスクール	○	○			特別支援学級・放課後児童クラブ等も含め 全児童対象の楽しい「児童の居場所」	105
	—	三橋いきいき広場/ 三橋小土曜チャレンジスクール	○	○			子どもたちが元気で楽しく遊びまわる場所、 たくさんの方の選択肢から自由に選ぶ	106
新潟市	—	新潟市立味方小学校	○				「子どもの笑顔を真ん中に！」を合い言葉に 地域を挙げた学校支援	107
	—	新潟市立東中野山小学校	○				学校が元気に！地域が元気に！子どもが元気に！	108
名古屋市	—	小幡北小学校トワイライトスクール		○			地域の力を活用して、子どもたちに豊かな「遊び」 「学び」「体験」「交流」の場の提供	109
	—	金城小学校 放課後子どもプランモデル事業		○			地域の力を活用して、子どもたちに豊かな「遊び」 「学び」「体験」「交流」「生活」の場の提供	110
京都市	—	新町小学校学校運営協議会			○		学校運営協議会を核とした地域ぐるみの学校づくり	111
	—	神川小学校放課後まなび教室		○	○		自学自習の学習習慣の定着！ 工作や手芸などの特別活動も実施！	112
大阪市	—	高津小学校「いきいき」活動		○			伸び伸びと楽しく活動する「いきいき」を求めて	113
	—	五条小学校「いきいき」活動		○			「楽しく過ごす」いきいき活動をめざして	114
堺市	—	堺市立錦西小学校				○	地域の伝統産業を活かすなど 保護者、地域の方の多様な学校支援！	115
秋田市	—	仁井田放課後子ども教室		○			地域ボランティアの協力を得て児童館で放課後子ど も教室を開設	116
郡山市	—	郡山市西田地区学校支援地域づくり	○				地域の教育力を学校の支援に！ できることから無理なく・長く・楽しく続ける学校支援	117
前橋市	—	前橋市立大胡東小学校学校支援セン ター	○				支える、見守る地域の力！ 外部コーディネーターがつなぐボランティア活動	118
高崎市	—	高崎市立箕輪小学校 学校支援センター	○				交流を通して地域の人々の思いや願いを知り、 本物の「人・もの・文化」を学ぶ。	119
金沢市	—	西南部中学校支援地域本部	○				地域の力が注がれる学校をめざして ～新しい風が吹く学校～	120
岐阜市	—	長森南小学校運営協議会			○		地域ぐるみで子どもをはぐくむ長森南 ～安全で快適な教育環境の実現～	121
奈良市	—	三笠中学校区地域教育協議会	○				「地域の子どもの地域で育てる！」 中学校区一丸となつての取組。	122
福山市	—	一ツ橋中学校ばーとなー本部	○				公民館長が地域コーディネーター！ 地域と学校の架け橋となり、充実した活動を展開！	123
松山市	—	久枝放課後子ども教室		○			地域とともに、笑顔の居場所づくり	124
久留米市	—	バルキッズ草野	○				合言葉は「子どもは地域の宝！」 多様なボランティアと活動メニューによる学校支援活動	125
鹿児島市	—	武岡小学校地域本部	○				未来を担う子どもたちを地域で育てる 学校支援ボランティア	126

## ● 参考資料

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）について	127
学校・家庭・地域の連携による教育推進活動促進事業（学校支援地域本部、放課後子ども教室）	129
優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰（要項）	131

こんな活動です!!

# 放課後子ども教室と児童クラブの 一体化した運営

## 活動名

根室市放課後子どもプラン運営委員会  
【北海道根室市】

## 関係する学校

花咲小、北斗小、成央小

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	41人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
-	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

年間293日、地域学習をはじめとした多様な活動を実施している。放課後教室(放課後子ども教室、児童クラブ)・児童会館を教育委員会が所管し、社会教育、児童クラブ、PTAなど幅広い関係者の中で、「放課後子どもプラン」として一体的な運営を行っている。平成21年度から、各校区の児童会館を順次小学校内に移行し、放課後子ども教室を開設している。

## 特徴

### <放課後子どもプラン策定にあたって>

根室市では、放課後教室・児童会館を教育委員会が所管しており、「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」を一体的に実施する総合的な放課後対策を推進するため、「根室市放課後子どもプラン」を策定した。

### <特徴的な活動>

各放課後教室にコーディネーターを配置し、学校との連絡調整や活動プログラムを企画している。プログラムの内容については、地域ボランティアの人たちが講師となり、「根室の自然」や「北方領土」などの地域学習を行うほか、長期休業期間中には午前開設を実施し、地域ボランティアの人による学習サポートも行っている。

また、農園活動では、いも植え～収穫までの一連の活動を老人センターと連携することにより、継続的な異世代交流を図っている。

### <広がり・今後について>

各放課後教室では、子どもたちの様子を知らせるために、校区の町内会や保護司会など地域の人たちを対象とした見学会を実施している。見学会を通して、放課後教室への理解が増し、ボランティア登録者も増えている。



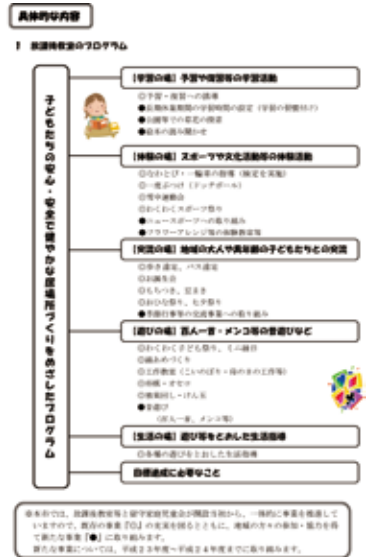
成央放課後教室 「北方領土学習 四島かるた」



花咲放課後教室 「食といのちの学習」



北斗放課後教室 学習サポート



## 事業を実施して

放課後子ども教室と児童クラブを一体化することにより、多くの子どもたちの参加を得ている。様々な体験を通して、子どもたちは地域の人たちと交流し、社会性を身につけ、生きぬく力が育てられている。今後も本事業を継続することにより「子どもは地域で育てる」活動を展開していく。



こんな活動です!!

# 地域のサポーターが子どもの見守りと豊かな体験活動を推進!

## 活動名

砂川市放課後子ども教室【北海道砂川市】

## 関係する学校

豊沼小、空知太小

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	一人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	38人	41日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
体育館他		19年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の大人たちが、子どもの安全・安心な居場所づくりを進めながら、様々な体験活動の機会を提供している。

児童は、活動場所の体育館に来ると、「継続タイム」として、縄跳びやけん玉などの「ジャリン子学習手帳」にあるプログラムに挑戦し、合格してスタンプが貰えるよう熱心に取り組んでいる。

主な活動としては、みんなで遊びながら交流する「ふれあい遊び」や地域の達人や公民館サークルなどが講師となる「達人タイム」、地域の自然や人とふれあう「地域探検タイム」などがあり、また、家庭教育サポート企業(76社登録)と連携した体験活動も実施している。

その日の活動が終わると、指導員が方面別に児童を送りながらパトロールを行い、安全確保に努めている。



地域の子ども110番の家を訪問

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

★企業や公民館サークルなど、地域の大人が活動に協力！子どもたちの豊かな体験活動を支えている。

★子どもたちは、継続タイムに「ジャリン子学習手帳」で体験チャレンジ成果を記録！目標をもって楽しく活動している。

★指導員が帰宅時に子どもを送りながらパトロール！地域の大人が子どもの安全・安心を見守っている。

★「放課GO通信」を毎月発行し、活動の様子を家庭だけでなく、学校・校区の町内会にも発信！学校・家庭・地域の理解が深まっている。

### <実践にあたっての工夫>

☆登録児童を縦割り班で組織し、班対抗で縄跳び大会を開催するなど、継続タイムの活動と関連させながら、異学年交流を進めている。

☆学童保育との連携を密にして、児童の把握や指導に役立てている。

☆学校の学期に合わせて、登録児童の保護者に評価アンケートをお願いし、PDCAサイクルを活かした事業の改善を図っている。

### <その他の特徴>

◎各地域の地理を活かした活動を実施している。

- ・空知太小：近隣公園への探検活動
- ・豊沼小：鉄道を利用した活動

◎毎月1回指導員会議を行い、活動プログラムや児童の様子などについて協議・情報交流を行い、共通理解を図っている。



茶道体験で地域の達人が指導

## 【砂川市放課後子ども教室1日のスケジュール(空知太小地区)】

集団帰宅【夏】5月～9月						
13:30	45	14:00	15:00	16:00	17:00	
集合	継続タイム (15)	活動 (120)	帰りの準備 (15)	さよならタイム (集団帰宅) (45)	帰宅	完了
集団帰宅【冬】4月、10月～3月						
13:30	45	14:00	15:00	16:00	17:00	
集合	継続タイム (15)	活動 (75)	帰りの準備 (15)	さよならタイム (集団帰宅) (45)	全員帰宅完了	

## 事業を実施して

両地区では、学校・家庭・地域の連携と社会教育を通じた教育意識が高まっている。以下、保護者の声を一部抜粋して記載。

○いろいろなカリキュラムを組んでいるので、家ではできない事も経験させていただき、大変良いと思います。

○地域の方々と一緒にいるので、とても安心しています。たくさんのお友達とも遊んだり、いろいろな活動をさせていただいて、ありがたいです。



こんな活動です!!

# 地域で育てる枝幸の子どもたち 学校と地域のWin-Winな関係を目指して!

## 活動名

枝幸町学校支援地域本部【北海道枝幸町】

## 関係する学校

枝幸中、枝幸小

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	120人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	42人	115日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	児童館、文化会館、枝幸小学校、子ども会館	17年度	あり	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成20年10月よりスタートした本事業においては、「できる人が、できる時に、できる事を」を合言葉に地域全体で子どもたちを育てるため、地域の教育力を活かした取組を積極的に推進している。

本部設置以来、職員室内にコーディネーターの執務席を設け、教職員との交流を図りながら学校のニーズとボランティアのマッチングを行い、円滑な運営に努めている。さらにボランティアハンドブックを活用しながら、地域住民が培ってきた知識や経験を学校支援ボランティアで生かし、自己実現や生きがいづくりにつながるよう努めている。

学校の教育活動の充実に資するとともに地域住民による学校支援を地域の活性化につなげるなど学校と地域がWin-Winの関係となるよう取組んでいる。



ボランティアハンドブック表紙

## 特徴

### ☆枝幸町学校支援地域本部事業の取組! ☆

枝幸町学校支援地域本部では、枝幸地区市街地にある枝幸小学校と枝幸中学校を中心に事業を推進している。

学校の教育活動に直接かかわる「学習支援」と校内外の環境整備を行う「環境支援」の活動があり、地域コーディネーターは地域の中から活動に適している人を探し、学校とボランティア双方と打ち合わせを行っている。

○学習支援活動→水泳やスキー授業指導補助、地元の食材を使った地産地消の調理実習、学校農園の苗植え指導、朝読書時の読み聞かせや紙芝居

○環境支援活動→学校花壇整備、雑巾寄付、資源品回収、マラソン大会での街頭の安全確保と応援、図書室支援(本の修繕、書架の整理整頓、図書台帳作成、季節に応じた室内の装飾など)

### ☆こんな工夫をしています! ☆

#### ◇職員室に地域コーディネーターの執務席!

日常のコミュニケーションや職員会議への参加を通じて教職員との連携を図っている。

#### ◇連絡調整会議の開催!

月1回、地域コーディネーター、学校管理職、行政担当者が集まり、進捗状況の確認や情報交換の場を設けている。

#### ◇きめ細かな指導と安全な授業!

水泳やスキー授業には、多くの地域の指導者がボランティアとして関わっている。

子どものレベルに応じた、きめ細やかな指導と安全な授業を展開している。

#### ◇町外からアドバイザーを招聘!

町外の学識経験者の方をアドバイザーとして招聘し、事業に対する助言を受けたり、学校教職員向けの研修会を開催している。

#### ◇ボランティアハンドブックを作成!

ボランティアとしての心構えや事業について理解を深めてもらうため入学式や成果報告会などの際に配布している。



PTAと地域住民による学校花壇の苗植え



きめ細かな指導ができるスキー授業(小学1年)

## 事業を実施して

地域の方々との交流を通じて子どもたちのコミュニケーション能力が育まれている。また、地域の方のこれまでの経験を活かすことで教育活動や環境整備の充実が進んでいる。

ボランティアとして関わる方は、これまで学んだ成果を発揮する生涯学習の場となっている。また、学校支援活動や地域住民の授業参観の機会などを通じて、学校に出入りする機会が増え、「学校が身近に感じられるようになった。」という声も聞こえている。引き続き地域全体で子どもを見守り育てる環境づくりを推進していく。

こんな活動です!!

# 子どもたちの笑顔とがんばりのために! ～今日も楽しく学校支援～

## 活動名

栄小支援センター【青森県五所川原市】

## 関係する学校

栄小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	25人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	-		一年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学習アシスタントやゲストティーチャー、環境サポーターなど、さまざまな形で学校支援に取り組んでいる(家庭科実習、校外学習の引率、音読や九九の聞き取り、読み聞かせ、図書の補修、ミシンの点検・修理、学校農園の整備、参観日の託児など)。PTA退会後の保護者も地域住民という立場で引き続き学校支援に関わっており、学校・保護者・地域の協働による学校支援が行われている。



音読聞き取り



ミシン点検

## 特徴

- ・新入学児童には特に手厚く下校指導や給食配膳の支援を行っている。給食配膳はひと月近く行われるため、新入生がボランティアの名前を覚えてくれたり、担任とも距離が近づきやすい機会となっている。
- ・スタッフルームはボランティアが打合せや活動後の振り返りを行うだけでなく、自由におしゃべりしたり、時には子育ての相談が飛び出したりと、仲間と交流することでボランティア自身が元気になる場となっている。
- ・ボランティアを招待し児童と一緒に給食を食べる「昼食会」を行い、ボランティアへの謝意を表すとともにボランティアと学校、児童との連携を深めるための活動になっている。ボランティアも児童から元気をもらい、励みとなっている。
- ・ボランティア通信の発行はもとより、学校・学年日より等でも随時活動の様子や、学校や子どもたちの感謝の言葉を紹介することでボランティアも心が温まっている。また、ボランティアの発掘にも役立っている。

### 体験ボランティアのお知らせ

\* \* \* \* \*

平成24年度も学校支援ボランティア活動がスタートしました。4月早々から新1年生の下校支援、給食支援、5月は新しい本(図書)へのカバー作り、運動会準備のお手伝いとお力をいただきました。

★現在、保護者ボランティア10名、OBボランティア12名計22名の方が登録をしています。

ボランティアをする上で大事にしている事は、自分にあった得意なものを支援することです。そして何より無理をしないということ。ボランティア会員の半数の方がお仕事をしていますが、自分の出来る範囲で上手に時間を使って支援に参加しています。

きいてみました。  
ボランティアだと思ってきっかけは!

- ・自分の子供がお世話になったから恩返ししたい
- ・我が子の様子も見れるし、ボランティアさんとの交流も楽しみ
- ・子どもたちの頑張りに応援したいし、地域の学校と支えたい

〈みなさんも、ぜひボランティア体験してみませんか〉

つきましては、3年生学区探検、6年生家庭科支援からこちらからありますので、興味のある方はお申し込み下さい。お待ちしております。

体験ボランティアの募集



一年生への給食配膳



読み聞かせ

## 事業を実施して

東日本大震災の余震が入学式の夜に発生。翌日になっても停電が続き、学校では保護者への文書を出そうにも印刷機が使えない状態であった。ちょうど新入生への読み聞かせで在籍していたボランティアに、急遽「1年生のお便り帳に手書きしてほしい」との依頼があり、全員で手書きした結果、下校までに間に合わせることができた。また、信号機も復旧していなかったため1年生の下校にも付き添った。緊急時にも柔軟に対応できるボランティアに対して、学校との信頼関係がより深まった出来事となった。



こんな活動です!!

# 「我らは一中応援隊」地域財産である自然、歴史、風土を感じるための応援隊として活動

## 活動名

弘前市立第一中学校学校支援地域本部  
αネットワーク【青森県弘前市】

## 関係する学校

第一中学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	70人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

2人のコーディネーターが配置され、日頃から教職員との連絡を図り、校内の環境整備や参観日の際の託児など、学校側の要望を踏まえた学校支援が行われている。中でも、図書室の整備と放課後の開放を継続して実施しており、多くの生徒が自習のために利用するようになった。また、生徒を主役とした地域行事を数多く企画することによって、地域行事への参加率が向上した。

## 特徴

- ・2人のコーディネーターは、PTA役員経験者や学校評議員であるということもあり、学校のニーズをよく理解し、教職員との連携を密にしながら学校支援ボランティアの発掘に励んでいる。
- ・図書室の整備と放課後の開放を継続して実施しており、図書室の利便性の向上と、放課後、多くの生徒が自習のために利用するなど生徒たちの居場所づくりにも貢献している。
- ・沐浴指導及び妊婦体験授業を、実際の経験者であるボランティアの補助により行うことで、生徒全員に公平に指導できるとともに、緊張感を持って取り組んでもらうことができる。
- ・生徒が地域を知るというコンセプトのもと、学校の裏を流れる土淵川を源流付近から学校までの12キロメートル歩くというイベントを実施している。その際の安全確保や炊き出しのために多くのボランティアが関わっている。
- ・「おやじの会」が組織されていて、学校環境整備や通学路の雪片付け、また、文化祭への参加などで活躍している。
- ・PTA集会や参観日の際に託児を実施し、より多くの保護者が懇談会等に参加できるよう支援している。



図書室整備



参観日における託児



文化祭への参加による生徒との交流



放課後の図書室開放



沐浴指導のサポート



土淵川ウォークでの安全確保

## 事業を実施して

- ・各事業にボランティアとして関わる地域住民が増え、地域全体で学校や子どもたちの活動を支援しようという気運が醸成された。
- ・調整池清掃ボランティアや地域の活動へ生徒を積極的に参加させるなど、生徒が地域へ出て行った時の受け皿づくりがなされている。
- ・一中学区安全推進協議会等、地域の警察関係者や防犯協会、町会長、主任児童委員、学区内の小学校を巻き込んだ児童生徒の安全確保のための学校支援体制が確立している。

こんな活動です!!

# 地域で子どもを育てる活気ある町づくりを目指して!

## 活動名

今別町学校支援地域本部【青森県今別町】

## 関係する学校

今別小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	30人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	21人	145日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	今別小学校、今別町中央公民館	19年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コーディネーターが学校の情報を積極的に収集し、ボランティアと調整しながら活動を行っている。公民館を拠点に、子ども教室や公民館活動とも連携した取組が行われている。コーディネーターが、ボランティア同士のつながりを意識しながら活動してきたことにより、住民同士のつながりも広がっている。

## 特徴

- ・コーディネーターが活動に参加するボランティア同士、また地域の団体等との結びつきを意識しながら支援活動を計画してきたことによって、子どもとボランティアとのつながりはもちろんのこと、住民同士のつながりも今まで以上に広がりを見せている。
- ・読み聞かせサークル「こでまりの会」が月2回の読み聞かせを中心に、コマ回し、ビー玉、お手玉などの昔遊びからカルタ大会などを企画し、子ども同士がふれあう場を設けている。
- ・地域の伝統芸能「荒馬」の伝承にも積極的に取り組んでいる。
- ・3～6年生を対象にした毛筆指導を実施している。姿勢や筆の持ち方はもちろん、漢字の成り立ちや地域の昔話などを交えた楽しい指導をしている。
- ・毎月1回、学校支援ボランティアが児童玄関前に立ち、「あいさつ運動」をしている。物事の始まりはあいさつであることを実践をととして子どもたちに伝えている。



巨大シャボン玉に入ろう



伝統を受継ぐ!「荒馬」の伝承



丁寧な指導でめきめき上達「毛筆指導」



シャボン玉の泡を手に集合写真



元気な声が響く「あいさつ運動」



わくわくドキドキの「読み聞かせ」

## 事業を実施して

少子高齢化や過疎化が進む中、学校を地域コミュニティの核としてとらえ、学校支援活動を積極的に実施することで、地域全体で子どもを育てていこうとする体制の確立を目指している。さらに、この活動を、地域の活性化にもつなげようと様々な活動に取り組んでいる。



こんな活動です!!

# 「できることを、できるときに、できるところから」 ちょっと手伝います 『ぺっこすけっから』で広がる輪

## 活動名

釜石小学校支援地域本部【岩手県釜石市】

## 関係する学校

釜石小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	15人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	-		一年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

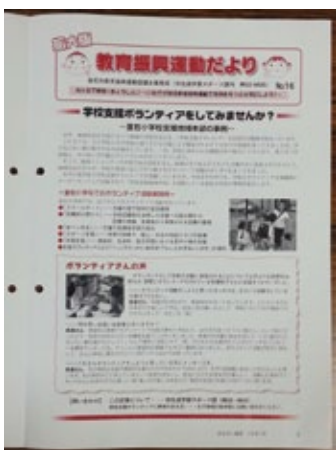
※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

放課後のドリル学習において採点を行う赤ペン先生や、読み聞かせを行う読書ボランティアなどの活動が、地域に根ざして展開されている。家庭で読まなくなった図書の寄贈を受け、第2図書館も開設された。震災により解散を余儀なくされたスクールガードボランティアが、避難訓練や防災マップの見直し活動に、現在でも関わっている。

### 【主なボランティア活動】

- ・放課後学習支援ボランティア
- ・教科学習支援ボランティア
- ・宿泊学習ボランティア
- ・図書ボランティア
- ・キッズマート(就労体験)ボランティア
- ・放課後子ども教室安全管理員



市教育広報誌による事例紹介

## 特徴

- ★地域・保護者・行政が連携して防災教育を実施している。
- ★地域住民による採点ボランティアがドリル学習の支援を行っている。
- ★地域から寄贈された図書を活用して第2図書館を設置し、子どもたちの読書活動を推進している。

### <実践に当たっての工夫>

- ★地域コーディネーターが定期的に広報誌「ぺっこすけっから」を発行し、事業の周知と成果を広報しつつ、新規ボランティアを募集している。
- ★地域コーディネーターが週3回学校に出向き、教職員との連携を図って要請とボランティアのニーズのマッチングを図っている。
- ★放課後子ども教室と連携して、ボランティアを相互に融通しあうとともに、校外活動の場として積極的に活用している。
- ★教育委員会と連携してボランティア研修会を開催し、ボランティアのスキルアップを積極的に行っている。



「赤ペン先生」による採点



図書の修繕



校外活動での見守り



地域一体となった防災訓練

## 事業を実施して

学校では、より充実した教育活動の展開や安全面の確保に確かな効果を感じており、引き続き地域との良好な関係を構築して学校での生活を充実したものにしていきたいと思っている。

ボランティアからは、自分のキャリアが役に立つことへの充実感とともに、学校と子どもたちの元気な様子がよく見えて嬉しいといった感想が寄せられており、地域の宝として一層関与を深めたいという機運が醸成されている。

こんな活動です!!

# みんなで支え、みんなで育て、みんなが育つ大玉の教育

## 活動名

大玉村学校支援地域本部【福島県大玉村】

## 関係する学校

大玉中、大山小、玉井小、大山幼、玉井幼

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	95人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	36.31人	30.29日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	大山公民館 大玉村農村環境改善センター		21年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年4月1日	25人	772人	35学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校からの求めに応じて、漢字や計算プリント学習の丸付けなどの学習補助、定期的な読み聞かせや図書館支援、参観日の懇談会待機児童の見守りなど、コーディネーターが学校側のねらいを受け止め、地域の人材を活かせる学校支援を実施している。コミュニティ・スクールとの連携を図りながら、学校の教育課程に則したボランティアの活用を展開している。

## 特徴

- ★3校2園を統括する地域コーディネーターを配置。学校支援活動を中核に、コミュニティ・スクールを立ち上げた。
- ★漢字・算数の学力向上のため、放課後補充学習に取り組んでいる。指導は教師が担当し、地域のボランティアには主にプリント学習の丸付けを担当していただいている。教師以外の大人にほめられることで子どものやる気を引きだす効果がある。また福島大学の学生ボランティアや退職教員の方に指導入ってもらって授業も実施している。学力向上の効果が期待される。
- ★学校の朝や昼休みにボランティアが定期的に読み聞かせを行っている。学校が地域住民の居場所にもなっている。
- ★地域の歴史、自然、伝統、文化的活動など、地域学習の講師をボランティアが担い、体験学習の充実に取り組んでいる。
- ★大工仕事や剪定作業など、専門業種の方の協力を得て、年間計画では手が回らないような部分の整備、修理を行っていただいている。

23年度の活動内容	活動の種類	対象	内容	延べ人数	
安全ハトール	幼・小・中	年間		16	
学習支援	中学校	地域体験学習の講師		28	
		放課後補充学習		90	
	小学校	書き始め指導		7	
		ミンソウ授業補助		18	
環境整備	中学校	校外学習引率		12	
		緑のカーテン設置作業		16	
	幼・小・中	植木の剪定・花壇整備		22	
		備品の製作・修理		5	
学校行事支援	小学校	待機児童見守り		25	
		学習発表会準備		4	
	中学校	文化祭ダンス指導		10	
図書館支援	小学校	読み聞かせ		24	
		新刊図書の整理		15	
		鼠休み支援		7	
保育活動支援	幼稚園	園外保育の引率		16	
		交通安全教室引率		4	
		ボールそり遊び		30	
		運動会予行練習		7	
		発表会用衣装作り		11	
		餅つき		4	
その他	小学校	カレーパーティのカレー作り		4	
		賞状あて名書き		3	
			設備用鼠休み		1



文化祭ダンス指導(中学校)



放課後補充学習(小学校)



川探検引率(小学校)



そり遊び補助(幼稚園)

## 事業を実施して

～子どもから～川探検では自分たちだけでは見つけられない生き物を見つけてくださった。来年もいろいろ教えてください。・私たちにとっては初めてのことばかりで大変貴重な体験をさせていただいた。  
 ～教師から～特に年配の方は目配り気配りが行きとどいていて本当に助かっている。・ボランティアの方が来てくださることで活動の幅が広がっている。・子どもたちにとって地域の方と直接かかわる良い機会になっている。貴重な体験だと思っている。・いつも温かく見守っていただき大玉の子は恵まれていると思っている。  
 ～ボランティアから～大玉村の子ども達はみんな元気はどこでも挨拶を交わしてくれる。・学校から要請がなくても自主的にボランティアが学校へ入り込めるようになると思う。・子どもたちからお礼の手紙などをもらうのが何よりも楽しみ。・学習支援は書き順など自分の勉強にもなる。自分にとってのチャレンジのつもりでやらせてもらっている。



こんな活動です!!

# 「学校が元気になれば町中みんなが元気になる!」～元気のスパイラル～

## 活動名

鏡石町学校支援地域本部【福島県鏡石町】

## 関係する学校

鏡石中、第一小、第二小、鏡石幼

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	92人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	0人	9人	137日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	鏡石町立第二小学校		19年度	あり
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コーディネーターが全職員を対象に訪問調査を実施、学校の現状や要望を把握。教育課程を考慮した上で、地域の人材を発掘しマッチングを行っており、学校・地域住民双方の意欲が引き出され、活動に生かされている。夏休み中の自主学习支援として、中学校では「フリー寺子屋」、小学校では「寺子屋学習会」を開催し、学習支援にあたっている。また、平成24年度から小学校のクラブ活動支援として、「手話の指導」「裁縫の指導」「トランペットの指導」も行っている。



マスコットキャラクター だんちょう君

年2回の地域教育協議会、年1回のボランティアのつどいを行い、行政・学校・地域が確認できる機会を大切にしている。

登録ボランティアのみならず、かがみいしスポーツクラブ、婦人会、老人クラブ、汗流会、交通安全協会、育児サークル等、各種団体が快く応援する体制が整っている。



「学校応援団! ボランティアのつどい」

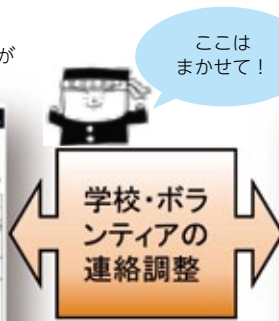
## 特徴

### 基本方針

- ★「学校が元気になれば町中みんなが元気になる!」を合言葉に、行政・学校・地域をつなぐ努力をしている。
- ★公民館に事務局を設置し、社会教育と学校教育が融合した環境のもとで、地域と連携し子どもたちを育成する体制が整っている。
- ★これまでの本気の支援の積み重ねが、震災直後のスピード感ある支援につながっている。
- ★ボランティアは、町内にとどまらず、東京在住、近隣市町村、原発事故による一時避難の方などが登録し、子どもたちのために多方面からの応援をいただいている。

### 活動の流れ

①学校から申請FAXが送られてきます。



②決定通知書を学校に渡します。



### 持続させる努力



「学校応援団! だより」に掲載している4コマまんが

二小 「寺子屋学習会」



一小 「手話クラブ」



鏡石中 「幼児ふれあい」



実施

## 事業を実施して

- ・支援を重ねるごとに、学校とボランティアの心のつながりを感じている。
- ・これまでの支援を通じ、各学校から課題や目標の提示があり、今後の目標達成に向けて連絡調整を重ねていく体制ができてきた。
- ・学校や地域ボランティアが支援を通じて元気になるだけでなく、持続性のある「その先の支援」を目指す町全体の目標作りが課題である。

こんな活動です!!

# 日常的集団遊び場としての放課後子ども教室を目指して!

## 活動名

ぬかざわ遊友クラブ【福島県本宮市】

## 関係する学校

糠沢小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	110人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	53.1人	29日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
本宮市白沢公民館糠沢分館(集会室・和室)		16年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校支援地域本部と放課後子ども教室のコーディネーターが緊密に連携を取り合っており、様々な体験活動が行われており、子ども教室が体験や遊びの場として、学校や地域に浸透してきている。また、子ども教室の活動の場所である地区公民館には放課後児童クラブも併設されており、児童クラブの子どもたちと一緒に体験活動を行うなど、連携を図っている。

## 特徴

### 魅力ある遊び場づくりの心がけ

- ★プログラムの年間計画化・・・集団遊びの経験が薄い子どもたちに遊びのヒントを!
- ★出欠カードの発行・・・参加するたびシールが増えるのでクラブが楽しみ!
- ★学校や児童クラブとの連携・・・希望するすべての子どもたちを受け入れよう!
- ★クラブ通信の発行・・・保護者の理解を図り皆に見守られるクラブ運営を!

### 様々な活動プログラムにチャレンジ♪

おはなし会	集団遊び	昔遊び	工作
◇紙芝居 ◇大型絵本 ◇昔話語り など	◇リレー ◇鬼ごっこ ◇かるた ◇手遊び など	◇お手玉 ◇竹馬 ◇けん玉 ◇ヨーヨー ◇あやとり など	◇折り紙 ◇プラバン ◇バルーン ◇カード など



みんなと一緒に宿題も楽しい時間



かるたなど集団遊びで異学年交流

## 事業を実施して

クラブ実践の中から見えてきた3つのキーワード...

### あそび

#### ●思い切り体を動かす ●遊びを覚える

⇒ 遊ぶ楽しさと達成感を感じる中で基礎体力がついていく。遊びを覚える中で、遊びを通じて努力する心が育ったり、多くの遊びの体験から発想力が養われたりする。

### なかま

#### ●集団での遊び ●学年・地区を越えての交流

⇒ 集団で遊ぶ楽しさを覚え、学年や小さな地区を越えた交流を経験することで、広域の人間関係を形成する力が備わっていく。「地域」としての仲間意識が芽生える。

### 見守り

#### ●地域の方の存在 ●大人と一緒に遊ぶ

⇒ 活動指導員・安全管理員の方との交流を通して地域の方に見守られていることを実感することができる。地域の方の参画により充実したプログラムの実現につながる。



こんな活動です!!

# 新たな地域と学校の協働を目指して 共に歩む喜連川小学校地域応援隊

## 活動名

喜連川小学校地域応援隊  
【栃木県さくら市】

## 関係する学校

喜連川小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	79人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

「開かれた学校づくり」、「地域で支える学校づくり」を掲げ、授業・遊び・図書・環境・安心の各領域で「応援隊」による支援に取り組んでいる。ボランティアルームが校内に設置されているほか、教員研修にコーディネーターが参加するなど、学校と地域の相互理解を深めるための体制が整っている。教員・ボランティア・コーディネーターによる単元づくり(総合学習)も行っている。



コーディネーター会議の様子



教員研修での様子

## 特徴

### <スムーズな活動支援のための取り組み>

- ・校内にボランティアルームがあり、活動に訪れたボランティアの方々が、準備やふり返しをする場として活用している。
- ・毎月1回、学校側と地域側のコーディネーターがボランティアルームに集まり、活動報告や今後の予定等についての会議を実施している。
- ・年度当初の教員研修にコーディネーターが参加し、年間を見通した支援計画を作成するための話し合いや活動に関する情報交換を行っている。

### <ボランティアへの活動機会の提供と相互交流>

- ・夏休みには登録ボランティアを講師に迎え、2日間の体験活動「サマーチャレンジ」を実施している。在校生のほとんどが参加している活動で、約30種類のメニューの中から自分の好きな活動を選ぶことができ好評である。
- ・毎年秋には学校を会場に、登録しているボランティアによる作品展「応援隊アート展」を開催し、児童や教職員、保護者の方々が参観している。作品展をきっかけに、授業での活動に広がりを見せている。
- ・年2回「ボランティア交流会」を開催し、応援隊の分野を越えた交流を行っている。日頃、学校外が活動場所である安心応援隊も学校へ足を運ぶ良い機会となっている。

### <学校と連携した単元づくり>

- ・3年生の総合的な学習の時間で実施していた「地域学習」では、教員やコーディネーター、ボランティアの意見を取り入れ、地域の文化や歴史、産業などを調べる学習に加えて、最後に保護者等に地域ガイドを行う単元に改善した。

### <PTAとの連携>

- ・PTA専門部と一緒に環境整備活動をしたり、総会や研修会等で低学年児童の託児を担当し、読み聞かせや昔遊びなどを実施している。



3年総合的な学習の時間



サマーチャレンジ



応援隊アート展

## 事業を実施して

喜連川小学校は、平成22年4月に旧喜連川町の5校が統合してできた新しい小学校である。統合して地域が広がることで、旧5校で育まれていた学校と地域の関係が希薄にならないように統合を見据えて「地域で支える学校づくり」を掲げ、地域のボランティアによる「喜連川小学校地域応援隊」が発足し活動をスタートした。授業や昼休み、朝の読み聞かせなど、幅広い教育活動の支援をしていく中で、子どもと一緒に応援隊も成長し、サマーチャレンジ等の新たな活動も展開されるようになった。「すぐ近くに地域の孫ができた。」「学校の垣根が低くなった。」など応援隊に意識の変化が生まれるとともに、子ども達にも「地域への愛着」や「地域の人への尊敬・感謝の思い」が生まれてきている。

こんな活動です!!

# 心豊かで健やかな子どもを「地域で、守り・育む」放課後活動

## 活動名

大沢地区放課後子ども教室  
【栃木県日光市】

## 関係する学校

大沢小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	0人	18人	70日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
大沢公民館		20年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる放課後の環境づくりを推進するため、毎週月・水曜日の2回を活動日と定め、平成20年9月に「大沢地区放課後子ども教室」がスタートした。

生活の流れ・施設・活動・下校・言葉の教室における各ルールや共通理解事項を定め、指導ボランティアが協力して公民館で活動している。

### 指導ボランティアが作る活動計画表

5/23	名札作り、アイスプレーキング
5/28	公民館の周り探検
5/30	蒸しパン作り
6/4	外でバドミントン
6/6	自由遊び
6/11	父母にプレゼントするコースター作り
6/13	昔遊び(百人一首、カルタ、けん玉など)
6/20	カモフラージュ
6/25	体育館活動
6/27	14:50下校 お茶体験
7/2	星の観察、七夕の話
7/4	キャッチ・ザ・スティック
7/9	昔遊び
7/11	食育
7/18	じゃがいもピザ作り

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★必ず宿題をしてから活動に入る。
- ★活動内容を大きく、遊び的体験活動、野外体験活動、体育館活動、調理体験活動の4つに分けている。
- ★子どもたちに季節感と地域の伝統を教えるため、季節のイベントを取り入れている。

### <実践に当たっての工夫>

- ★学期ごとに「指導ボランティア会議」を開催し、反省点を次期の活動に活かしている。
- ★「実行委員会」を組織し、学校、公民館、保護者、指導ボランティア、行政が共同して教室を実施している。
- ★新しい指導ボランティアの開拓を図るため、「募集チラシ」を、自治会の協力を得て地区全戸に回覧している。



地域回覧の募集チラシ



食育学習



ジャンボシャボン玉づくり



スポーツ吹き矢体験



冷やし中華調理

## 事業を実施して

【子どもの声】兄弟がいないので、家でできないいろいろなことを、学年の違う友達とやれて楽しい。

【保護者の声】地域のボランティアの方に遊んでもらったり、叱ってもらったり、とても貴重な体験をさせてもらっている。子ども達も学年を超えて、ふれあい、教えあったり、時にはけんかをしたり、泣いたり、笑ったりと、人間関係を学んで、深めているようだ。何よりも子どもは楽しんで参加している。

【指導者の声】生きる力を育む一助になれば良いと思っている。楽しいことも嫌なことも、様々に体験して欲しい。



こんな活動です!!

# 出会い・ふれあい・ボランティア —『子どもの笑顔に触れて、楽しんで』—

## 活動名

学校支援センター「うえにの森」  
【群馬県伊勢崎市】

## 関係する学校

殖蓮第二小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	5人	180人	19年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

本校は、平成16年度文部科学省委託「地域子ども教室」を開設。平成18年度群馬県教育委員会モデル校指定「地域の教育力有効活用推進事業」を受け、ボランティアセンターの運営や、学校支援ボランティアの活用を推進してきた。平成23年度より、コーディネーターを複数配置し、学校の担当職員と地域コーディネーターの連携のもと、きめ細かな支援に取り組んでいる。

### ○学習支援

実技教科の学習補助、校外学習の引率補助、総合的な学習の時間や生活科のスーパーティーチャー、大学生による保健室、特別支援教室への支援等

### ○環境支援

### ○安全支援

### ○読み聞かせ

等、年間を通して計画的に実施している。



活動支援(安全)

## 特徴

本校の学校支援センターは、個に応じた、きめ細かな指導を充実させるために、「学習環境づくり」や「体験的な学習の推進」を支援している。そのため、日常的な活動が求められるようになった。平成23年度より、学校支援センターの運営組織の改善を図り、コーディネーターの複数制をとり、活動に取り組んでいる。校内コーディネーター(教員)は、学校の要望やニーズを取りまとめる。学校からの依頼は、ボランティアリーダー(地域コーディネーター)が、学校の要望やニーズに応じて校内コーディネーターや学校支援ボランティアとの連絡・調整を行っている。

### <実践の工夫>

- (1) 5人のコーディネーターが役割を分担しながら、学習支援から保護者支援まで幅広く取り組んでいる。
- (2) 校内にボランティアルームがあり、学校支援ボランティア活動の拠点として、地域の人が集まりやすい環境をつくっている。
- (3) プルタブ、エコキャップ、ベルマークの回収など、児童(キッズボランティア)の活動を支援し、環境教育にも力を入れている。
- (4) 校区の専門家(農家、大工、商店)、公民館サークル、老人クラブ、大学生など多様なボランティアの方々が参加・協力している。
- (5) 毎年、3月にお世話になった方々を迎え、感謝の気持ちを伝える児童による「ありがとう集会」を開いている。



ありがとう集会



大学生ボランティア



キッズボランティア

## 事業を実施して

- 複数のコーディネーター制の導入による計画的・組織的な活動の充実が図れた。
- 個に応じたきめ細かな指導の充実による、児童の学習意欲や達成感の高まりが見られた。
- ボランティアからのアイデアが学校の活動に生かされるなど、開かれた学校づくりの推進や学習環境の整備と充実が図れた。
- JRC委員および希望する児童から構成されるキッズボランティアによる活動の定着が進んだ。

こんな活動です!!

# 各校の要請で『学校お助け隊』が子どもたちのために活躍中!

## 活動名

中之条町東部学校支援地域本部  
【群馬県中之条町】

## 関係する学校

中之条小、伊参小、名久田小、中之条中

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	348人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

中之条中学校区内の3つの小学校と1つの中学校で「学校お助け隊」という名称で事業を展開している。

各学校からの要望に基づいて、町の生涯学習施設に配置されたコーディネーターがボランティアの紹介や各種活動の連絡調整を行っている。

中学校のキャリア教育では、学校と事業者の仲介をコーディネーターが担って職場体験学習を推進している。

町の生涯学習の方針「300サークルから3つの趣味を!」の実践で培った知識や技術を生かす機会を提供している。



「学校お助け隊」だより No.7~10

## 特徴

### <主な活動内容>

#### ★小学校

- ・栽培活動(稲、じゃがいも、さつまいも、大豆、花)
- ・ミシン指導 ・読み聞かせ
- ・専門家の話(農業、歴史、工場、商店、図書館)
- ・異校種による交流活動(高校・幼稚園)
- ・環境整備(掲示板製作、除草、窓ふきなど)



稲刈り(高校生との交流)

#### ★中学校

- ・郷土料理実習や保育実習への協力
- ・環境整備(除草)
- ・職場体験学習の支援(事業所への協力依頼や連絡調整、事前学習の講師選定)



職場体験(農園:ナスの収穫)



花壇の草取りボランティア

#### ★広報活動

- ・学校お助け隊だよりの発行(年3回、町内全戸配布)

### <実践に当たっての工夫>

- 「学校お助け隊」という分かりやすいネーミングにして地域への浸透を図っている。
- 生涯学習施設である中之条町「ツインプラザ」に拠点を置き、紹介業務を行っている。
- 生涯学習部門の職員や各種サークルとの交流による人材の確保に努力している。
- コーディネーターの学校訪問により迅速な連絡調整を目指している。
- 中学校では職場体験学習を中心としたキャリア教育への重点的な支援を行っている。

## 事業を実施して

- ・地域の方々の協力により、子どもの学習活動が多様で充実した内容になった。
- ・子どもたちはたくさんの人たちと関わり、人との接し方を学ぶことができた。
- ・地域の人たちが能力を発揮できる場として、やりがいや生きがいに繋がっている。
- ・子どもからの「分かった。楽しい。おもしろい。」などの声に、ボランティアからは、「感謝されて嬉しい。」「子どもと接して若くなる。」などの反応があり、共に成長できていることが分かる。



こんな活動です!!

# 児童も教師も地域も、笑顔いっぱい、元気いっぱい。地域と密着した教育活動の展開!

## 活動名

上尾市立上尾小学校きらきら応援団  
【埼玉県上尾市】

## 関係する学校

上尾小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	440人	18年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

「きらきら応援団」には、4つの部門があり、様々な活動を行っている。学習部門では、お話聞き隊、学習補助活動。図書部門では、読み聞かせ、図書室環境整備、図書室貸出返却補助。環境部門では、飼育委員会補助、ビオトープ整備。安全部門では、引率手伝い、あいさつ運動、校内パトロール、ウォーキングパトロールなどである。これらの活動以外に「きらきらふれあいルーム」にボランティアが常駐し、校内の見回りや下校時の安全確保を行うなど、年間延べ499日に及ぶ日常的な支援が実践されている。また、校務分掌に学校応援団主任を位置付け、コーディネーターとの情報交換を図るなど、学校と学校応援団との協力体制が整っている。

## 特徴

- ★保護者や地域の方の力で建設した「きらきらふれあいルーム」を学校応援団の活動拠点としている。
- ★常駐部門による校内の見回りや下校時の安全指導により、常に児童の安心・安全が保たれている。
- ★学校応援団の活動を各学年の年間指導計画に位置付け、計画的に活動している。
- ★各学年の学校応援団担当者とコーディネーターが毎月1回会議をもち、連携を図っている。



きらきらふれあいルーム



きらきら応援団会議の様子



平成24年度ふれあい推進長



「お話聞き隊」による授業支援



推進長による下校時の安全指導

## 事業を実施して

「みんなきらきら上尾小～笑顔いっぱい 元気いっぱい～」を教育理念に掲げ、学校応援団による支援活動を展開してきた。その結果、児童に社会性が身に付き、積極的にあいさつができるようになった。学校と地域を結ぶコーディネーターである「ふれあい推進長」からは、「子どもたちが生き生きと活動している」「授業を楽しそうに受けている」「安全に気をつけて道を歩く児童が増えた」などの声をいただいている。今後は、児童の学力・体力の一層の向上を目指し、地域・保護者とのよりよい連携を深めていく。

こんな活動です!!

# わらびっ子のつよお〜い味方!! “地域力”が子どもの居場所づくりをサポート

## 活動名

蕨市放課後子ども教室【埼玉県蕨市】

## 関係する学校

(市内の全小学校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	7人	66人	29日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成19年度から市内の全小学校において、地域住民や文化団体等の協力を得ながら、子どもたちが安心して活動できる場の確保と、次世代を担う児童の健全育成の支援を目的として開催している。

運営は、学校区ごとに実行委員会を設け、学校との打合せを行うとともに、具体的な活動プログラムを考えたり、スタッフの確保を行ったりしている。実行委員会は、地域の方を中心に構成し、相談役として各学校の校長先生にアドバイスをもらっている。

主な活動内容として、宿題の指導や読み聞かせなどの学習活動、スポーツ・文化・体験活動など、多彩な内容で展開している。

また、児童クラブの指導員とも連携し、安全面において参加児童をサポートしている。



出席簿に○をつけてね。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★小学校区ごとに実行委員会を設け、文化団体やPTA・高齢者クラブなど幅広い地域団体と関係者の参画を得て運営している。
- ★小学校との会議や各小学校区実行委員長とコーディネーターとの情報交換会を実施。連携協力体制を確立している。
- ★多くの地域住民がボランティアとして活動に参加しているだけでなく、参加者の保護者からの協力を得ている。
- ★児童クラブと参加児童の安全管理面のサポートなどで連携協力している。

### <10のやくそく>

参加する子どもたちは、仲良く遊んだり、地域の方との交流をしたりするために約束を守って参加している。このことにより、子どもたちの社会性や自主性、人とのふれあいを大切にすることを育んでいる。

1. いつも「こんにちは・ありがとう・さようなら」がいきます。
2. 自分で出席簿に○印をつけます。
3. うわばきやランドセルなどの荷物は、決められたところに置きます。
4. 最初に宿題をすませます。
5. 決められたトイレをきれいにつかいます。
6. スタッフの先生のお話を静かに聞きます。
7. 危ないことや迷惑になることはしません。
8. みんなで仲良くすごします。
9. 帰りの時間になったら、帰りの準備をします。
10. 使ったものは片づけて、来た時よりもきれいにします。

### <スタッフ研修会の実施>

現状を踏まえたうえで、必要な課題について明確化・見直しを行い、今後の運営に一層の活性化を図ることを目的に開催している(内容:災害時の対応・AED講習会・応急手当て等)。この研修会を機に各小学校区間の活動についての疑問点などを話し合ったり、繋がりを深めたりしている。



宿題を片付けちゃおう～



カサ袋でつくるロケット!



スタッフ研修会～AED講習会



苦いのかな?茶道教室



毎回「10のやくそく」を元気に読みあげます。

## 事業を実施して

**【参加者の声】**学校に行くのが楽しくなった。地域の大人の人にあいさつをしたり、話をするようになった。放課後子ども教室で習ったことを家の人に話したり、一緒にやってみた。ふだんできない遊びができるから楽しい。学校の勉強がよくわかるようになり、勉強が楽しくなった。

**【保護者の声】**近所づきあいが希薄になってきているため、地域の方とふれあうことは財産である。安心して学校で遊べるのがうれしい。地域の方からさまざまなことを学べるので、うれしい。スタッフの方には、子どもを見守っていただき感謝している。



こんな活動です!!

# 地域の力を学校に、多彩な体験授業や自治会と連動した活動の実施

## 活動名

飯能市立双柳小学校応援団  
【埼玉県飯能市】

## 関係する学校

双柳小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	150人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級
実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
-			1年度	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

自治会の推薦に基づいてコーディネーターを選任したり、コーディネーター会議を毎月行うことで、学校と地域の連携を円滑にしている。

活動内容としては、朝自習時の読み聞かせや学校ファームを利用して種まきから収穫・調理まで行うそば作り体験などの学習活動に対する支援、双柳花のロード隊による学校花壇等の整備など学校環境整備への支援、自治会などの協力を得た登下校時の見守りや防犯パトロールなど安心・安全活動への支援を行っている。登下校時の見守り活動については、年間210日にわたって行っている。

さらに、活動の内容を記録し、活動計画・実践活動の文書の整理やファイリングを通して、実績の蓄積と引き継ぎの円滑化を図っている。



3年生 そば収穫後の脱穀。  
次はそば打ち体験

## 特徴

- ★学校応援団活動連絡協議会の情報交換により、地域や児童の実態に即した支援を行っている。
- ★活動の記録をファイリング！活動実績の蓄積と引き継ぎの円滑化を図っている。
- ★学校応援団の活動を地域に情報発信！「学校便り」は自治会を通じて地域で回覧！

## 双柳小学校応援団 グランドデザイン



## 事業計画

月	コーディネーターの会議等	応援団事業		
		学習支援関係	環境整備関係	安心・安全関係
4	PTA総会 歓送迎会	・始業式・入学式 ・読み聞かせ(毎水曜日) ・総合的な学習の時間 (各学年のゲストティーチャー・随時)		
5	第1回コーディネーター会議	・親子運動会	・学校花壇等の整備(双柳花のロード隊) ・学校ファーム整備(随時)	・登下校の見守り(通年) ・通学路点検(毎月) ・通学路変更の登校指導 ・不審者緊急対応(随時) ・防犯パトロール(夏季休業中)
6	第2回コーディネーター会議 学校評議委員会	・ウォークラリー ・稲作体験(田植え)		
7	第3回コーディネーター会議 双柳小学校諸団体連絡会議		・樹木の剪定、除草、栽培、緑化活動(随時)	
8		・稲作体験(草取り)	・校庭校舎の清掃(随時)	
9	第4回コーディネーター会議	・運動会	・各種施設の整備充実(随時)	
10	第5回コーディネーター会議	・稲作体験(稲刈り)		
11	第6回コーディネーター会議	・学校公開日 ・学習発表会		
12	第7回コーディネーター会議	・持久走大会		
1	第8回コーディネーター会議	・餅つき大会 ・そば打ち体験学習		
2	第9回コーディネーター会議 双柳小学校諸団体連絡会議			
3	第10回コーディネーター会議	・卒業式		

## 事業を実施して

- ・地域の力を学校に提供していただくことで、職員も早く地域になじめ地域学習にも自信を持って臨めた。児童とともに地域を見つめ地域を愛する心が育った。
- ・地域・家庭と学校との連携が深まり、学習に一体となって取り組む体制が整い、児童の興味関心に沿った授業が展開できた。
- ・「学校への支援を通して児童から生き甲斐や達成感ももらっている。」と言う応援団の姿勢が継続の基となっている。



こんな活動です!!

# 学校と地域の軽やかな関係を構築

## 活動名

秋津小学校学校運営協議会  
【千葉県習志野市】

## 関係する学校

秋津小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成18年10月1日	15人	339人	12学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりを目指し、学校運営協議会、パートナー会議を定期的に開催するほか、ボランティアが活動する仕組みとして、4つの分野(学習、安全、環境、情報)にわたる教育活動推進システムが、約100人の協力を得て展開されている。学社融合による教育活動が進み、子どもが地域住民と日常的にふれあう機会の充実が図られている。



環境支援：クリーン運動

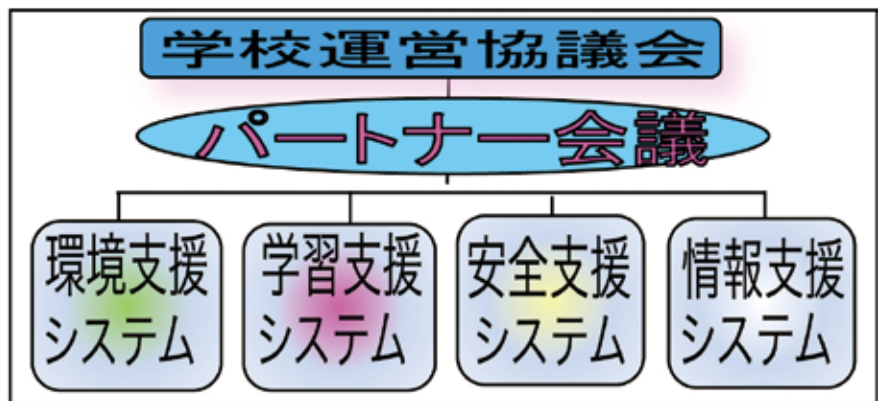


安全支援：登下校の見守り

## 特徴

- ★**学習支援システム**…①「授業への参加と支援」 ②「行事への参加と支援」 ③夏休みラジオ体操の支援 ④「秋津・地域で遊ぼう」
- ★**安全支援システム**…①「子どもの安全を守る網の目シフト」作戦 ②非常災害防災システムの確立
- ★**環境支援システム**…①「グリーン&グリーン運動」 ②自然環境整備プロジェクト ③畑作りプロジェクト ④プレイグランド整備プロジェクト
- ★**情報支援システム**…①広報紙作成・配布システム ②校内IT関係の支援

教育活動推進システムの構造図



★パートナー会議：4つの教育活動推進システムを具体的に運営する会議



学習支援(生活科)：高齢者との交流授業



(音楽)：地域の合唱サークルと融合授業

## 事業を実施して

- ★学校運営協議会を通して、学校と家庭・地域の円滑な関係が構築され、学校への支援協力が充実した。
- ★学校評価の結果を公表し、次年度の改善点について意見をいただくことにより、学校運営に反映することができた。
- ★学校運営協議会で検討することにより、教育活動推進システムが改善され、それぞれの支援活動が活性化した。
- ★今後は、コミュニティ・スクールについて保護者や地域、教職員などに、より深い理解と協力を求めていく必要がある。

こんな活動です!!

# 子どもたちを見守り育てる地域づくりは、ここから始った!根戸小あびっ子クラブ

## 活動名

根戸小あびっ子クラブ【千葉県我孫子市】

## 関係する学校

根戸小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	35.8人	287日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
我孫子市根戸サービスセンター2階(根戸小学校と直結した建物内)		22年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

年間287日、学校と直結した施設内に常設されたメインルームを中心に、自由遊びを基本とした活動のほか、地域住民(サポーター)による体験活動や、総合型地域スポーツクラブと連携した活動にも取り組んでいる。また、スタッフがシフト制で子ども教室と学童保育室の双方に関わるなど、学童保育との一体的な運営にも取り組んでいる。

今年度は地域の文化祭に参加し、お箏の発表を行った。また、あびっ子クラブのオープン2周年を記念して、イベントを開催し、これまで行ったことのない「バグー」「オーバルボール」「ペタンク」を実施し、参加者には手作り賞状を授与した。



2周年記念イベント(バグー)

## 特徴

- ★総合型地域スポーツクラブと連携した活動を実施している。
- ★お箏を地域の文化祭で披露するなど、地域との交流を図っている。
- ★スタッフがシフト制で子ども教室と学童保育室の双方に関わっており、学童保育との一体的な運営を行っている。
- ★地域の大学と連携し、運営に関するアンケート調査を実施。成果と課題を検証しながら、次の活動に繋げている。
- ★様々な得意分野を持つサポーターが特技を融合させて、新たなチャレンジタイムを実施している。例えば、刺繍を得意とするサポーターがお守り袋を担当し、消しゴムハンコづくりを得意とするサポーターがお守りの中身を担当して、「お守りづくり」のチャレンジタイムが誕生した。
- ★災害発生時は、学校長指示のもと、スタッフと学校が協力して子どもの安全を確保する体制となっている。また、学校支援ボランティア事業と連携し、学童保育及びあびっ子クラブの子どもたちも含めた災害時のボランティアを募集している。



チャレンジタイム(ダブルダッチ)



メインルーム



チャレンジタイム(お絵かき)



チャレンジタイム(けん玉)

## 事業を実施して

あびっ子クラブがオープンしてから、学童保育室の大規模化が解消されつつある。地域住民のサポーターからは、「無理なく協力することができる」「子どもたちから元気をもらっている」と好評。地域住民と子どもたちが触れ合う場ができ、地域に子どもたちを知っている方が増え、お互い声をかけあえる。そんな「子どもたちを見守り育てる地域づくり」が広がりを見せている。



こんな活動です!!

# 木更津発トライアングルハッピー

～家庭・地域・学校が1つになれば、みんなが幸せに～

## 活動名

木更津市学校支援ボランティア活動推進委員会【千葉県木更津市】

## 関係する学校

(市内の全小・中学校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	68人	1786人	10年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

市内31校すべての小中学校にコーディネーターを配置し、各学校のニーズや特色に応じて活動している。

### 【平成23年度実績】

- (1)環境整備支援(684回)
- (2)教育活動支援(673回)
- (3)安全支援(3,796回)
- (4)部活動支援(2,996回)

※( )内の回数は延べ活動回数

平成23年度に活動の更なる活性化を図るため、木更津市学校支援ボランティア活動推進委員会を設立した。現在はこの委員会が中心となって各学校の取り組みを統括し、活動を充実発展させている。

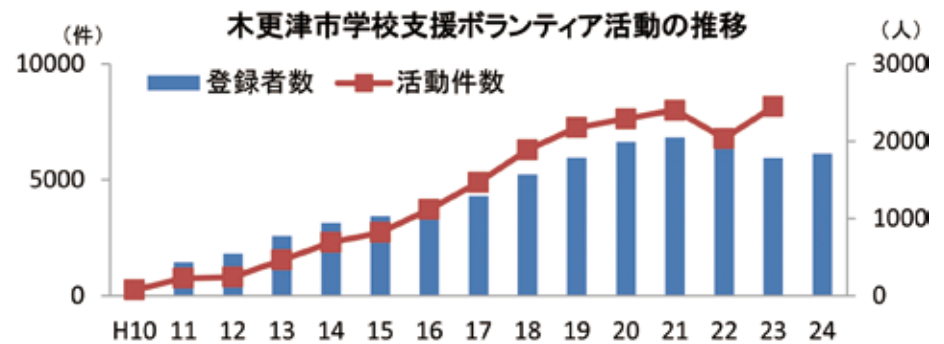
また年3回の研修会と夏の交流集会(参加者約200名)を企画運営し、教職員・コーディネーター間の情報交換と連携強化を図っている。



夏の交流集会の様子

## 特徴

★平成10年度にスタートし、15年間にわたり活動を継続発展させている。



★市内すべての小中学校で、バラエティに富んだ活動を展開している。



全校おはなし会



図書整備



床板修理



花壇整備



田植え体験



安全パトロール

## 事業を実施して

- ★**児童生徒の規範意識の向上**…「ボランティア体験」と「大人のボランティア活動を目撃した体験」が多い子どもの方が、規範意識・やさしさ・行動意欲の面で高いという結果が、市独自の調査から判明している。
- ★**開かれた学校づくりの推進**…登録者数・活動件数が増加し、学校と地域の連携が年々強化されている。
- ★**特色ある学校づくりの推進**…地域の力によって、各学校で多様な特色ある活動を展開できるようになった。
- ★**地域コミュニティの構築**…旧住民と新住民がともに活動することにより、地域内のつながりも拡大・強化されている。



こんな活動です!!

# 「ふるさと杉一」を意識し、学校・地域・保護者が一体となった学校支援

## 活動名

杉一プラン(杉並第一小学校学校支援本部)  
【東京都杉並区】

## 関係する学校

杉並区立杉並第一小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	50人	19年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	90人	190日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	多目的室、体育館、校庭、図書室		16年度	なし
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日	11人	425人	15学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成19年度から続く「朝先生」では、授業開始前の朝の時間に、地域住民が全クラスの朝学習に参画し、計算チャレンジや百人一首を指導するなど、日常的に地域と連携した取組がなされている。

また、小学校への事前体験である「オープンキャンパス」などの活動は、※幼子保小の切れ目のない接続を目指し、「中学生になってこまらない英語」は小中一貫教育を見据えて実施するなど、小学校を中心として他の校種も意識した活動に取り組んでいる。

※幼稚園、子ども園、保育園から小学校への接続を意味する。



オープンキャンパスの風景

## 特徴

★「朝先生」では、朝の時間に地域住民が全クラスの朝学習に参画し、年間900人以上が関わっている。【本年度6年目】

★「すぎっ子くらぶ」は放課後毎日実施。現在児童約200名が登録し、一日平均90名の児童が利用する、放課後の居場所として定着している。【本年度9年目】

★「小学校オープンキャンパス」「中学生になってこまらない英語」は独自のプログラムとして、※幼子保小中のスムーズな接続を目指している。【本年度6年目】

★「杉一共育くともいく」シンポジウムは保護者・教師・地域が同じテーブルを囲み、夢を語り合う場をもちたいという願いから実現。同じ意識のもと地域が一丸となって学校を支える体制作りを進めている。

※幼稚園、子ども園、保育園から小学校へ、そして小学校から中学校への接続を意味する。



毎日実施している「すぎっ子くらぶ」



朝先生との百人一首



幼小中学校が連携して行うキャンドルナイト



教員・保護者・地域が語り合う共育くともいくシンポジウム

## 事業を実施して

- ・「地域」を「杉一に関わる人たち」「杉一小の子供たちのために活動している人たち」「杉一小の教育活動に興味・関心をもっている人たち」と捉え、「地域」におけるネットワークをより充実させることで、学校をサポートする「地域」を育成することができた。
- ・近隣の学校支援本部と人材・施設等を含めた多角的な視点から連携し、「地域と共に歩む学校づくり」を目標に掲げる学校を支援しながら、子供のための取組を今後も実践していく。

こんな活動です!!

# 「かかわろう・みまもろう・そだてよう」をモットーに、地域と共に子どもたちを育成!

## 活動名

小平市立小平第四小学校【東京都小平市】

## 関係する学校

小平第四小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	8人	140人	18年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	26人	348日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
図書室、多目的室、教室、体育館、校庭等		16年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日	13人	506人	19学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校経営協議会では、学校運営に関する討議だけでなく、地域安全見守り・家庭教育支援・緑化活動・外国語活動のプロジェクトチームを編成し、年間を通して活動している。また、学校支援コーディネーターは、教員とともに地域にある玉川上水を教材化するなど、計画の段階から協働で授業づくりを行っている。地域参画型授業を進めるなど、地域と学校が連携した取組を実践している。

## 特徴

### <学区域に流れる玉川上水は地域の宝!学校の宝!>

地域の宝である玉川上水を学び、学んだことを基に地域の人にそのよさを広めることを目的に活動している。学年の発達段階に応じて生活科と総合的な学習の時間の年間指導計画に位置付け、学習支援ボランティアの「ナラミスタッフ」をゲストティーチャーとして「自然・歴史・環境・食文化」をテーマに学習を行っている。

### <地域にあいさつの輪を広げよう「四小あいさつ通り」>

「地域見守り」プロジェクトでは、地域にあいさつの輪が広がるよう学区の6つの商店街会長と連携し「四小あいさつ通り」を展開している。「あいさつフラッグ」を作成し道路沿いに約200本取付け、地域で子どもたちを見守る運動を行っている。また、校内では年間を通して児童会が中心となってあいさつ運動に取り組んでいる。

### <学区域にある大学と連携!「外国語活動」>

平成23年度から実施された外国語活動の授業内容について、本校職員と学校経営協議会委員である津田塾大学の教員とともに計画し、話せる英語を目指し、質の高い授業を実践している。また、放課後子ども教室の講座を開設している。

### <その他の特徴>

学校広報を重視し、保護者や地域住民への発信を積極的に行っている。全日本小学校ホームページ大賞東京都優秀賞(平成21～23年度の3年連続)



玉川上水ウォッチング



あいさつフラッグの取り付け



外国語活動(四小の給食紹介)

## 事業を実施して

「地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人から学ぶ、地域とともに学ぶ」開かれた学校として、保護者や地域住民との交流を積極的に進め、地域参画型の授業や活動を積極的に実施することができた。また、地域の方から「地域のすばらしさを子どもたちに伝えることができることが嬉しい。また、子どもたちのいきいきとした活動を間近で見られることが楽しい。」という感想を多くいただいている。教師も「教師だけではできない体験を中心とした授業が展開され、活動や学習内容をより深めることができた。また、教師の願いや思いをスタッフの方に助けられ、実現できた。」と実感している。

こんな活動です!!

# 地域からのさまざまな支援を受けながら学校のそして子どもたちの未来が輝いている

## 活動名

文京区立誠之小学校【東京都文京区】

## 関係する学校

誠之小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	112人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	0人	21人	120日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		校庭	17年度	なし
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年4月1日	9人	754人	23学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

幅広い団体の協力の下、およそ年間3,300人のボランティアが、登下校の見守りや国語・英語の授業支援などを展開している。

特に、キャリア教育や部活動においては、専門性をもった人材の支援により、教育内容の質の向上に加え、教員のスキルアップにもつながっている。また、長期休業中のパトロールやプール指導時の安全管理なども実施している。



(英語の授業支援のようす)

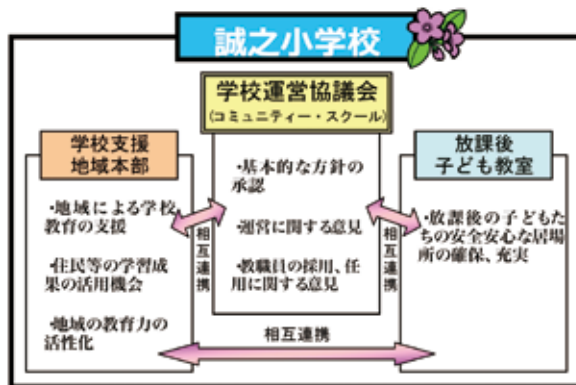
## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★学校支援地域本部、放課後子ども教室、コミュニティ・スクールの相互連携に長けている。
- ★町会から大学・企業まで地域の様々な団体と協力し、子どもたちの健やかな成長を支援している。
- ★地域住民が主体となり、親子で参加できるプログラムを多数用意し、親子や地域の絆を大切にしている。
- ★教員との交流も重ね、学校教育の相互理解を深め、配慮が必要な子どもについての助言も得ている。

### <実施に当たっての工夫>

- 学校支援にかかる各実施組織から、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の委員を選出している。このため、企画から運営・実施までが学校経営の方針と連動している。



(地域による学校支援活動連携図)



(茶道教室のようす)

### <その他の特色>

- 学校運営協議会委員が、学校関係者評価委員を兼務することにより、事務作業の軽減を図り、事業実施に重点を置くことができている。

## 事業を実施して

- 学校と学校支援組織のなご一層の緊密な連携が図られ、これまで以上に学校が開かれてきた。また、保護者や地域の方々にとって、学校の敷居が低くなったとの声が上がっている。
- 学校支援地域本部の運営については、素晴らしいコーディネーターに恵まれ、事業内容の充実とあいまって、学校の求めによる人材提供が進んでいる。



こんな活動です!!

# 学校と地域の連携強化!!安心・安全に「しみずっ子」がすこやかに育つことを願って

## 活動名

しみずっ子すこやかネットワーク会議  
【神奈川県厚木市】

## 関係する学校

清水小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	-	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

「セーフコミュニティ」の理念に基づき、学校・保護者・地域住民が協働して、安全向上に取り組む運営基盤として設置された。登下校の見守り活動やかけこみポイントの設置、自転車安全教室などを継続的に実施している。こうした実践と並行して、子どもたちが安心・安全な学校生活について様々な活動に取り組んだ結果、「国際的セーフスクール」の認証を取得した。



地域の安心・安全に係わる情報交換の貴重な機会となっている



## 特徴

- ★学校・保護者・地域住民が協働して、児童の健全育成や安心・安全な環境づくりを推進。
- ★PTA活動との協同により、安全マップづくりやかけこみポイントの設置などの防犯活動を実施。
- ★学校の国際的セーフスクールに関する取組について、成果と課題の検証の場となっている。
- ★近隣の中学校との連携。課題の共有を図り、継続性のある取組を目指している。



安全マップづくり  
学区を探索し、危険箇所などを地図に書き込みます



登校の見守り活動



自転車安全教室



シュミレーターを使った体験

## 事業を実施して

- ・学校・保護者・各行政区・青少年健全育成関係団体の代表者等が一堂に会することで、互いに顔見知りとなることできる。中学校や警察からの情報提供もあり、地域の情報を共有し合う場となっている。
- ・学校のISSに係わる活動が広く地域に理解される場となり、地域のセーフコミュニティ活動と融合した支援体制へと結びついていく。

こんな活動です!!

# 「学習・体験・交流・遊び」をプログラム。 児童の入退室はメール配信サービスで安心!

## 活動名

相川小学校放課後子ども教室  
【神奈川県厚木市】

## 関係する学校

相川小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	一人	一人	一年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	29人	95日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	厚木市立相川小学校		23年度	あり
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

★平成23年10月から児童の安心安全な居場所として開設。子どもたちが元気で心豊かに成長するとともに、地域社会の中で、子どもたちを見守り育てる環境づくりを推進することを目的に設置した。

★地域住民をはじめ市内の企業や大学等の協力を得て、学習、スポーツ、交流活動のほか、環境教育、科学教室など多彩なプログラムを展開している。

★児童は担任の先生に出席報告(カードを渡す)をしてから参加するなど、学校と放課後子ども教室双方で安全確保に努めている。さらに、子どもの入退室時間を保護者にメールで配信するシステムを導入するなど安心安全に配慮している。



## 特徴



### (1)メール配信

児童の入退室時間をメールで保護者へ配信する入退室管理ソフトを導入!

下校時の見守りとともに安心安全に配慮している。

### (2)プログラム

学習、体験、交流、遊びの4つの場を中心に毎日プログラムを計画!

地域住民などを講師として多彩な活動に取り組んでいる。

### (3)朗読タイム

「帰りの会」も貴重な学習時間!全員でことわざや先人の言葉など声を揃えて朗読し、心を落ち着けてから帰宅する。

### (4)ボランティア

多様なボランティアを発掘!  
地域住民はもちろん、大学生や元教員、大道芸人など多くの参画を得ている。



入退室をメールで保護者へ配信



帰りの会はみんなで朗読

放課後子ども教室1月の講座案内		
<p><b>あゆみ</b></p> <p>1-1 11月1日(水) 第二回入退室管理システム導入説明会 保護者のみなさまへ入退室管理システムの導入について説明いたします。ご参加ください。</p> <p>1-2 11月15日(水) 入退室管理システム導入説明会 保護者のみなさまへ入退室管理システムの導入について説明いたします。ご参加ください。</p> <p>1-3 11月22日(水) 入退室管理システム導入説明会 保護者のみなさまへ入退室管理システムの導入について説明いたします。ご参加ください。</p>	<p><b>読み聞かせ</b></p> <p>1-1 11月1日(水) 読み聞かせ 児童が大好きな読み聞かせを行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p> <p>1-2 11月15日(水) 読み聞かせ 児童が大好きな読み聞かせを行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p> <p>1-3 11月22日(水) 読み聞かせ 児童が大好きな読み聞かせを行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p>	<p><b>運動会</b></p> <p>1-1 11月1日(水) 運動会 児童が大好きな運動会を行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p> <p>1-2 11月15日(水) 運動会 児童が大好きな運動会を行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p> <p>1-3 11月22日(水) 運動会 児童が大好きな運動会を行います。保護者のみなさまもご参加ください。</p>

放課後子ども教室の講座案内



上級生がクリスマス会を進行

## 事業を実施して

★いろいろな体験活動をしたい、させたい。子どもと大人の思いが合致。98%の児童が「楽しかった!」、96%の保護者が「参加させて良かった」「いろいろな体験活動が出来て良かった」と回答している。

★学校が力を入れている縦割り教育。放課後子ども教室がスタートしてからはさらにパワーアップ。上級生が下級生の面倒を自発的によく見るなど、その力がいかに発揮されている。下級生も上級生を見習って、ルールをよく守り毎日楽しく活動している。

★地域の皆さんがボランティアとして講師や下校の見守りで大活躍。「地域の子どもはみんなで育もう。」そんな思いが子どもたちの豊かな放課後を支えている。

★学校からは「放課後ならではの、普段の学校生活とは違った表情、笑顔が素晴らしい。」と嬉しい声が届いている。



こんな活動です!!

# 学校・家庭・地域が信頼と笑顔で結ばれ 共に喜びと感謝が育つ活動

## 活動名

燕市立吉田小学校【新潟県燕市】

## 関係する学校

吉田小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	103人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学習支援・行事支援・図書館整備など、幅広い教育支援活動が行われている。広報活動にも力を入れており、年2回広報紙を作成し、学区全戸に配布している。また、給食会や感謝の会など、児童とボランティアが交流する機会も積極的に設けている。



各団体代表ボランティア紹介



全校弥彦登山ボランティア

## 特徴

- ★学習指導・安全指導・学校行事等の多様な支援活動を実施。
- ★黄色いバンダナがトレードマーク。
- ★音楽会や交流給食会を通じた感謝の会の開催。
- ★交流室を中核にしたボランティアの輪の拡大。
- ★年2回発行の「吉小わくわくボランティア便り」を吉田小校区全戸に配布。



ミシンの使い方

きらきら輝く吉小の子

活動に参加していただいた支援ボランティアの方の声

みさん・「子どもたちが、顔を覚えてくれて、手を振ったり、話しかけてきたり、とても良い思い出ができています。」	まさん・「子どもたちが、私たちや外部の人たちに積極的に挨拶したり話しかけたりするようになってきました。」
ゆさん・「子どもと活動することにより、自分が子どもたちから、活力をもらっています。」	ゆさん・「雨風の中でも嫌な顔一つしないボランティアの人たちと出会って幸せな気分でした。」
ゆさん・「ボランティアを長年やってきたが、子どもたちと一緒に昼食を食べることや、活動の終わりにお礼の言葉を言われる時は、楽しくもありがたいものです。」	ゆさん・「現状でよいと思います。自分でできることを無理なく参加したいと思います。」
ゆさん・「笑顔を見るのがうれしいです。」	ゆさん・「吉田小は、大勢のボランティアが参加していることや先生方が温かく迎えてくれているので、活動して楽しいです。」

身に付けている黄色いバンダナは、支援ボランティアのマークです。今日は、温かい歌声で子どもたちの音楽会の応援です。

音楽会にボランティアの方を招待する「吉小わくわくボランティア便り」より

## 事業を実施して

- 児童は、マラソン大会や全校弥彦登山等で、ボランティアの方から、励ましの声掛けをしてもらい感謝の気持ちを表している。また、そうした感謝の声をボランティアの方にも手紙等で届け、喜ばれている。
- 登録されたボランティアの中に、元教員の方が多い。現在、習字やそろばん、縫い物・食育といった活動では、授業の中でも支援してもらい、児童一人一人に目が届くようになってきた。安全・安心を第1とした活動の上に、さらに児童の成長を願い学力向上にも目を向け、国語や算数の授業でもボランティアを活用できるよう検討していきたい。



こんな活動です!!

# 地域ぐるみで学校を支援。 多くの活動にゲストティーチャーが参画!

## 活動名

新発田市立東豊小学校【新潟県新発田市】

## 関係する学校

東豊小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	100人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

視覚・聴覚障害者の団体と協働で実施する総合学習「福祉・ボランティア」や、飲食店と協働で実施する地産地消や食育の取組など、様々な団体と連携した活動を行っている。保護者以外のボランティア参加が多いことも特徴の一つ。校内にボランティア専用の地域交流ルームも設置し、ボランティアが活動しやすい環境を整えている。

## 特徴

- ★学習支援ボランティアの協力で、地域を生かした多彩な教育活動を展開。
- ★職員室にコーディネーターのデスクあり。学校との連携・協力体制バッチリ。
- ★図書館ボランティアによる「本の読み聞かせ」が定着し、年々活動も充実。
- ★野菜作りに米作り、栄養士さんとのTT授業など、食育の取組を推進。
- ★ボランティア通信「つばさ」を学区内へ配布。地域の理解と協力も深まる。

## ○活動風景



### 【食育授業】

栄養士さんを招いてのTT授業、食の大切さについて学んでいる。



### 【総合・福祉の学習】

お年寄りや障がいをもった方々との交流を通して、多くのことを学んでいる。



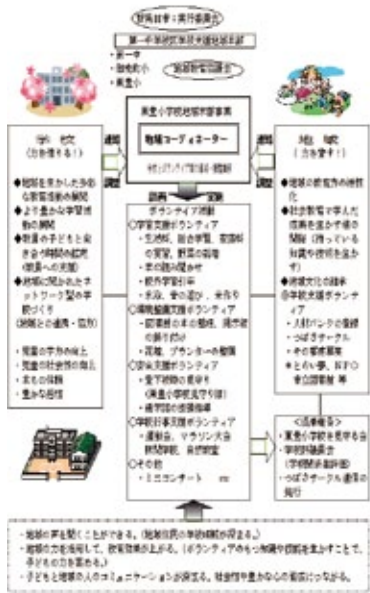
### 【畑の先生】

野菜の苗植えから収穫まで丁寧に教えていただいた。



### 【本の読み聞かせ】

子どもたちの目と心は釘付け。すっかり本の世界に浸っている。



### 【組織図】

## 事業を実施して

- ・ボランティアの力を借りることで、多彩な教育活動が可能となり、児童の指導において、知識や技術面で教員が大変助かっている。また、コーディネーターが中心となって学校とボランティア間の連絡・調整を手がけるようになり、教員と子どもの向き合う時間の確保にもつながっている。
- ・これまで以上に保護者や地域の方が来校されるようになり、学校の教育活動に対する関心や理解が深まった。地域との連携が増し、「開かれた学校づくり」の一助ともなっている。

こんな活動です!!

# 地域の様々な活動に参画する生徒が、まちづくりの鍵

## 活動名

中郷の子どもを育てる会【新潟県上越市】

## 関係する学校

中郷中学校、中郷小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	○	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	5人	20人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	-		一年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成24年4月1日	18人	120人	7学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校教育を支援するだけでなく、地域の教育活動全般にかかわることで、地域の活性化、次代を担う人材の育成に大きく貢献している。一例として、地域のまちづくり振興会と連携して、地域行事の企画運営に中学生を参画させ、活躍の場を提供することで、主体性と地域愛を育てている。そのほか、子どもを核とした地域の交流活動を幅広く行っている。

### ＜平成24年度活動方針＞

- こどもの創意工夫と自主性を尊重し、活動の場を確保する。
- 一人一人の子どもを大切に见守る。

### ＜主な活動＞

- 小中学校の運営協議会に育む会の役員が参画
- 学校と地域の行事をまとめた「学校・地域連携カレンダー」の作成、全世帯配布
- 小中学校と育てる会が連携して「教育ハンドブック」を作成
- 中郷夏まつり、中郷体育祭、敬老会に、計画・企画段階から中学生が参画。その仲立ちを育てる会が務める。

## 特徴

- ★地域の基盤組織として、学校と連携し地域の教育活動を行うことで、地域の教育力の向上を図っている。
- ★地域行事の企画運営に、中学生が参画する機会を設け、主体性と地域愛を育てている。
- ★小中学生と地域住民が協力し、あいさつ運動「きらきらウィーク」を1年間に複数回実施している。
- ★学校支援活動を中核に、コミュニティスクールを立ち上げた。



■中郷区体育祭  
各種目の賞品を地域の役員の方々とともに準備



■きらきらウィーク  
育てる会の役員と子どもたちが一緒に、小学校の玄関前で行ったあいさつ運動の様子

### ＜今後の活動を展望して(課題)＞

- 小中学生だけでなく、高校生の地域での活動・活躍も目立ってきた。今後、小中学生・高校生と地域の大人が、どのような協力体制をつくっていくか。
- 学校支援ボランティアが必要となる場面で、ボランティアとPTA保護者がどう役割分担していくか。

## 事業を実施して

「中郷の子どもを育てる会」と同様の、学校の教育活動を支援し、地域の教育力の向上を目指す「地域青少年育成会議」という組織が、22ある市内のすべての中学校区で平成21年度からスタートした。また、平成24年4月からは、市内全小中学校76校で、コミュニティ・スクールも一斉にスタートした。

中郷中学校・中郷小学校と中郷の子どもを育てる会のこれら一連の活動は、市内の小中学校、地域青少年育成会議のモデルとなっており、さらなる発展に対する期待が集まっている。

こんな活動です!!

# 地域に密着した多様な活動! 本江子ども教室

## 活動名

本江子ども教室【富山県魚津市】

## 関係する学校

魚津市立本江小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	79人	38日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	本江公民館、本江小学校体育館ほか		19年度	あり
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域住民を指導者に迎えて実施する「サークル活動」、地域の特産品の収穫時期やお祭りなどの行事にあわせて開催する「地域ふれあい活動」など、多様な取り組みを実施している。土日を活用して親子で参加できる「親子ふれあい活動」は、家庭教育への貢献度も高い。学校の教職員も教室に参加するなど、学校との連携も図られている。



蝶六踊りの練習  
(基本踊り、はねそ踊りなど)

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

#### ●サークル活動

- ・子どもたちのニーズに配慮して年間活動計画を立て、具体的な活動目標をもち活動。児童の参加率が高い。
- ・サークルの全指導者が顔なじみの地域在住者のため、異世代交流が深まる。

#### ●地域ふれあい活動

- ・地区の特産物である梨の「花見茶会」、魚津まつり「蝶六街流し」の踊りの練習など伝統芸能や地域活動に合わせた教室を実施。
- ・児童が地域住民と共に清掃活動をする「本江クリーン作戦」や地区文化祭における児童主体のお茶席など地区行事に教室の児童が参加。

#### ●親子ふれあい活動

- ・休日を利用して「親子スキー会」などを実施し、親子での参加を通じて家庭教育への貢献を目指す。
- ・保護者の参加が困難な児童には育友会員(PTA)が温かくサポートする。

### <その他の特徴>

#### ●地域・保護者へのアピール

- ・本江地区振興会が発行する「本江だより」や育友会広報誌「ほんごうだより」を活用して子ども達や教室の活動の様子を定期的に掲載。
- ・主な活動場所が公民館であることから、地域の方が気軽に近所の子どもの様子を見守ることができ、地域住民に開かれた教室になっている。



本江クリーン作戦  
(地区清掃で住民との交流)



親子スキー会  
(親子・友達とのふれあい)

## 事業を実施して

- ・地域の行事や祭礼に合わせて教室を実施することで、地域の歴史や特徴を学ぶことができる。また、指導者とのふれあいは世代間交流の場になっており、地域の連帯感が強まっている。
- ・学校や育友会との連携が密接なことから、親子スキー会などの休日を活用した親子ふれあい活動も可能になっており、子ども達からも好評を得ている。さらに公民館と学校が近接しているという立地条件から、学校との連携がしやすく子ども達にとっても放課後や休日を安心して過ごせる居場所になっている。



こんな活動です!!

# 子どもの「郷土愛」を育む活動 ～子どもを育て「地域力」UP!～

## 活動名

萩野っ子げんき塾【石川県津幡町】

## 関係する学校

津幡町立萩野台小学校

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	一人	一人	一年度	一
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	26人	29日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
萩野台コミュニティプラザホール及び和室、萩野台小学校体育館など		21年度	なし	
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	一	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
一	○	一	一

## 活動の概要

学校体育館や学校に隣接するコミュニティプラザを拠点に、地域の幅広い人材を指導者に迎えて、多様な体験活動プログラムを実施している。

個人だけでなく、多くの地元団体の協力があり、地域ぐるみの支援体制が定着している。また、伝統行事体験や地元の材料を使った教室を開催するなど、地域に根差した活動を中心に子どもの情操教育の一端も担っている。

### 【活動例】(右記事業除く)

- ・バルーンアート教室
- ・七夕飾りを作ろう
- ・盆踊りの体験会
- ・虫送り太鼓の体験会
- ・リサイクル工作を作ろう
- ・ドッジビーで交流しよう
- ・手作りおやつを作ろう

等



竹で遊ぼう ～流しそうめん～

## 特徴

「萩野っ子げんき塾」では、「地域の子どもは、地域で育てる」との考えのもと、地域住民が中心となって地域の特色を生かした活動を行っている。

### <特徴的な活動内容>

教室を行う際に使用する材料などのほとんどが地元のものを使用している。例えば、「竹で遊ぼう」を開催した際には、学習アドバイザーとして地域住民で竹林を所有している方をお願いし、竹で作った楽器の演奏体験や、公民館の裏山で切った竹を使用した流しそうめんの体験を行うなど、地域に密着した活動を心掛けている。

また、地域の高齢者との交流(世代間交流)を目的とした活動では、昔からこの地域に伝わる「旗源平」遊びや、高齢者が得意とする「グラウンドゴルフ」をいっしょに楽しむことで、子どもたちが高齢者を敬い、労わる心の醸成にも役立っている。

### <実践に当たっての工夫>

(組織・体制の充実)

○毎回教室終了後にコーディネーターと安全管理員を交えて反省会を行い、次回の活動に反映させている。

(学校との連携)

○学校が早く終わる日は、学校とコーディネーターが連絡を取り、開催時間を早めるなどの工夫をしている。

(地域との関わり)

○ボランティア団体の会場に赴き、地域住民と児童の合同行事を開催する等、積極的に地域交流している。

(広報)

○区内全戸配布の「公民館だより」に教室の活動予定を掲載。また、手作り看板を小学校に置き、開催告知をしている。



旗源平を楽しもう



子どもグラウンドゴルフ大会

## 事業を実施して

- ・郷土の誇りを持った住民が一体となって教室運営に積極的に参画し、地域の子どもたちを見守る姿から「地域の子どもは地域で育てる」という「地域力」の強さを身を持って感じている。また、様々な活動内容から、子どもと地域住民との「顔の見える関わり」が生まれることや、地域における指導者の人材発掘にも繋がるなど、子どもと地域の双方に良い効果をもたらしている。
- ・学校とは違う環境で、学校や家庭では体験出来ない多様な活動を子ども達も楽しんでいる。また、その中で地域の住民とも触れ合い、自身も地域社会の一員であることの自覚も芽生えるなど、とても良い経験となっている。

こんな活動です!!

# 安全確保・環境整備からクラブ指導まで、多彩な支援活動で学校教育をバックアップ

## 活動名

荒屋小学校支援地域本部【石川県小松市】

## 関係する学校

小松市立荒屋小学校

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	192人	23年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	—
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	—		—年度	—
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	一人	一人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	—	—	—

## 活動の概要

小規模校でありながら192人のボランティアが児童の登下校見守りや学習の支援・指導、環境整備等の支援活動を行っている。活動数も年間262回と、毎日の活動・定期不定期の活動を含め活発である。特にクラブ活動においては、地域人材の協力を得ることで、子どもたちが普段体験できない様々な活動に、専門的な指導のもとで取り組んでいる。

## 特徴

- ★わが町防犯隊の方々が、年間を通して子どもたちの登下校を見守り、通学路の安全確保に努めている。
- ★8つのクラブ活動でボランティアの方が指導にあたり、専門分野や特技を生かした様々な活動を行っている。
- ★図書ボランティアによる読み聞かせやお話会は、子どもたちも楽しみにしている。
- ★地域の方がメンテナンスをしている児童玄関のアクアリウムは、子どもたちも進んで魚のえさやりなどのお世話をしている。



児童玄関のアクアリウム



わが町防犯隊による見守り



クラブ活動(スポーツチャンバラ)



図書ボランティアによるお話会

## 事業を実施して

教育活動支援や安全確保、環境整備等は幅広い支援活動を年間を通して行うことで、様々な場面で子どもたちと地域の方がふれ合う機会となった。地域に根差した活動や地域の方々とのお世話を通して、子どもたちの地域を愛する心や地域の一員としての自覚を育てることにつながった。また、以前から日常的に学校への協力・支援がなされてきた地域であるが、事業を通して継続的に子どもを見守り、地域で子どもを育てる意識がさらに高まった。

こんな活動です!!

# 少子高齢過疎が進む中、子どもたちは地域の宝。地域総ぐるみで見守り、磨きをかける。

## 活動名

協育推進町野地域本部【石川県輪島市】

## 関係する学校

輪島市立東陽中学校、町野小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	91人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	11.6人	20日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
町野公民館		20年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

- 公民館に本部を設置し、公民館職員と地域コーディネーターが連携して、地域住民の生涯学習の成果を活かしながら、登下校時の見守り、体験学習や行事でのゲストティーチャー、校舎内外の環境整備、部活動の技術指導など、保・小・中を含めた学校支援活動を展開するとともに、放課後子ども教室も開催している。
- また、地域行事に、保・小・中の子どもたちがそれぞれ主役となる場面をつくることで、子どもたちの笑顔を見ようと多くの住民が参加するなど、子どもたちが求心力となって、家庭、学校、地域の相互連携を促進し、それぞれの活性化が図られている。



見守り隊との対面式

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- 活動内容の深化・多様化

防犯・交通安全啓発のために活動していたパトロール隊が子どもたちとの対面式を行うことで、子どもたちは地域のいろいろな人が自分たちを見守ってくれているという安心感を持つとともに、隊員も活動に取り組むモチベーションが上がっている。

### <実践にあたっての工夫>

- 組織・手法における特色

公民館がコーディネーターになり、活動ごとに区長会や婦人会、壮年団体の創生会や老人会、スポーツクラブなどの地域団体に協力を依頼することで地域総ぐるみで子どもたちを見守り育てる体制が整備されている。

- 参加者・人数の充実

地域団体の協力を得ることで、登録ボランティア以外の住民も活動に参画している。

- 継続性・定着度

少子高齢過疎の地域にあって子どもたちの笑顔は活力の源。「おらが地域の学校」が心の拠り所として、住民は積極的に活動に参加してくれる。

### <その他の特徴>

- ニーズの把握と即時対応

小・中・公が隣接しており、毎朝登校時に子どもたちを見守りながら行う、先生との立ち話がニーズ把握の情報源。その情報をもとに、公民館が住民や地域団体との連携を取り持ち、素早い対応を果たしている。



学校と子どもたちは地域コミュニティの活力源

## 事業を実施して

- ・わが子や孫が都市へ転出している地域のおじやおばは、地域の子どもたちとのふれあいに生き甲斐を感じている。
- ・学校は、PTA会員の減少に伴って各種の行事や活動に困難をきたしていたが、ボランティアの支援で活動を継続できることに感謝をしている。
- ・ボランティアが地域の子どものために頑張る姿を見せてくれることで、保護者も子どもたちのためにもっと頑張ろうという気持ちが湧いてきている。



こんな活動です!!

# 地域の子どもは地域で育てる。 地域住民が講師となり、体験学習を行う。

## 活動名

阪谷放課後子ども教室【福井県大野市】

## 関係する学校

阪谷小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	0人	25人	193日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
阪谷公民館(児童室、会議室、和室) 小学校(グラウンド、体育館)		19年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

定期的に地域住民(安全管理員)の特技を活かした体験学習を実施しており、地域住民にとっても生きがいの場となっている。山間部に位置しており、子どもが少なく下校後も近隣に遊び仲間がないという問題があった。また、熊出没の危険性もあり、子どもだけで屋外で遊ぶことも心配されていた。そのような中、地域住民の尽力で運営されてきた。



茶道教室

## 特徴

★安全管理員が講師となり、体験学習を定期的の実施している。

- 百人一首教室 【毎週月曜日】
- 茶道教室 【第2・4水曜日】
- バドミントン教室【毎週金曜日】
- 農業体験 【5月】ジャガイモ、サツマイモの植栽  
【7月】ジャガイモの収穫  
【9月】サツマイモの収穫
- ボランティア活動【12月】歳末助け合い募金活動

★体験学習の成果を阪谷地区文化祭など地区の行事で披露したり、収穫したジャガイモやサツマイモは、販売したり、調理しておやつとして味わったりしている。



歳末助け合い募金活動



農業体験(ジャガイモ植え)



農業体験(サツマイモの収穫)

## 事業を実施して

- ・放課後の子どもたちが、集い、遊んだり、勉強したりする場として、また子どもを安全に見守る場として重要な役割を果たしている。
- ・地域住民が、定期的に体験教室を実施しているので、子どもたちも継続して学習することができる。
- ・地域住民の特技を活かした体験学習は、子どもだけでなく、地域住民の活性化につながっている。

こんな活動です!!

# 地域の宝・子どもの育成に向け、八田小を核に地域総ぐるみで地域の教育力の向上を図る

## 活動名

みんなで汗をかく地域八田  
【山梨県南アルプス市】

## 関係する学校

八田小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	230人	15年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域に精通したコーディネーターが、学校のニーズと支援者の適正をマッチさせ、適宜適切に学校支援を行っている。教科学習の他総合、道徳、外国籍児童への適応指導、環境整備など支援の分野も幅広く、児童と住民の交流もあたり前である。

毎日の通学の見守りは、11名による月例会で常に最新の情報を共有し、190名余の支援者に支えられて、発足以来9年間、不審者等の発生をみていない。



学校応援団員による「川柳」の学習



「我が家の減災」親子で話し合い

## 特徴

- ★後援会1,900戸、子どもを守る会190名、学校応援団40名、保護者350世帯、子ども110番の家70ヶ所が、得意の分野に力を発揮し協力して地域の教育力を高めています。
- ★地域を知り尽くしたコーディネーターによる、ニーズとサポートの速やかなマッチング、全員出番のある学校応援団。
- ★警察官も交えた月例代表者会による、情報共有に支えられた子どもを守る会。
- ★早寝早起き朝ご飯運動、親子読書活動、命を繋ぐ緑のカーテン、減災への徹底した効果的取組など、自ら当たり前前前のことを当たり前に取り組むPTA。
- ・**全ての組織で「当たり前前前の事を当たり前に行う(凡事徹底)」の推進**

### みんなで汗をかく地域 八田 の共通認識

- ・すべての活動は児童の育成に収斂する。児童のための、児童を主体とした活動。
- ・できる人が、できるときに、できることを。学校を核とした大人の交流の推進。
- ・まず「徳・得」がある。一方的に支援するのではなく、互惠関係であること。
- ・自己有用感を育成する教育課程外の取組。全学年立候補緑のカーテン隊、川柳隊等。
- ・減災、親子読書、早寝早起き朝ごはんの取組等。できることは自ら行う八田小PTA。



子どもを守る会会員による歩行指導



「親子読書の夕べ」我が家の親子読書発表

### キーワード

- ①できる人が、できるときに、できることを
- ②求めている人と手をつなぎ
- ③むりせず、しかし、ながく
- ④多くの人の話題にする

- ・全員の出番のある学校応援団であること。登録された分野を超えた活動を実施している。職員が期待している。(①)
- ・まずは、参画者自身にこそ、徳・得がある互惠活動であること。(②)
- ・継続こそ力なりの精神で活動していくこと。(③)
- ・「地域全体で子どもを育てる」意識をもって活動すること。(④)

## 事業を実施して

- ・未来を担う子どもたちを育てることを、学校と地域住民の共通の願いとして、学校を核として教育活動をすすめることは、「子ども、家庭、地域住民」のいずれにとっても良い成果を得ることができるという地域の認識である。
- ・地域が動けば、PTA、学校も動き、地域の絆が深まり、みんなで子どもを育てる地域となることが実証されている。
- ・子どもたちは多くの大人に接することで、みんなちがってみんないいことを実感している。
- ・地域の方と顔見知りになり、子どもたちが地域に帰っても、いつも見守られ、安心・安全の中で過ごしている。



こんな活動です!!

# 「放課後子どもプランの推進」 小学校や放課後児童クラブとの連携を図っています!

## 活動名

北杜市放課後子ども教室【山梨県北杜市】

## 関係する学校

北杜市内全14小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	26人	235日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	須玉ふれあい館ほか		19年度	あり

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

1小学校区1教室を目標に、市全体として取り組んでいる。小学校に近い施設を利用しながら、90人を超える地域住民の協力を得て、様々な活動を実施している。年間4回リーダー会議を開催し、各教室の情報交換を図っているほか、放課後児童クラブとの合同行事を開催するなど、連携を図っている。

## 特徴

- ★「放課後子どもプラン」として放課後児童クラブとの合同行事を開催するなど、連携を図っている。
- ★コーディネーターが学校と調整して、学校の協力を得ながら出前教室を開催。子どもが参加しやすい環境づくりをしている。
- ★90人を超える地域の大人が携わり、様々な活動を通じて、大人と子どもの交流の場となっています。参加児童は年間で延べ6,000人を超えており、放課後における安全で安心な子どもの居場所としての機能を果たしている。
- ★地域の特色を活かしながら、稲刈りや茶道、お琴等の体験教室、七夕飾り作りやハロウィン飾り作り、しめ縄作り等といった季節に応じた工作教室、また、地域の高齢者と一緒に行うゲートボールやグラウンドゴルフ等、様々な活動を行っている。



稲刈り体験



「ほくとあそびの森」でどろんこ体験



クリスマス飾りづくり

## 事業を実施して

放課後子ども教室の実施により、放課後における児童の安全で安心な居場所を確保することができている。また、活動を通して様々な体験をし、地域の大人とも交流する中で、地域社会の中で心豊かで健やかに育つ児童の育成が図られている。

教室に参加する子どもはみんな楽しく遊び、学び、体験し、参加児童の保護者からは、「放課後子ども教室ならではの体験を子どもに体験させることができとてもありがたいです」との感謝の言葉をいただいている。



こんな活動です!!

# 「ともに学びともに育つ」～地域による様々なボランティアが学校を活性化させる

## 活動名

甲斐市立双葉西小学校学校支援地域会議  
【山梨県甲斐市】

## 関係する学校

双葉西小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	5人	80人	23年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		一年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成24年4月1日	15人	333人	13学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

従前から取り組まれていたボランティア活動を「学校支援地域会議」として組織化し、5人のコーディネーターの下、5つの分野(学習支援、体験活動、子育て、環境整備、安全)にわたって、学校支援活動を行っている。地域の公民館、図書館、福祉協議会などの各団体と幅広く連携している。これらを踏まえ、平成24年、学校支援活動を中核としたコミュニティ・スクールを立ち上げた。



地域のお年寄りから昔の遊びを教えてもらう

## 特徴

- ★学校応援団員が、学習・体験活動・安全・子育て・環境整備の5つの支援部会に所属し、様々な活動を展開している。
- ★活動の事務局として、学校内にボランティアルームを整備。計画を立てたり情報交換をしたりする場としている。
- ★支援活動について、ブログ配信やHPの更新を随時行ない、発信している。
- ★避難所会議を開催して、防災への共通理解や通学路の安全確認など、地域と協力しながら行っている。



「雑木林復活プロジェクト」で話を聞く



稲刈り体験

## 事業を実施して

- ・知恵や技、経験が豊富な皆様が授業に関わって下さっていることを感謝しています。子ども達にとっては貴重な体験であると思っています。
- ・とても温かく有り難い存在です。親達の世代では教えられない昔ながらの生活の知恵や地域の行事を子ども達に伝授してもらいたい。日頃、行っている地域のお年寄りの方々とのふれあいの機会は大切であると思います。(以上「コミュニティ・スクールに関わる保護者アンケート」より)

○学校応援団をはじめとするコミュニティ・スクールに関わる地域の方々への感謝の声がたくさん寄せられた。今後も、諸活動への関わりを大いに期待する意見が多く寄せられた。

こんな活動です!!

# 地域と共に育つ 地域・保護者・学校 三者が一体となった学校づくり

## 活動名

上田市立浦里小学校【長野県上田市】

## 関係する学校

浦里小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	一人	一人	一年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	一年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年4月1日	8人	92人	6学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

17のお助け隊と呼ばれる支援組織の活動により、地域の方々の手で学校を支え子どもを育てる活動が熱心に行われている。主な内容は、学習支援(社会・英語・算数・習字・図工・理科)、総合的な学習(米野菜作り・伝統継承)、クラブ活動指導や読み聞かせ、子ども見守り、遠足への参加、校庭庭木の手入れなど多岐にわたる。広報誌の発行(右「うらさとコミュニティ・スクールだより」)等を通し、保護者・地域住民の学校教育への参画意識の向上が見られる。



英語教え隊



教科支援ボランティア隊

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★学校運営協議会の下に学校支援組織(自然環境・歴史文化・スクール)を置き、学校・PTA・地域住民が所属し連携を図っている。(右下「組織体制」参照)
- ★学校からの要請に応じ、人との関わりや体験的活動を重視したふるさと学習を、地域と共同で実施している。(下「コスモス咲かせ隊」、「お助け隊年間計画」参照)
- ★「あいさつ運動」と「メディアコントロール」の活動を地域全体で取り組んでいる。(下「実践目標語づくり」参照)
- ★家庭学習の手引きを保護者とともに作成し、家庭と協力して児童の家庭生活の充実が図っている。

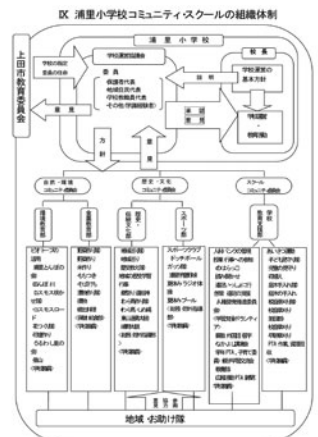


コスモス咲かせ隊とのコスモス交流

各学年でふるさと学習年間指導計画を立て、下記のお助け隊年間計画と調整をとり、地域の方と関わりながら問題解決的な体験学習を行う。

### お助け隊年間計画

学年	1	2	3	4	5	6
総合的な学習の時間	ふるさと学習(米作り)	ふるさと学習(米作り)	ふるさと学習(米作り)	ふるさと学習(米作り)	ふるさと学習(米作り)	ふるさと学習(米作り)
英語	英語学習	英語学習	英語学習	英語学習	英語学習	英語学習
算数	算数学習	算数学習	算数学習	算数学習	算数学習	算数学習
国語	国語学習	国語学習	国語学習	国語学習	国語学習	国語学習
理科	理科学習	理科学習	理科学習	理科学習	理科学習	理科学習
図工	図工学習	図工学習	図工学習	図工学習	図工学習	図工学習
音楽	音楽学習	音楽学習	音楽学習	音楽学習	音楽学習	音楽学習
体育	体育学習	体育学習	体育学習	体育学習	体育学習	体育学習
生活科	生活科学習	生活科学習	生活科学習	生活科学習	生活科学習	生活科学習
道徳	道徳学習	道徳学習	道徳学習	道徳学習	道徳学習	道徳学習
特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動	特別活動
その他						



実践目標語づくり  
学校運営協議会で標語を募集し、それを地域や各家庭に配付し、啓発活動を行う。

決めようね ゲームをやる日 やる時間  
パソコンや携帯 正しく使おうね  
見すぎない テレビゲームも  
テレビはね スイッチきろう 自分から  
ゲームはね 時間を守って 楽しもう

## 事業を実施して

今年度、低学年の校舎が焼失してしまい、一つの校舎で授業を再開するという事態であった。そうした非常事態に対応する中で、児童の安全確保、環境整備、運動会等の行事への協力、学習支援、あいさつを始め日常の声かけによる児童のケア等、常に地域・保護者が学校と協力して児童に関わり、児童を支えることができた。また、児童も地域の方に対して感謝の気持ちを持ち、それを伝えたいという目的意識を持って、コスモス交流などの総合的な学習や運動会に取り組むことができた。そうした活動により、地域や保護者が元気づけられ、学校に対して関心を高め、協力を申し出る声も多く聞かれた。ただの連携でなく、地域と学校が次第に融合しながら、児童を育て、地域を育てようという意識が高まった。



こんな活動です!!

# 「学校に出かけよう 学校に手を貸そう 共に学ぼう」 『地域が誇れる学校づくり』

## 活動名

中洲小学校学校運営協議会  
【長野県諏訪市】

## 関係する学校

中洲小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日	26人	644人	24学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

年5回の運営協議会において、学校の基本方針の承認や評価を行っている。また、学習支援、交流教育、ものづくり(畑での野菜づくりや田植え)、安全、PC支援(学校行事のメール配信や学校HPの更新)、施設支援の6つの分野にわたり、支援を行っている。これらの結果、学校教育が充実するとともに、地域の学校運営への参画意識も高まっている。

## 特徴

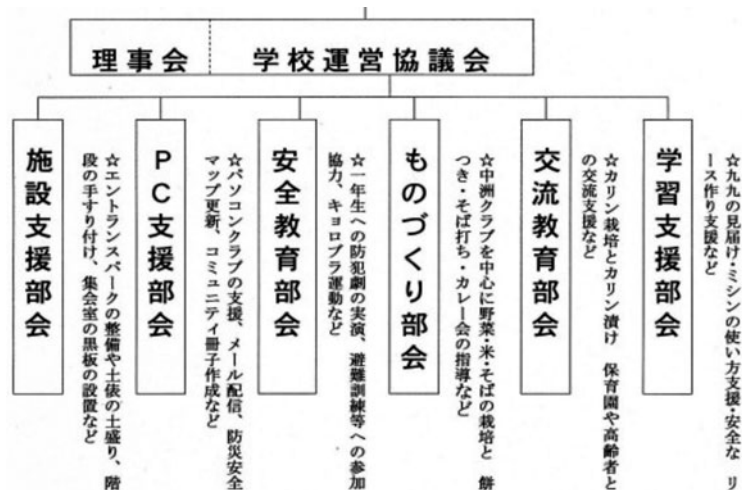
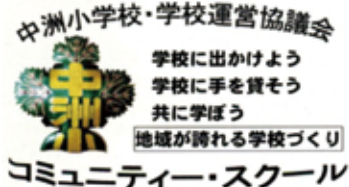
- ★学校の基本方針の承認や評価を行っている。
- ★農業体験や学習支援など、6つの部会での支援を行っている。
- ★児童の体験学習や授業の充実が図られている。
- ★地域の学校運営に対する参画意識が高まっている。



かりんの袋がけ



土俵作り



## 事業を実施して

- ・コミュニティ・スクールの事業が家庭や地域の子育てに対する認識を深めることにつながっている。
- ・学び方を学び、地域の人と知り合うなど、関わりが深まるなかにも大事な学びがある。
- ・支えていただいた方々から、「子どもたちと関わることで元気をもらっている」という声を頂いている。学習の一環として、手作り遊びを通して一緒に遊んでいたいただいた方の優しいまなざしと自然なやりとりに、理屈抜きに幸せなひとときを実感することができる。



こんな活動です!!

# 地域は学校の応援団

～できることをできるときに無理なく楽しく～

## 活動名

郡上市学校支援実行委員会  
【岐阜県郡上市】

## 関係する学校

郡上市内の全小・中学校  
(小学校22校、中学校8校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	512人	20年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	20人	40日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	市内社会教育施設、図書館ほか		19年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

- \* 国の事業をきっかけとして、地域の教育力を生かし、地域が学校を支援する活動をスムーズに推進するための仕組みづくりを行った。
- \* 市内全体で、様々な分野のボランティアの一元化を図り、どの分野でも地域人材の力を活かした取組ができる体制を構築している。また、読み聞かせボランティアや子育てボランティアを養成する講座を開講し、資質の向上に努めている。
- \* 各地域の公民館を拠点にした地域づくりを目指す中で、公民館主事がコーディネーターを担う形での展開に移行を進めている。



<地域講師によるスキー教室>

レベルに合った小グループで丁寧に指導。  
「いいぞー!」「やったあ!」指導者と子どもたちの笑顔が生まれる。

## 特徴

- ★ 学校支援ボランティアだけでなく、生涯学習関係のボランティアとの一体的なリストとして整備を進めている。(登録ボランティア500名以上)
- ★ クラブ活動や授業では、ボランティアの協力で学校だけではできない多様な事業(貼つり・わら細工・木彫り・スケートなど)に取り組んでいる。
- ★ スキーボランティアは自主的に会議を開催し、ボランティア派遣人数等の調整を行っている。
- ★ ボランティア募集のチラシを配布し、さらに地域の人材を発掘。
- ★ ボランティア保険で安心活動を行っている。



<ボランティア募集のチラシ>



<地域の方と行う米づくり>

田植え・稲刈り・脱穀と、一連の作業を体験。稲はハサにかけ、脱穀は足踏み式脱穀機を使い、粃摺りはトウミでと、地域の方の力を借りて昔ながらの方法を学ぶ。

## 事業を実施して

- \* 事業に取り組むことにより、地域住民が学校の応援団となるような仕組みづくりが確立した。事業が終了した今も、学校支援地域本部事業の仕組みを生かした取組が市内全域で行われており、学校を支援するボランティアも500名を超えている。
- \* 地域の教育力が学校教育に生かされているだけでなく、ボランティアの方にとっても生活の張り合いにつながっている。

### 【関係者の声から～ボランティアによる遊具のペンキ塗りが終わって～】

- ・ 人のために奉仕する姿はすばらしい。本当にありがたい。(学校の声)
- ・ 遊具がきれいになってうれしい。地域の皆さんありがとう。(児童の声)
- ・ 子どもたちや先生方に喜んでもらえてうれしいし、自分の励みになる(ボランティアの声)

こんな活動です!!

# 保護者や地域の方々と一緒に、楽しみながら成長できる子ども教室

## 活動名

恵那市子ども教室【岐阜県恵那市】

## 関係する学校

(市内の7小学校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	4人	26人	79日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	空き教室・体育館・コミュニティセンター		19年度	あり
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

「地域子ども教室」を受け継ぎ、平成19年度から「恵那市子ども教室」として展開し、現在は市内7小学校区で開催。

放課後や休日に、クラフト、軽スポーツ、食育などを通して、子どもたちの「体験」と「交流」、安心安全な活動場所づくりを目的としている。

各教室では、保護者を中心に、地域の方々がサポーターとして活動を支えている。



活動発表会の様子

## 特徴

★保護者が中心となり、地域の方々の協力を得て、実行委員会・サポーター(ボランティア)で各教室を企画・運営している。

★子どもの成長や季節に合わせた年間プログラム(クラフト、軽スポーツ、食育等を取り入れたもの)に基づき、様々な体験活動を行っている。また、異年齢同士のグループ活動、サポーターとのふれあい、保護者との交流日や参観日などを設け、多くの交流の機会を提供している。

★総括コーディネーターを中心として、サポーター研修会(子ども理解の勉強会・安全管理研修等)や、各教室の活動発表会を実施している。スタッフ間の情報交換の場となるとともに、親育て・地域づくりにつながっている。

★学校との懇談会を定期的で開催し、教室の担当者から子どもの様子を伝えるとともに、支援の必要な児童への接し方について学校から助言を得ている。



活動を見守るサポーター

### 【年間プログラムの例】

年度当初(仲間作り)⇒ 落ち着いてきた頃(もの作り)⇒ 年度末(交流の機会)

- ・ 集団ゲーム
- ・ クラフト
- ・ 昔遊び
- ・ レクリエーション
- ・ 調理
- ・ プチ運動会
- ・ 自然体験
- ・ 保護者参観日



集団ゲーム発表



調理



自然体験

## 事業を実施して

単なる子どもの預かり場所ではなく、楽しみながら子どもの成長につながるよう工夫している。子どもたちは毎回とても楽しんで参加し、学年を経るごとにリーダー性が芽生えていくのが見える。

### 【サポーターより】

- ・ わが子の友達との関わり方、家とは違う様子を見ることができた。一緒に楽しい時間を共有していることがうれしい。
- ・ 子どもからいろんな話をしてくれるようになり、道端で出会うと「子ども教室のおじさんだ。」と声をかけてくれる。
- ・ 知り合いが増えて、人とのつながりができた。今どきのお母さんと話ができることもうれしい。

### 【保護者より】

- ・ 家ではできない活動ができて、とても楽しそう。教室の日は朝からワクワクしていて、帰るとたくさん話をしてくれる。
- ・ 親や先生以外の大人と関わることがないので、いい経験になっている。地域の方に見守られて成長でき、感謝している。



こんな活動です!!

# 地域、学校、家庭をつなぐ架け橋！ ～地域の力で安心・安全な居場所づくり～

## 活動名

岡田放課後子ども教室【愛知県知多市】

## 関係する学校

岡田小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	31人	172日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	余裕教室、校庭、体育館など	21年度	あり	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
-	-人	-人	-学級	

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

知多市は、放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携による「知多市放課後子どもプラン」を9小学校で実施している。

コーディネーターが指導員と協力してプログラムを作成し、自由遊びのほか、地域のボランティアを活用した講座を積極的に開き、昔遊び、スポーツ、工作など多彩なプログラムを展開し、放課後における子供たちの安心・安全な活動拠点を確保している。

児童クラブ(隣接した教室に設置)との連携のほか、障がい児などの特別な支援を要する児童の受入れに当たっても、担任や保護者と連絡を取りながら、学校と連携して取り組んでいる。

### ●教室の開催日

月～金曜日(長期休暇を除く)  
の授業後から午後5時まで

### ●参加対象者

岡田小学校に在籍する小学生

### ●参加登録料

学期1,500円(消耗品費、通信運搬費などの経費)

### ●主な活動

ボランティア講師による各種体験活動の実施

## 特徴

★コーディネーターは、放課後子ども教室と放課後児童クラブの指導員の取りまとめ役として、両事業の円滑な遂行、調整を行っている。子ども教室のメニューは、教室指導員とともに企画し、地域講師の選定、依頼のほか地域講師に依頼しない日は、自らが講師を務める。

★放課後の安心で安全な居場所の提供を目的として、地域と学校の協力のもと、小学校で年間172日開催し、83種類の多彩な講座を開催した。

★その内104日は、地域ボランティアが講師として参加し、様々な体験活動を通じて子どもたちとふれあい、延べ5千人の子どもが参加した。

★コーディネーターがコミュニティ、PTA、長寿会などと連携を取り、地域の多くの人々の支援を得ている。

★異年齢の子どもたちが、地域の大人たちとともに活動するので、世代間交流が実現している。

### ★教室プログラムの基本方針

【週1回開催】外遊び(友達同士で遊びを工夫)

【毎月開催】 工作(物作りに取り組む)、読み聞かせ(本に関心を持つ)  
ヨガ体操(姿勢の向上)  
ちぎり絵カレンダー作り(手先の器用さを身につける)  
将棋(先を見通す力を培う)、ダンス(体で表現できる)  
英語で遊ぼう(英語に親しむ)、縄跳び(運動神経の向上)

【随時開催】 おひなさま・こいのぼり(季節の行事を知る)  
抹茶体験(日本文化を知る)ほか



ちぎり絵カレンダー作り



グラウンドゴルフ

## 事業を実施して

放課後子ども教室は、子どもたちに放課後の安心・安全な居場所として、家庭や学校では味わうことのできない様々な体験と得たい知識を提供している。ボランティアをしていただく地域の退職者など熟年者の生きがいづくりの場としても貴重な役割を担い、地域、学校、家庭を繋ぐ架け橋となっている。



こんな活動です!!

# ～学び・遊び・体験・ふれあい～ 元気にあそぼう! 体験活動にチャレンジしよう!

## 活動名

兵庫小学校放課後子ども教室  
【愛知県東郷町】

## 関係する学校

兵庫小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	26人	220日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	余裕教室、校庭、体育館など		20年度	あり
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

兵庫小学校放課後子ども教室は平成20年に本町で最初の子どもの教室として開設された。

子どもたちに安全・安心な居場所を提供するために子どもにとって最も身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学習の支援を始めとする活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養う事を目的としており、自主学習と自由遊び・体験活動などを取り入れた居場所を提供している。特に体験活動では、老人クラブなどと連携を図り、地域の人材を積極的に活用したプログラムに取り組んでいる。

活動を通して異学年交流や地域住民との交流が活発に行われるようになった。学校や保護者、地域の方々の協力を得て今日までの継続的な活動を実現している。



教室の様子(学びの時間)

## 特徴

★平日は下校時から午後5時30分まで、長期休業時は午前9時から午後5時までとし、年間220日前後の開設となっている。

★活動の内容は「学び・遊び・体験・ふれあい」の4つに分類され、「学び」の時間では、授業のある日は1日30分、授業のない日は1日60分の学習タイムを設け、自主学習を支援している。「遊び」の時間には、室内遊びや校庭や中庭でドッジボールなどを行い、「体験」の時間には、普段体験できない事を取り上げ、主に地元の方々に講師にお招きし、お茶の作法を学ぶなどの体験活動も行っている。また、「ふれあい」の時間では地域の方の協力により学校の近隣を散策して自然観察をし、ブランドゴルフやおこしもの作りでは児童クラブと交流を図るなど、教室外での活動も行っている。その他、季節ごとの催事に合わせたイベントや遊びの大会など現場の指導員同士が話し合い実施する事で児童の興味・関心をひきかたてている。主に1年生から3年生までの児童を中心にこれらの活動に参加し、日々、異学年との交流や地域の方々との交流を深めている。

### <実施にあたって>

★教室参加のルールの下、参加票や教室たよりにより保護者と現場の指導員間の情報共有を図り、子どもの安全な居場所の確保を図っている。

★学校との連携として、コーディネーターが定期的に学校と連絡を取り合い、参加児童の情報共有や学校行事、利用施設の確認など協力体制を築いている。また、この事業に対する学校側の理解が非常に深く、スムーズな運営をする事ができている。

★現場の指導員間でも活動日誌をつける事で日々の活動の情報共有を図っている。

★より良い放課後子ども教室の継続のため、放課後子ども教室運営連絡会を設置し、当該年度の事業評価・検証をし、次年度の事業計画に反映させている。会の構成員は放課後子ども教室のコーディネーター、自治会長、学校代表(教頭)、PTA代表、町社会教育指導員である。



お茶の手ほどき(体験活動)



自然観察(体験活動)

## 事業を実施して

心豊かでたくましい子どもを育むとともに異学年交流、地域との交流等新たな人間関係の構築が図られている。

また、学校・保護者・地域・行政が連携をとり、教育環境を支援する体制を作る事ができた。

さらに、子どもの安全を第一に考えて事業の運営にあたり、学校で実施する事により子どもにも保護者にも安心して参加して頂ける場を提供する事ができた。

こんな活動です!!

# 年間を通して 子どもたちの安全・安心な居場所づくり

## 活動名

荻谷放課後子ども教室(愛知県幸田町)

## 関係する学校

荻谷小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	15.7人	260日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
余裕教室		20年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

荻谷放課後子ども教室は、学校区内の児童を対象に、放課後の安全安心な居場所づくりとして、長期休業中も含め、年間260日開催している。

毎日の活動としては、学校の宿題や読書などの自主的な学習、校庭、教室、体育館を使用しての自由遊びやスポーツに取り組んでいる。

また、コーディネーターが学校、児童クラブとの連携を行い、年間を通じて円滑な実施が図られている。特に、学校と子ども教室の間で児童の健康状態や学習・活動の様子などの情報を共有し、学校との連携を密にして実施している。

## 特徴

荻谷放課後子ども教室は、放課後の安全・安心な居場所づくりとして、平日は学校終業後から午後6時まで、長期休業時及び代休日は午前8時から午後6時までとし、年間を通して開催している。

活動内容としては、通常の自主的な学習や自由遊びのほかに、長期休業時などを利用し、ミニ運動会、ふうせんアート作り、ミニ遠足で校外に出るなど、様々な企画を行い、異学年との活動を通して心の交流を図ったり、規律ある行動の習慣化を目指している。

★教室にコーディネーター1名と指導員3名を配置し、役割分担しながら学習支援、各種企画、連絡調整等に取り組んでいる。

★コーディネーターが、適時学校と連絡調整を行い、学校行事や児童の状況等を確認するなど、学校と協力し子どもたちが安全に活動できる体制を構築している。

★外遊びなど、児童クラブとの共有スペースでの活動においては、連携して安全管理に努めている。



ウォーターライダー作り



ふうせんアート作り



ミニ運動会

## 事業を実施して

子ども教室に通うことで、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所ができたことに加え、異学年との交流により社会生活の基礎を学び、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、善悪の判断や倫理観を身につけることができるようになる。



こんな活動です!!

# 子どもは地域の宝 交流・協働・共育の学校づくり・人づくり・里づくり

## 活動名

石榑の里 コミュニティ  
【三重県いなべ市】

## 関係する学校

石榑小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成19年6月1日	15人	278人	13学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校運営協議会を核として、4つの組織によって構成され、地域の資源を活かした生活科・総合的な学習の時間の支援、登下校の見守り、地元企業と連携したプログラムなど、学校支援・学校を核とした地域づくりに幅広く取り組んでいる。また、学習の成果は地域行事で発表したり、日曜日には、地域に開放され、学校フロア(地域ゾーン)でイベントを開催するなど、双方向の関係が構築されている。



わくわくスクール「花あそびの会」



地元企業と連携した衣料回収活動

## 特徴

地域全体で子どもを育てる活動をすすめるとともに、学校と子どもを通して各種団体をつなげることで、学校を拠点とした地域づくりを行っている。

### <主な活動内容>

- ★水曜放課後の「わくわくスクール」や休日の体験教室など、子どもたちの居場所づくり。
- ★茶摘み・酪農・米づくりなどの地域産業を素材にした生活科・総合的な学習の時間の支援。
- ★家庭科のミシンや調理などの授業で、保護者や地域の方々の協力による学習支援。
- ★児童会と地元企業とが連携した衣料回収海外支援活動や、大学と連携したふるさと発見事業。
- ★学校と地域の3世代交流イベント「石榑の里まつり」などの企画運営。
- ★登下校に同行する「見守りたい(隊)」や「安全を守る家」訪問での安全確保。
- ★PTAと共同で月1回の「地域清掃」や、ボランティアによる庭木剪定などの環境整備。



今年も大盛況だった 第6回石榑の里まつり

## 事業を実施して

さまざまな取組をとおして、地域の方と子ども、地域の方どうしの絆が広がり深まっている。世代を超えた交流が一層思いを強く、地域を元気にしている。自治会などの地縁組織との協働だけでなく、大学・企業との協働など連携も広がっている。

日常的な取組である「見守りたい(隊)」や「わくわくスクール」のお年寄りの方々からは、「子どもたちから元気をもらい楽しい。」と、やりがいを感じていただいている。「石榑の里まつり」は、年々参加者も多くなり、地域に根付いてきているとともに、ボランティアで参加した保護者や地域の方々から「親同士のつながりができた。」「自分たちで創りあげていると実感した。」という声も多くなってきている。



こんな活動です!!

# 高野尾発、地域ぐるみのキャリア教育！

## 活動名

高野尾小学校 学校支援本部  
【三重県津市】

## 関係する学校

高野尾小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	52人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	1年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級

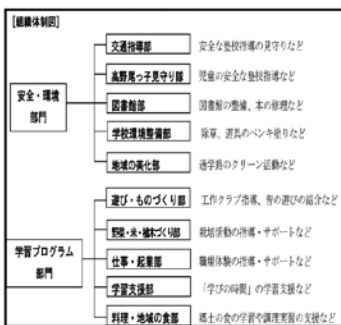
※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

安全・環境部門と学習プログラム部門を置き、それぞれにコーディネーターを配置。さらにそれぞれが5分野に分かれ、学校が求める柱に沿った、幅広い支援活動を展開している。毎月代表者会議を開催することで、情報の共有と円滑な運営を図っている。保護者・地域住民から高い評価を得ており、学校の取組への理解者・協力者は着実に増加している。

### 〈5つの柱〉

- ①基礎・基本の定着を図る活動への支援
- ②体験から学ばせる活動への支援
- ③児童を事件・事故から守る支援
- ④学習環境を整える取組への支援
- ⑤地域を知り、大切に作る心を育てる取組への支援



## 特徴

高野尾小学校支援本部は、平成20年5月30日に発足し、今年で早5年目となった。この間、多くの皆さんの協力を得て、いろいろな支援活動を楽しめることができた。子どもは将来の日本を背負って立つ、大切な地域の宝である。今年も地域の宝を育てるために、一生懸命になっている先生方に感謝し、いろいろな形で積極的に応援したいと思っている。高野尾小学校へお越しいただけば、きっと笑顔いっぱいの先生方に迎えられ、子どもたちからは元気をどっさりもらって帰ることができるだろう。

★学校のニーズに応じた環境整備、学習支援等の学校支援活動に取り組んでいる。

★キャリア教育の推進への支援が盛んである。学校だけではできない、多彩な体験活動に取り組んでいる。

★起業教育「会社をつくろう」と国際貢献「ラオスの学校との交流」は、学校と協働した特徴的な取組である。

★「学校支援本部だより」を年7回、全自治会に配付することで、学校の取組への理解、ボランティア登録者数の増加、まちづくりの担い手育成につながっている。



起業教育「商品作り」



生産体験「大豆の栽培」



生産体験「りんごの摘果」



職業体験「うどん作り」



学びの時間「算数」



ラオスNGOを招いて

## 事業を実施して

〈児童の変容〉様々な出会いからコミュニケーション力が向上し、自信をもって行動できる児童がかなり増えた。さらに、学習意欲や人のために役立つとする意欲の高まりとともに、将来の夢や目標をもって生活する児童が多くなっている。

〈教職員及び学校の変容〉地域連携の重要性を理解し、授業の質の高まりにつながっている。また、精神的なゆとりができて、もてなしの心がかなり深まっている。学校に対する理解者・協力者が増え、学校・家庭・地域の信頼関係は着実に深まってきている。高野尾小学校の教育に満足している保護者の割合は98%である。

〈支援者の声〉自治会と学校がタイアップして、「ふれあい運動会」や「もちつき集会」が開催され、地域と学校のつながりが深まり、学校を核としたまちづくりが進んでいると感じる。学校に足を運びお手伝いしていることは、今では生き甲斐である。先生たちは笑顔で迎えてくれ、子どもたちからは元気をもらえる。

こんな活動です!!

# 自然とふれ合う実体験で子どもは成長する! 自然体験型教室の実施

## 活動名

のぼりくらぶ【三重県亀山市】

## 関係する学校

野登小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	23人	200日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	小学校教室、グラウンド、体育館	20年度	なし	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の伝統芸能の体験活動や自由遊びなど、地域との交流に重点を置いた自然体験型の文化系活動や、スポーツ系活動を実施している。

自然体験活動では、『生きる力』が身に付くよう、自然体験ができる場所を提供し、子どもたちが自由に考え、自らが判断して遊べる教室としている。

また、スポーツ系活動についてはレベルを設定し、学年に合わせた内容とするなど工夫している。

保護者を中心に多くの地域住民の協力の下、年間200日開催している。

## 特徴

間伐体験、川の水質検査など自然体験プログラムを取り入れている。

地域の伝統芸能や昔の遊びなど、文化継承につながる体験型教室を実施している。



間伐体験



昔の遊び(福笑い)

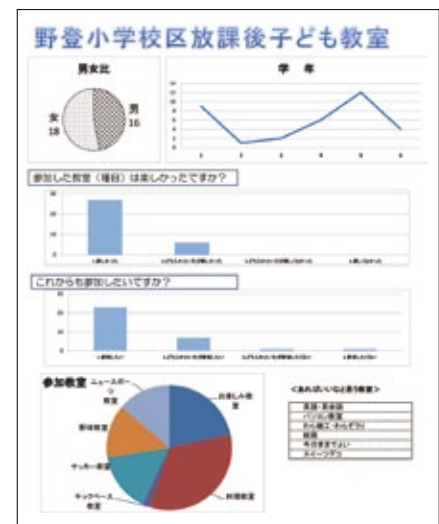


川での学習

スポーツ系活動についてはレベルを設定し、学年に合わせた内容とするなど、工夫している。



コーディネーターを中心にPTAや地域が連携しながら、児童へのアンケートにより希望する教室を把握し、年間延べ200教室を開催している。



教室参加者アンケート

## 事業を実施して

自然体験型を中心とした教室を展開することにより、地域の方との交流の機会が増えている。また、スポーツ系教室、文化系教室を問わず、保護者のボランティアとして参加する人数が増加するなど、校区全体で教室を支える仕組みが出来ている。



こんな活動です!!

# 家庭教育支援から子どもの体験活動を含めた一体的な学校支援活動!

## 活動名

笠置小学校支援地域本部【京都府笠置町】

## 関係する学校

笠置小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	50人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	13人	51日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	笠置小学校(図書室・体育館)他		20年度	あり
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校のニーズに応じた学習支援、安全・安心サポート、環境整備等、多様な支援活動に多くの地域住民が参画することにより、地域で子どもを守り育てる意識が高まっている。また、放課後子ども教室、家庭教育支援協議会と一体的に取り組むことにより、放課後や土曜日の活動、保護者への支援活動等の取組が広がっている。

## 特徴

- ★学校支援の様々な活動を通して、地域全体で子どもを守り育てる環境作りが進んでいる。
- ★地域の伝統文化を継承・発展させる授業の講師を地域住民が数多く務め、学校を核とした生涯学習の場が広がっている。
- ★放課後子ども教室や家庭教育支援協議会との連携により、乳幼児の保護者への支援から学校教育への支援まで幅広い活動が実現している。



社会科：米づくり



社会科：生け花(室町文化)

地域本部の3つの柱＝学校支援事業・かさぎ・まなび塾・家庭教育支援チーム



まなび塾：カヌー体験教室



ほっとサロン：ビーズアクセサリーづくり

## 事業を実施して

笠置町は人口1,600人あまりの小さな町であり、笠置小学校の児童42名は地域の宝である。その宝を地域総がかりで育てていくとする取組が笠置小学校支援地域本部である。地域の方の協力を得て実施している様々な学校支援活動(学習指導・環境整備)、児童の放課後や休日を活用して行っているかさぎ・まなび塾、そして、乳幼児をもつ保護者が参加する『ほっとサロン』。それらの活動を通して、子どもたちを中心に保護者や地域の絆が深まっている。今後も、次代を担う子どもたちの育成に地域総がかりで取り組んでいきたい。



こんな活動です!!

# 教室の外でも使える「英語」をめざして ～地域ボランティアによる英語学習の支援～

## 活動名

長岡京市立長岡第四中学校  
学校支援地域本部【京都府長岡京市】

## 関係する学校

長岡第四中学校

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	21人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		一年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

- ◇学校のニーズに併せて、英語に特化した学習支援活動を次のような充実したメニューにより展開
- ★3年生を対象にしたレベル別補充学習(7校時学習会)
- ★授業補助
- ★英検などに取り組むチャレンジ学習
- ★ふり返りスタディ
- ◇校内にボランティアルームを設置

## 特徴

- ★教職員との意見交換も活発に行われており、開かれた学校づくりにつながっている。
- ★学校のニーズに応じ、英語に特化した学習支援活動を実施している。
- ★学校にボランティアルーム、職員室にコーディネーターの机を設置し、日常的に学校と連携が図れるよう配慮している。
- ★手作りのボランティア募集チラシを校区内に全戸配付するとともに、広報誌やホームページを活用して啓発をしている。
- ★地域の人にとっても、今までの経験や技能を発揮することができる生涯学習の場となっている。



募集チラシ

四中卒業生制作の広報ポスター



## 3年生 第3期7校時学習会、チャレンジ学習始まる!

師走に入り、3年生もいよいよ進路決定の佳境を迎えようとしています。放課後には、寸暇を惜しんで7校時学習会に向かう3年生の姿も。地域ボランティアさんとともに熱心に学習に取り組んでいます。

～平成23年12月6日 長岡第四中学校ホームページより～

## 事業を実施して

- 学校の外でも使える英語力をつけ、「英語の四中」と言われる特色ある学校づくりをめざすとともに、分かる喜びや学習意欲を他教科の学習にも派生させたいという学校方針を受け、7校時学習会からスタートした。その結果、着実に活動の範囲を広げ英語力の向上に大きな成果を上げ、全国学力学習状況調査の伸びや英検の受検者及び合格者の増加等にも表れてきている。
- 生徒・保護者・教職員対象のアンケート結果を見ると、英語が分かるようになった、英語学習への興味が深まった、自主的な家庭学習の習慣が身に付いた、英検チャレンジに自信がついた、地域ボランティアの方への感謝の念が育っている等、大変好評である。

こんな活動です!!

# つながる美加の台!!

～心豊かに たくましく きらり輝く 美加の台っ子～

## 活動名

河内長野市立美加の台中学校区学校支援地域本部  
ゆめ☆まなびネット【大阪府河内長野市】

## 関係する学校

美加の台中学校、美加の台小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	○

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	196人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	77人	13日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
校舎内		22年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コーディネーターが、ボランティアと学校のニーズを的確につないで、学習支援・読み聞かせ・部活動支援・登下校の見守りなどの学校支援を行っている。

ボランティアに対して、子どもから運動会の招待状を出したり、本部とボランティアの間を、ちびボラさん(ボランティアの近所の小学生)を通じてやりとりがなされるなど、子どもも活躍できる仕組みとなっている。

ボランティアは各種団体に所属し活動するのではなく、個人の意志でできることを考えて活動するシステムになっている。

小・中学校とともに地域連携の担当教員が置かれ、コーディネーターとの連携を円滑に進めている。

## 特徴

★小・中学校両方の校内にコーディネーターが常駐できる拠点があり、在校している日は職員室に明示され、教職員から相談・依頼しやすい工夫がある。

★小・中学校とともに、地域連携担当の教職員をおき、地域へニーズを発信する等コーディネーターとの連携を円滑にしている。

★ボランティアが集う研修・交流会を定期的に行い、モチベーションの維持・向上を図っている。

★活動の様子等について、校内掲示や「ゆめ☆まなびNEWS」、ホームページ等による情報発信も充実している。



ゆめ☆まなびNEWSの発行



ちびボラさんの取組み



活動の様子の掲示



ボランティア研修会・交流会の様子



中学校 調理実習の補助の様子



ピカショー・ピカチュウ大作戦  
あったかい豚汁づくり



放課後学習支援(チャレンジ教室)

## 事業を実施して

○「子どもたちのために、できる人が、できるときに、できることを、楽しく」をモットーに地域だからできることを見つけて学校の教育活動を支援するために活動をしている。地域と学校のつながりが更に深まってきている。

○「ちびボラ」が小さな役割を担うことで、近所のボランティアと子どもたちの出会いの場面が作られ、相互の良い関係作りに活かされている。

○大学生ボランティア数も増え、放課後学習・行事、部活動等で活躍している。地域と学校を知ることで今後の活動に活かされている。



こんな活動です!!

# 開かれた学校づくりで、子どもたちに豊かな体験活動を!

## 活動名

大阪府立東大阪支援学校【大阪府】

## 関係する学校

東大阪支援学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	124人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	6人	60日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
運動場、校舎内		19年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

広域から通学し、校区の基盤がない支援学校という条件の中で、学校支援の仕組みを構築し、ますます拡充しようとしている。コーディネーター4人が環境整備支援と学習支援を分担し、学校のニーズ・ボランティアの意向を把握して支援に結びつけている。企業のCSR活動や専門学校・大学との連携も進み、学生による支援も活発に行われている。

### 大学との連携



大阪大谷大学人形劇部“おもちゃ箱”



大阪教育大学ギターマンドリン部

## 特徴

- ★学校支援地域本部の開始以前から学校が地域に働きかけ、それに地域が応え、よりよい協働の関係が築かれてきた。
- ★コーディネーターは、学校のニーズを捉えてボランティアへとつなげ、またボランティアの意向を集約して学校支援に結びつけている。
- ★夏季休業期間中に様々な講座を実施するなど、近隣地域とのつながりを深める工夫がなされている。
- ★「学校支援ボランティアだより」を発行し、支援活動の内容や活動予定等の紹介をするなど、情報発信を大切にしている。



ジャグリング



大型絵本の読み聞かせ



芝生広場の整備



田植え 近畿大学学生ボランティア



稲刈り 近畿大学学生ボランティア



お茶会



“ヒューマンノート”によるゴスペル

## 事業を実施して

### 学校支援ボランティアの方々の感想

- ☆社会と支援学校との距離感がなくなり、誰もが自然にボランティア活動に参加できるようになればいいと思う。
- ☆社会に開かれた取組みは非常にありがたい。
- ☆温かく受け入れていただいて支援学校との心理的距離がぐんと縮まったように思う。
- ☆ボランティア活動を通して生徒の皆さんからいのちの輝き、力強さなど多くのことを学んだ。



こんな活動です!!

# 子どもたちの「やってみたい!」をかたちに。

## 活動名

幸小学校げんきっ子プラザ  
【大阪府和泉市】

## 関係する学校

幸小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	14.1人	226日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	小学校運動場、青少年センター		20年度	あり
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

子どもの居場所づくり(自由遊び)と、スポーツ活動(ソフトボール)の2つを柱として、活動に取り組んでいる。同一の運営主体により、子ども教室と放課後児童クラブが一体的に運営されており、自由に交流する機会を設けているほか、合同の活動も実施している。この結果、学年を超えた人間関係を築くことができる。



小学校の運動場で行われている「げんきっ子プラザ」活動ソフトボールの様子

## 特徴

- ★地域の子どもの様子をよく知るNPO法人が、子ども教室と、放課後児童クラブを一体的に運営。学年を超えた人間関係を築くことができている。
- ★コーディネーターがキーパーソンになり、両事業の交流の仕掛けづくりを行っている。
- ★活動を通して子どもと地域の大人とのナナメの関係づくりが進んでいる。
- ★ここでの活動を体験した子どもたちが成長し、ボランティアとして活動に参加し、指導者として活動の担い手となるというサイクルが生じてきている。



青少年センターの運動場で遊ぶ児童の様子



おおさか元気広場の参加児童と学童保育の参加児童と一緒にドッジボールする様子



ポップコーン作りの薪の準備をする児童の様子



運動場で大人に見守られて遊んでいる様子

## 事業を実施して

- 高学年以上の子どもたちが曜日限定ではあるが日常的に青少年センターに遊びに来ることができるようになった。
- 仲間や地域の方々との絆が生まれ、日頃から互いに気持ちよく挨拶ができる関係がはぐくまれている。
- 子どもたちが活動においてがんばったことに対して、地域からも学校からも認められ、ほめられるという良いサイクルがつけられ、児童が自己肯定感を高めていける活動として校区に位置づいている。

こんな活動です!!

# 地域に学ぶ、地域で育つ。地域の優れた人材を活用した学校教育活動!!

## 活動名

南あわじ市立市小学校  
【兵庫県南あわじ市】

## 関係する学校

市小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	250人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	-	-	一年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成8年に設置された子育て推進協議会を母体として、学校・地域の連携を推進してきた。公民館が事務局を担い、学校支援に関わる組織の一元化を図っている。通学路でのあいさつ運動やパトロール、地域との交流活動のほか、学習支援については、伝統芸能や家庭科・理科の補助など、地域人材を活用した支援が行われている。



あいさつ運動



読み聞かせ

## 特徴

- ★「あいさつ運動」は、子どもと地域に元気を与え、子どもを見守る「思いやりの防犯カメラ」になっている。
- ★課外活動の「淡路人形浄瑠璃」は、人間国宝の師匠から直接指導を受け、41年目を迎えている。
- ★家庭科「ミシン実習」、理科「メダカ教室」、国語科「読み聞かせ」等、地域の人材を積極的に活用している。
- ★老人会との交流「グランドゴルフ」「カレーパーティー」「もちつき」など、伝統の技と食について、先輩に教えてもらっている。



家庭科ミシン実習補助



家庭科魚料理実習補助



老人会との交流 「もちつき大会」

## 事業を実施して

「あいさつ運動」や様々な活動を通して、地域の人たちと子どもたちのふれあう機会が増え、「地域の子どもは地域で育てていく。」という意識が高まった。また、学校支援ボランティアの活動が拡大し、オープンスクールへの参加者が増加した。さらに、地域の人の多くの目が子どもたちを見守り、いじめ等の問題行動を未然に防ぎ、早期発見に大きな役割を果たしている。



こんな活動です!!

# 統合後の旧校区では公民館実施！ 下校バスの活用で1校区3会場の子ども教室が実現！

## 活動名

山野里小学校放課後子ども教室  
【兵庫県上郡町】

## 関係する学校

山野里小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	11人	200日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
公民館、校庭、体育館、研修室、プレハブ校舎など		19年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

★平成22年度実施の校区再編の後、旧校区において、地域ぐるみの子育ての拠点となる公民館を活用して子ども教室を行う2つの会場を含め、1校区3会場で開催している。  
★地域ボランティアが子どもの安全を見守るなか、自由遊び・学習などに取り組むとともに、学童クラブとの連携活動にも取り組んでいる。  
★旧校区の会場では、下校バスの時間差(低学年・高学年)を利用して活動が行われている。

### 山野里小学校放課後子ども教室

#### ◆山野里会場◆

15:00～16:30 @学校内プレハブ

#### ◆船坂会場◆

15:10～16:10 @船坂公民館

#### ◆梨ヶ原会場◆

15:15～16:15 @梨ヶ原公民館

## 特徴

★学校統合後の旧校区においても、下校バスを活用して継続実施したことにより、1校区3会場の子ども教室が実現した。  
★公民館での子ども教室開催が、地域ぐるみの子育て推進に役立っている。  
★有志で集まる地域ボランティアの皆さんと地元の子どもたちが、まるで家族のように過ごせるあたたかい教室である。  
★大型展示「共同制作イベント」は今や恒例となっており、子ども教室と学童クラブが連携し、放課後ならではの文化を発信している。



下校バスからおりて公民館会場へ「ただいま～!」と見守りボランティアに抱きつく子どもも!



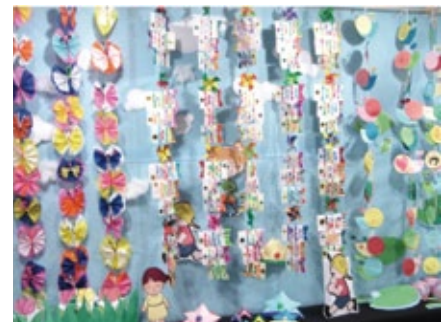
冬になると折り紙がはやる教室イベントに向けてボランティアと一緒に作品づくりに励みます



教室に来て、まず宿題にとりかかる子どもたちとそれを見守るボランティア



ボランティアによる音楽コンサート学童クラブの児童と一緒に聴きます



町内放課後子ども教室・学童クラブが共同制作した季節のれんの展示

## 事業を実施して

『バスで地元に戻ったら、ボランティアさんが「おかえり」って迎えてくれる! ホットしてうれしいな!』(参加児童の声)  
『校区統合で近くに学校がないけれど、この教室には子どもの声が元気に響き、張り合いがあります』(ボランティアの声)  
『学校でも家でもない! 独特の空間と時間を、子どもやボランティアさんたちと楽しんでいます』(コーディネーターの声)  
『この教室には安心して子どもを通わせられる! 豊かに育っている! と保護者が思う教室になりました』(運営委員長の声)  
『めざす子ども像を共有し、学校・家庭・地域が協力して子どもの育ちを支える事の大切さを実感しています』(学校の声)

こんな活動です!!

# 「無理なく・楽しく・できることから」地域全体で児童が心豊かに育つ環境づくり

## 活動名

Smileねっと【兵庫県芦屋市】

## 関係する学校

精道小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	-	○

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校・家庭・地域が教育目標や課題を共有し、協働して活動に取り組んでいる。図書室の早朝開室や花の植え替えなど、図書・園芸・環境の3分野に重点を置いた活動を実施している。広報紙を学期に1回発行し、情報発信を行うとともに新たなボランティアの確保を図るほか、交流会を開催してボランティア間の連携を図っている。



広報紙(すまいるねっとつうしん)

## 特徴

- ★図書・園芸・環境の3分野に重点をおいた学校支援活動に加え、平成24年度からは異世代交流に重点をおいた放課後子ども教室の2本柱で活動を実施している。
- ★定期的な広報活動、「あしや学校支援ボランティアハンドブック」の作成を通して、学校・家庭・地域の共通認識と連携がさらに深まっている。
- ★学校・児童・ボランティアへのアンケート調査を行い、活動の内容や進め方について検証しながら活動を行っている。
- ★本活動から市内に、地域力を生かした学校支援ボランティアの輪が広がりつつある。



放課後子ども教室の様子



図書室の掲示物製作の様子



見守り情報交流会

### 図書

早朝開室  
書架整理  
図書室整備  
等

### 園芸

苗植え  
草抜き  
花壇の清掃  
等

### 環境

校内清掃  
運動会  
準備・片付け  
等

### 見守り

登下校の見守り  
情報交換会  
等

### 教育

学習支援  
生活支援  
等

### すまいるクラブ

(H24～)  
(放課後子ども教室)  
昔遊び  
体験学習  
出前講座等

## 事業を実施して

### 【成果】

学校側…保護者だけでなく地域の方にも学校に足を運んでいただくことにより、学校をより身近に感じてもらえ、さらに三者それぞれの意識向上・信頼関係の構築につながった。

家庭側…教職員と顔を合わせる機会が増えたことにより、信頼関係が構築され、子どもを安心して学校に通わせることが出来た。

地域側…Smileねっとが新しい意見交換の場となり、学校や保護者と一歩踏み込んだ関係を構築することが出来た。

### 【学校・地域住民の声】

学校…自分から挨拶をする子どもや感謝とともに動く教師が少しずつ増え、学校がオープンになり明るくなった。

地域…子ども達の成長が感じられること、子ども達の元気なあいさつが返ってくるのが何より嬉しい。



こんな活動です!!

# 子どもの笑顔あふれる学校づくりに地域力を活用しよう!!

## 活動名

御所市立御所小学校支援地域本部  
【奈良県御所市】

## 関係する学校

御所小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	127人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

おはなし会活動、下校時の見守り活動、図書室の環境整備などを展開している。おはなし会では、教室での定期的なものだけでなく、7月に戦争のおはなし会や、3月に6年生を送る会など、学校行事も企画。また、既存のおはなし会のメンバーだけでなく、保護者を対象にしたボランティア育成にも力を入れており、全クラスでの「朝読」を目指すという発展的なビジョンがある。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★従来のおはなし会メンバーだけでなく、保護者を対象にお話ボランティアを育成中。将来は全クラスでの「朝読」が目標。
- ★下校時の見守り活動も盛んで、元気よくあいさつができるようになってきた。
- ★ボランティアの方々による図書室の整備が進み、季節ごとのステキな飾り付けは児童にも大好評。

### <実践に当たっての工夫>

- ★保護者のお話ボランティアの練習は、週1回昼休みに行われている「紙芝居ワールド」。練習には紙芝居が良いらしく、自宅でも子ども相手に練習を重ねているとのこと。練習を通して親子の絆も深まる。
- ★見守り活動では、無理なく根気よく続けられるようにベンチなどを置き、児童が下校してくるまで腰を下ろして話ができるようにし、地域の交流の場となっている。



ろうそくに火を付けて始まるおはなし会。絵本や紙芝居、素話も集中して聞き入って..



「おかえりなさい」の声に「ただいま」「ありがとう」など、だんだん大きな声が出るように。



昼休みの20分間、2名1組のボランティアによる紙芝居。



「今月の飾りは何かな？」と楽しみに足は図書室へ。

## 事業を実施して

学校・地域連携事業を実施して4年目になる。当初は、ボランティアの方々との活動内容を全校児童が十分知ることがなかった。そこで、感謝の会をしたり、学校内で顔を合わせたときは挨拶をしようと呼びかけたりした。すると、親しく声をかける子どもが増えてきた。見守り隊の方々からは、「『おはよう、ただいま、ありがとう』と挨拶をしてくれるのでうれしいです。」との返事が返ってきた。また、おはなし会の方からは、「『おもしろかった。今度は何読んでくれるの。』など気軽に声をかけてくれます。」と聞かされた。このような子どもの姿が見られ、この事業の効果が表れてきていると確信をしている。これからも笑顔あふれる学校づくりにこの取組を続けていきたい。

こんな活動です!!

# 大和高田市土曜塾 —教育力・地域力向上— 絆の花を咲かせる源として!

## 活動名

大和高田市土曜塾【奈良県大和高田市】

## 関係する学校

(市内全域)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	○	—	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	—人	—人	—年度	—
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	30人	45日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	中央公民館、野外、さざんかホール		21年度	—
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	—人	—人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

土・日曜日における子どもの居場所づくりを目指し、学習支援、自然体験、伝統文化、地域の行事、ボランティア同士の交流などの活動を行っている。参加する子どもも市内全域に広がり、保護者同士の交流も生まれている。地元のお祭りにも参加し、積極的に地域の活性化に寄与している。

## 特徴

- ★校区を越えて子ども・親・地域の方々とかかわり、様々な価値観に触れ、子どもたちの学習に対する意欲が高まっている。
- ★野外活動での自然体験は、親子のコミュニケーションをより活発にし、子どもたちの体験活動の幅を広げた。
- ★祭りや餅つき等の行事を通じて、市民としての共通意識が高まり、達成感や協働の必要性を認識した。
- ★伝統文化に親しみ、小・中学生が主役になる場面を設定し、コミュニティ活性化の中心を担っている。

### 【学習支援】



漢字検定対策



いちご大福作り



陶芸教室



桜華殿前絵画教室

### 【自然に親しむ】



いちご狩り

### 【伝統文化に親しむ】



キッズ囲碁教室

### 【土曜塾行事に親しむ】



高田おかげ祭り



もちつき大会

## 事業を実施して

事業関係者からの感想(ボランティア)「自分の子育ての時は、多忙で多分子どもの気持ちなど考えている余裕などなかった。子育てが終わり、目の前の子どもたちに多くの可能性を見出し、もっと誉めていこうと思った。そして、逆に子どもたちから無限の創造力と可能性と元気をもらって帰ることができた。」(保護者)「常に楽しい企画、思い出に残る企画を立案していただきありがたい。大和高田市のいろいろな学校の子どもと触れ合うことができ、「また、土曜塾で会おうね!」と心待ちにしている。土曜塾での体験は素晴らしいもので、親子のコミュニケーションが活発になった。」(子どもたち)「家でできないことがたくさんできたよ。さつまいもや小芋掘り、いちご狩り等びっくりするほどたくさん取れたよ。小芋はお正月のお雑煮に入れたよ。スーパーで売っているものとは全然味が違いおいしかったよ。小学校ではできない体験が、たくさん体験できた。土曜塾は楽しいよ。」(担当者)「東日本大震災を機に【いざという時の絆づくり】に社会が注目している。社会の要請でもある絆は、やがて大和高田市の教育力・地域力となって結実するであろう。土曜塾のつながりをさらに広め、今後も実践を深めていきたい。」



こんな活動です!!

# あがらで育てよう こそがわっ子

※「あがら」とは和歌山県の「私たち」を表す方言です。

## 活動名

古座川町共育コミュニティ推進本部  
【和歌山県古座川町】

## 関係する学校

高池小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	50人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

- ◆見守りや地域の特性を生かした学習支援など、様々な活動を行っている。
- ◆小学校に隣接した公民館内に設けたコーディネータールームは、教員・地域住民が気軽に立ち寄る場としても機能している。
- ◆各学校の地域連携行事についてまとめた広報紙をコーディネーターが発行し、町内全戸に回覧している。

## 特徴

### ★生涯学習のまちづくり

古座川町生涯学習事業計画に「古座川町共育コミュニティ推進計画」を位置づけている。共育コミュニティの研修を町内の教職員の研修の場として平成20年度より毎年実施するなど、町ぐるみで取組を推進している。

### ★ふるさと学習

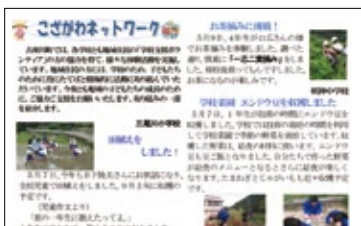
「まちの人、みな先生」をスローガンに、多くの地域の方が見守り活動や米づくり体験の支援などの学習支援活動に関わっている。こうした活動の成果として、高池小学校が和歌山県教育委員会が主催する「第2回ふるさとわかやま学習大賞」を受賞した。

### ★コーディネータールーム

公民館内に設置した「コーディネータールーム」には、地域の方々や教員が気軽に集い、情報共有の場となっている。交流の中で、地域ぐるみで教育や子どものことについて話し合う「共育ミニ集会」を最初に実施した明神小学校の取組を共有し、その後、町内全校で実施するなど、コーディネーターと地域連携担当教員が協力し合い、学校の取組を他校に知らせることで新たな取組につなげている。

### ★広報紙「こそがわネットワーク」

学校の活動や学校と地域との関わりについて紹介する「コーディネーター通信」を毎月発行し、町内全戸に回覧している。子育て支援センターの活動や防災活動、その他、地域の行事に関する記事も掲載するなど、内容は多岐にわたる。



「こそがわネットワーク」



「共育ミニ集会」



「餅つき大会」

## 事業を実施して

この事業を通じて、改めて、この地域が常に地元の子どもたちに関心を持ち、協力体制をとっていることを実感した。ゲストティーチャーは、学校へ入ると、最初は非常に緊張しているが、最後には先生や子どもたちとすっかり打ち解ける。また、月1回発行の「コーディネーター通信」は、子どもたちも含め多くの方が興味と関心を持って読んでくれている。このように、学校と地域全体がフラットな関係になり、多くの関わりの中で子どもが育つ環境が整えられてきていることを実感している。

古座川町は平成23年9月の台風12号で大きな被害を受けたが、学校の復旧に向け、地域の大きな支援を受けることができた。これまでの取組を通して、学校と地域のつながりが築かれていたからだと考える。

こんな活動です!!

# 一人一役、1000人の瞳で育む ～学校と地域の連携・融合～

## 活動名

会見小学校地域協働学校運営協議会  
【鳥取県南部町】

## 関係する学校

会見小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		-年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成18年4月1日	15人	198人	12学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校運営協議会の下に6つの部会が設けられ、協議会委員が得意分野を生かして各部の部長・副部長となって運営にあたっている。地域と学校とがめざす子ども像を共有して活動を進めており、充実した教育活動が展開され児童の学びが深まっている。子どもと関わることが地域の活性化にもつながっている。



GTA  
(3年 つるし柿作り)

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★学習支援部、共同制作部、GTA(祖父母と先生の会)など、全部で6つの活動部があり、多彩な活動を行っている。
- ★GTA(祖父母と先生の会)は、先人の知恵や熟練された技で本物の体験を支援している。
- ★そろばん・裁縫・ミシンの授業などでは「ちょこっとサポート隊」が活躍し、学習支援が充実している。



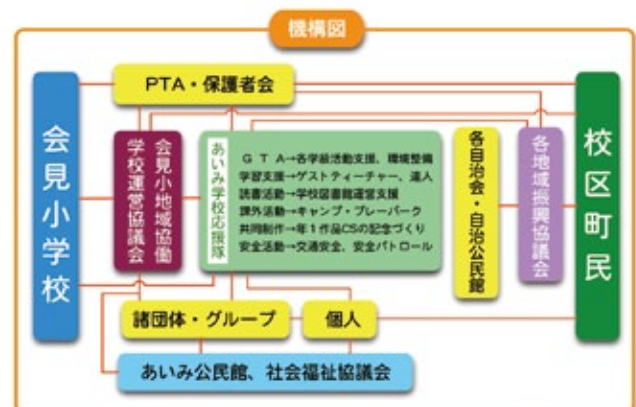
中学生リーダーの参加  
(夏休み 校庭キャンプ)

### <実践に当たっての工夫>

- ★全学年を対象とした年間の活動計画を作成し体験学習を実践している。23年度は延べ576人の協力があった。
- ★夏休みの校庭キャンプ等の体験活動に中学生リーダーの参加も始まり、小中連携を視野に入れた活動が広がりつつある。
- ★月に2回程度、校区全戸回覧の「コミュニティ・スクールだより」を発行し、活動の報告やボランティア募集を行っている。



ちょこっとサポート隊  
(5年 ミシン実習)



## 事業を実施して

地域住民が学校運営に参画することによって、学校の運営方針を理解していただき「めざす子ども像」についても共通理解し、地域に開かれ、地域とともに創る学校づくりを進めることができた。各活動部の取組も地域に周知され、学校に寄せる期待も大きい。児童は、地域の方(達人)のさまざまな支援により本物体験を重ね、豊かな学びを展開している。児童とかかわることを生きがいとしてくださる地域の方々も多く、地域の活性化にもつながっている。



こんな活動です!!

# 町民みんなで子どもたちを育てる学校支援活動 ～誰でも参加できる学校支援活動を推進～

## 活動名

伯耆町学校支援地域本部【鳥取県伯耆町】

## 関係する学校

(町内の全小・中学校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	—	○	—

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	8人	434人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	—人	—人	—日	—
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
—		—年度	—	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年4月1日	30人	355人	22学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域コーディネーターのほか、各学校に学校支援コーディネーターを配置し、校区を越えた組織的な支援を行っている。年度末には報告会を実施し、事業成果の発信に加えて、講演会やワークショップを企画、多くの地域住民の関心を得る工夫をしている。また、関係者へのアンケートにより成果と課題を確認し、次年度の活動に活かしている。



花の苗植え



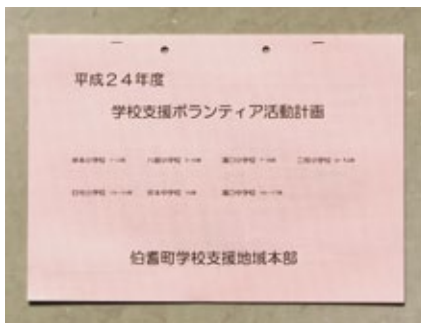
本の読み聞かせ

## 特徴

- ★月例のコーディネーター定例会を開催し、情報共有を図っている。
- ★教育効果を高めるため、各学校とも学校支援ボランティア活動年間計画を作成している。
- ★対象者別のアンケート調査を実施し、成果と課題を確認し、次年度の活動に活かしている。
- ★年度末に教員、コーディネーター、ボランティア等が一同に会し、活動成果報告会を開催し、1年間を振り返っている。

### <実践に当たっての工夫>

- ★だれでも参加できるハードルの低い学校支援活動を推進している。
- ★各学校に学校支援担当の教員を置き、学校支援コーディネーターと連絡を取り合っている。
- ★各学校にボランティアルームを設け、学校支援コーディネーターの執務、ボランティアとの事前打ち合わせ、反省会等に活用している。
- ★広く町民の方に関心を持ってもらうため、毎月町報に活動の様子を掲載している。
- ★活動を通して学校支援ボランティアにも新しい出会い、学びや発見があり、その楽しさを友人、知人に伝えることにより、参加者が増えて来ている。



学校支援ボランティア活動計画



学校支援活動成果報告・交流会

## 事業を実施して

地域の大人が学校の教育活動に関わることで、多種多様な体験活動の提供、コミュニケーション能力の向上に資し、児童生徒の学習意欲が高まった。また、学校支援ボランティアにとっても新しい出会い、学びや発見があり、学校に対する理解度が高まり、地域全体で子どもを育てていこうという気持ちが醸成できた。

こんな活動です!!

# 地域で育む子どもの笑顔 『キラリ多伎っ子』の取組

## 活動名

多伎地域学校運営ブロック協議会  
【島根県出雲市】

## 関係する学校

多伎中学校、岐久小学校、田儀小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	159人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	16人	36日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
小学校、コミュニティセンター、体育館		19年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成18年12月26日	31人	277人	17学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

多伎地域全体として、多伎地域学校運営ブロック協議会を組織している。6時30分までに起床する「630運動」や「ノーテレビ」など月初めの1週間を「多伎っ子ウィーク」として、子どもたちの生活習慣向上をめざし地域をあげて取り組んでいる。

また、人材バンクに登録された多くのボランティアが学習支援や環境整備などに積極的にに関わり、小・中学生には、地域行事や海岸清掃など活動の場を提供している。



あいさつ運動



生活習慣向上の取組

## 特徴

多伎地域学校運営ブロック協議会には、「ボランティア支援部」「防犯・安全支援部」「生活習慣向上支援部」の3部会があり、ブロック協議会理事全員がいずれかの部会に所属し、地域にあるNPO法人やボランティア団体など、様々な団体や諸機関との連携を図りながら協議会の運営にあたっている。また、中学校区に1名地域コーディネーターを配置し、3校と学校支援ボランティアとの連絡調整を行っている。

「ボランティア支援部」では、「地域人材バンク」のリストを作成し、これを活用した学校支援ボランティアの調整を行っている。「防犯・安全支援部」では、たき安全見守り会、多伎地区青パト隊の皆様と協力いただき、登下校時の見守り、防犯パトロール、防犯教室への参加等に加え、各小学校で「防犯安全マップ」を作成、町内各集会所等に掲示し啓発活動を行っている。「生活習慣向上支援部」では、毎月1日を「あいさつ運動の日」とし、各校園周辺にて「あいさつ運動」を行っている。また、0歳～15歳の子どもの望ましい生活習慣の定着や家庭の教育力向上を図るための指針である「キラリ子育てプログラム」の取組内容について、重点項目を町内防災無線によって周知する等、子どもたちの望ましい生活習慣定着に向けて取り組んでいる。

中学校文化祭体験活動の講座、小学校の総合的な学習の時間等に理事が講師として参加し、多伎町の特産品である「いちじく」や遺構「宮本遺跡」、「カジカガエル(環境調査)」などを生かした学習を行い、学校支援ボランティアを積極的に行っている。



環境調査



文化祭 体験活動指導



昔遊びの会(学習支援)



防犯教室への協力

## 事業を実施して

学校支援では、地域ボランティアの方から、「今年も子どもたちに会えるのを楽しみにしていた。ボランティアに生きがいを感じるとともに、子どもたちの笑顔が大変元気づけられている。今後も活動を続けていきたい。」という言葉をいただき、学校支援の重要性を再認識した。今後も、地域・学校・家庭の三者協働により子どもたちが健やかに成長できるように学校支援や環境整備を継続していきたい。



こんな活動です!!

# 地域が一体となった “心に花が咲く”学校支援活動

## 活動名

仁摩学校支援地域本部【島根県大田市】

## 関係する学校

仁摩中学校区

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	411人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	25人	4日	あり
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	調理室、集会室		23年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成20年度に活動を開始し、現在5年目の取組である。

活動の充実を図るため、地域の幅広い関係者が参画した地域教育協議会を開催したり、事務局も定期的に行ったりしている。また、研修会を実施することで、地域住民の意識を高めている。

毎年延べ数1,000人規模でボランティアが増え、平成23年度には全地域住民とほぼ同数のボランティアの参加があった。

平成24年度からは、コーディネーターを2人体制に強化し、学校からの要望にできるだけ応えていけるよう、地域の協力体制づくりを進めている。

### 【仁摩地域教育協議会委員】

- 仁摩小学校PTA会長
- 仁摩中学校PTA会長
- 学校支援ボランティア代表2名
- 連合自治会長4名
- まちづくりセンター長4名
- 仁摩小学校 校長、教頭
- 仁摩中学校 校長、教頭
- 専任コーディネーター 2名
- 仁摩公民館 館長、主事

## 特徴

### 【学校支援活動】

○学校支援活動を「学習支援」「活動支援」「環境美化」「安心安全」「行事支援」「その他の支援」の6つに区分し、各種団体と連携しながら、地域一帯となった支援活動の充実を図っている。

○「学習支援活動」については、家庭科の調理実習やミシン実習支援、生活科の栽培学習や校外学習支援など、どの学年においても支援活動を実施している。

○「環境整備活動」は、老人会を中心に定期的に行われているが、消防団や地域の業者を巻き込んだ大がかりな除草活動、樹木の伐採活動も行われており、校舎内外の環境美化活動が非常に充実している。

○「安心安全活動」は、「街角見守り隊」「青パト見守り隊」など役割を設け、毎日の見守り活動を地域一帯となって行っている。年2回見守り強化月間を設定し、中学生部活動の下校の見守りにも力を注いでいる。

### 【地域教育協議会】

○仁摩地域教育協議会は委員20名で構成され、地域本部である公民館が年3回協議会を開催し、事業計画づくり、経過報告、今後の取組についての協議等を行っている。また、学校支援活動の充実に向け、研修会や事務局会を開催している。

### 【活動報告リーフレット】

○活動報告リーフレット「みんなの手で」を、学校支援協力者の増加をねらいとして毎年度末に発行し、学校支援協力者の増加をねらいとして仁摩町全戸に配布している。



学校図書館整備の様子



見守り隊との交流の様子



家庭科支援の様子



環境美化活動の様子



活動報告リーフレット「みんなの手で」

## 事業を実施して

- ・専任コーディネーターの活躍により、学校支援にかかわるボランティアの数が延べ数で4,000人を超え、仁摩町全人口とほぼ同じ数となった。地域が一体となって学校や地域の子どもにかかわるという意識が地域全体に広がっている。
- ・地域のみなさんが学校支援にかかわることが多くなるにつれて、PTAによる学校への協力が増えてきた。
- ・学校評議員会の場でも「学校支援活動により、子どもたちの学習に対する意欲が高まり、学習効果が上がってきている。また、地域での安全度も高まっており、とても良い取組である」との意見をいただくなど、効果が広がりつつある。

こんな活動です!!

# 学校と地域ががっちりスクラム!!

## 活動名

津山市立東小学校学校支援活動  
【岡山県津山市】

## 関係する学校

東小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	69人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

教職員・ボランティア双方に対する研修を実施するとともに、コーディネーターと学校の連絡会を定期的に開催している。また、関係者へのアンケートを実施し、結果を運営に反映させるなど、信頼関係の構築とスムーズな運営にもつながっている。

さらに、学校の要望を明確にする「ボランティア依頼用紙」や活動を評価しより改善を行う「記録カード」を作成しており、県内への普及にも努めている。



学習支援活動の様子



ボランティアの情報交換会

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

#### ●幅広く充実した活動

教科における学習支援の他、朝の読み聞かせ、昼休みの遊び相手、校内美化、学校行事における支援など、年間253事業! 幅広い学校支援活動ができています。

### <実践に当たっての工夫>

#### ●地域連携担当教員との連携

H24年度から校務分掌に位置付けられた地域連携担当を事務職員がしている。担当は学校の窓口となり、校内のニーズの把握やボランティア便りの発行、活動依頼やふりかえりのためのカード作成など積極的な取組をしている。また、地域コーディネーターと定期的に連絡会を開催し、活動の調整とともにボランティアの活用や地域連携を進める方法について協議している。

#### ●研修の充実

教職員に対しては地域連携やコーディネーターの役割等の研修を、またボランティアに対しては子どもとの関わり方などの研修や交流会を実施して、相互理解や資質向上、情報共有に努めている。

#### ●アンケートの実施

保護者やボランティアを対象にアンケートを行い、集計結果や意見・要望等を事業運営に反映している。

### <その他の特徴>

#### ●交流会等の実施

ボランティアと全校児童が一堂に会しての顔合わせ会や、ボランティア同士の情報交換会を実施している。FACE TO FACEの関係を大切にして、取組を通して地域の交流が深まるようにしている。

#### ●県下のモデルに

ボランティア依頼用紙、ボランティアふりかえりカードなど、各種用紙を整え効率的な運営をしている。また、学校と連携を図り、ボランティアが活動の見通しを立てやすくするために年間計画表を作成している。これらの取組は研修会やリーフレットで紹介され、県下のモデルとなっている。

## 事業を実施して

### 実施による効果

- ・ボランティア同士の間関係が良好になり、地域コミュニティの構築につながっている。
- ・ボランティアの力が活かされ学習の充実が図られるとともに、分かる授業、楽しい授業の積み重ねが子どもとボランティアの信頼関係につながっている。

### 学校の声

- ・全体指導と個別指導を同時に行うことができ、教育活動が充実しています。
- ・細やかなアドバイスを子どもにしてくださいるので、活動がスムーズに行えました。

### 地域の声

- ・かわいらしい子どもたちに元気もらっています。
- ・「またいっしょにやろうね」と声をかけてくれるのがうれしいです。



こんな活動です!!

# あるがままの姿で!子ども同士の豊かな関わり合いの中で成長を!

## 活動名

わくわく温羅クラブ昭和【岡山県総社市】

## 関係する学校

昭和小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	25人	279日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	プラザ内居室、プラザ周辺			

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

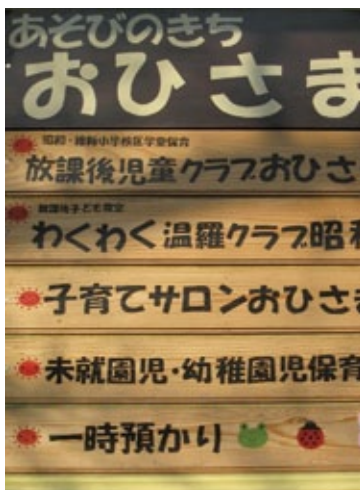
放課後児童クラブと同一施設で実施されており、スタッフが月1回合同で活動企画を立てるなど、連携した取組を実施している。

夏季休業中には中学生のボランティア参加もあるほか、受験期には中学生の勉強会を開催するなど、中学生の居場所ともなっている。

また、教室で取り組んでいる活動を地域の行事で披露するなど、積極的に交流している。

## 特徴

- ★教室卒業の中学生がサブリーダーとしてボランティア参加している。
- ★児童クラブと同一施設で運営。合同での活動を多く企画するなど、しっかり連携をしている。
- ★活動プログラムの充実を図るため、地域の物的資源、人的資源を効果的に活用している。
- ★教室で学んだ歌や踊りを地域の行事で披露!地域の方々からも喜ばれている。



こどもと家族の交流基地として



宿題タイム!九九暗記



みんなで落花生の皮剥き



おやつタイムはみんなで仲良く



地域での行事に向けてのダンスの練習

## 事業を実施して

子どもたちは、「わくわく温羅クラブ昭和」での様々な生活場面を通して、あるがままの自分を出しながら生活することで、お互いの存在を深く理解するようになった。個々の友だちの特性をしっかりと受け入れられた子どもたちは、学校生活においても好影響をもたらしている。また、保護者同士のつながりづくりにも貢献することができている。

こんな活動です!!

# 特色ある多様な活動と安全・安心な子どもの居場所づくり

## 活動名

わくわくスクール東野教室  
【広島県大崎上島町】

## 関係する学校

大崎上島町立東野小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	25人	280日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	ランチルーム		19年度	なし
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

わくわくスクール東野教室は、子どもの安全・安心な活動拠点を提供することなどを目的に開催している。長期休業中を含めて年間280日開催し、登録児童の参加率も高い。

安全管理員と保護者との連携を取りやすくするため、メールを活用するなどの工夫をしている。

また、大学生ボランティアの参加、企業の協力を得た工場見学など、特色ある多様な活動を展開している。更には、広報紙を毎月発行し、保護者への情報発信も定期的に行っている。

## 特徴

### ○町民ボランティアや大学生ボランティアによる特別教室の実施

土曜日及び長期休業中に特別教室を実施している。内容は、町民ボランティアの方々の指導による茶道、三味線などの伝統・文化に触れる活動や、大学生ボランティアによるヒップホップダンス、工作教室など、特色ある活動を実施している。

### ○子どもの安全・安心のための工夫

事故時の対応及び特別教室の開催の連絡に、携帯電話の電子メールを活用し、安全管理員と保護者の連携を図っている。

### ○企業見学の実施

企業(缶詰工場、飲料関連の工場等)への見学を実施し、様々な商品を創り出す過程を通して、物を大切に作る気持ちや勤労の尊さなどを学べる場を設けている。

### ○活動場所の工夫

学校のランチルームをパーテーションで区切り、限られた空間の中で、机の配置や遊び場の確保をするなど、活動場所の工夫を行っている。

### ○わくわくスクール通信の発行

保護者に教室の様子等を知らせる通信を毎月発行し、保護者の信頼を得ながら、安心・安全な教室運営を行っている。



茶道教室の様子



企業見学の様子



三味線教室の様子

## 事業を実施して

○子どもたちは、特別教室、企業見学などの幅広い活動を通して、日本の伝統・文化に触れる機会を得たり、勤労の尊さを学ぶことができた。

○特別教室における地域の方による茶道や三味線などの指導は、地域の方の自らの学習成果を生かす場となった。

○毎月発行する通信や日常的な保護者との連携により、保護者からの信頼も寄せられ、安全・安心な教室運営ができています。



こんな活動です!!

# 地域コーディネーターのチームワークによる学校支援!!

## 活動名

府中町学校支援地域本部【広島県府中町】

## 関係する学校

府中町立府中小学校、府中南小学校、府中央小学校、府中東小学校、府中北小学校、府中中学校、府中緑ヶ丘中学校

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	8人	456人	20年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

府中町学校支援地域本部は、学校と地域を結びつける活動を通して、町全体を明るく、元気にすることを目的に、全町あげて学校を支援する活動を行っている。

活動開始から5年目を迎え、地域ボランティアや各種団体と協働して活動する仕組みが整っており、町内全ての学校に共通の支援活動が行われるなど、取組の充実が図られている。

また、平成24年度からは、月1回の地域コーディネーター研修会が実施されている。

## 特徴

### ○全町あげての学校支援活動

8人の地域コーディネーターが、町内にある5小学校2中学校に関わり、全町をあげて学校を支援する活動を行っている。

### ○地域コーディネーター研修会(月1回)の実施

月1回の地域コーディネーター研修会において、各学校からの要望等をコーディネーター全員で共有し、地域ボランティアや各種団体とのマッチングを行っている。

### ○地域への情報発信

月刊情報誌「あっぱっぷ」の発行(平成21年度から23年度)を通して、学校・家庭・地域をつなぐ取組を行った。現在は、専用ホームページによる情報発信の準備を進めている。

### ○各学校共通の4つの支援

町内5小学校2中学校に対する共通の支援として、次のような4つの活動を行っている。

#### 【ゲストティーチャー型】

<内容>児童生徒の学習活動を直接指導

<活動>英会話、楽器演奏、部活動指導など

#### 【学習アシスタント型】

<内容>教員の学習指導を側面から援助

<活動>ミシン指導、校外学習時の引率補助など

#### 【施設メンテナー型】

<内容>施設設備のメンテナンス

<活動>植木の剪定、校舎等の補修など

#### 【環境サポーター型】

<内容>誰もが参加できる環境整備

<活動>草取り、校舎清掃など



月刊情報誌「あっぱっぷ」



府中町学校支援地域本部事業の概要図



【環境サポーター型の支援】  
「森の美術館」づくりの様子



【ゲストティーチャー型の支援】  
町花「椿」を育てる交流活動の様子

児童の作品を展示するための場所として、小学校の余裕教室を「森の美術館」として模様替える取組や、中学校の総合的な学習の時間に、生徒と地域の方が一緒に町花「椿」を苗木から育て、校内に「椿ロード」をつくる交流活動を行っている。

## 事業を実施して

- 学校の様々な活動を地域ボランティアが支援することで、教育活動の充実と共に教員が児童生徒と向き合う時間の確保ができた。
- 児童生徒が、地域の大人とふれあう機会や、多様な体験をする機会を充実させたことで、児童生徒の生きる力の育成につながった。
- 学校支援活動は、部活動指導、ミシン指導、植木の剪定など、地域の方の学習成果を活用する場となった。
- 学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで児童生徒を育てる環境が整備されたことで地域の絆を強めることができた。

こんな活動です!!

# 学校や地域、各種団体との連携を密にした放課後子ども教室の運営

## 活動名

戸河内小学校放課後子ども教室  
【広島県安芸太田町】

## 関係する学校

安芸太田町立戸河内小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	一年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	22人	290日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
教材室等		19年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

戸河内小学校放課後子ども教室は、子どもの安全・安心な放課後の活動拠点づくりを目的に開催している。

長期休業中を含めて、年間290日開催しており、町内の団体と連携し、学習指導や体験活動など、地域に密着した幅広い活動を行っている。

月1回の運営会議には、必要に応じて学校長等を交えた情報交換を行うなど、学校との連携も密にしている。

また、町の外国語助手による「英会話教室」など、学習活動の充実にも取り組んでいる。

## 特徴

### ○学校との連携を密にした運営会議(月1回)の実施

コーディネーター、学習アドバイザー、安全管理委員及び町教育委員会事務局と運営会議を月1回開催し、翌月の行事や課題等について協議を行っている。

また、必要に応じて学校長、教頭を交えた情報交換を行い、学校との連携を密にした教室運営を行っている。

### ○学習活動の充実

学校の宿題や予習・復習など、自主学習の援助を行うとともに、町の外国語助手による英会話教室や図書館司書による読み聞かせ、町内の放課後子ども教室と共同開催した夏休み子ども工作教室など、学習活動の充実を図っている。

### ○交流活動の充実

町内の女性連合会、シニアクラブ連合会等の団体と連携し、グラウンド・ゴルフや昔遊び、押し花アートなど、地域に密着した幅広い活動を行っている。また、町内の他の放課後子ども教室との交流や放課後児童クラブの行事に参加するなど、子どもたち同士の交流活動の充実を図っている。

### ○ボランティア活動の取組

青少年育成安芸太田町民会議主催による行事に参加し、町内の自然、文化、歴史について学びながら、空き缶拾いのボランティア活動を行っている。



外国語助手による英会話教室の様子



ボランティア活動の様子



地域との交流活動の様子

## 事業を実施して

- 子どもたちは、交流活動やボランティア活動を通して、学校では得られない新しい発見や体験ができた。
- 教室の指導者が、町内の他の放課後子ども教室や放課後児童クラブの指導者との情報交換を行うことで、活動の幅を広げたり、教室運営の工夫をしたりすることができた。
- 地域の方々の協力による交流活動を実施することで、地域の方が子どもたちと顔見知りとなり、防犯対策につながった。
- 地域に密着した活動により、子どもの安全・安心な居場所づくりの体制が確立し、保護者から高い評価を得ることができた。



こんな活動です!!

# みんなの手で輝く学校づくり ～地域みなさんとともに～

## 活動名

大殿地域学校支援本部【山口県山口市】

## 関係する学校

大殿中学校、大殿小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	○	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	323人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	-		-年度	-
大殿中学校	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成24年4月1日	9人	274人	10学級
大殿小学校	平成23年4月1日	11人	586人	22学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成20年度から大殿小学校が取り組んできた学校支援地域本部事業を礎として、学校教育活動を全面的にバックアップする体制を整えている。

登録ボランティア数は300人を超え、年間200回近くの活動において、ほぼ全てのボランティアが何らかの活動に参加できる配慮がなされている。

県教委の推進する「地域協育ネット」の考え方をふまえて、支援対象を大殿中学校にも広げ、地域全体で子どもを育てる活動へと広がりを見せている。



大人人形づくり



中学生職場体験

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

大殿小学校では、大内文化の歴史と伝統にあふれる地域性を生かし、社会科での歴史探訪、音楽科での「山口祇園囃子」指導、総合的な学習での「大内人形づくり」等の教育支援活動を展開している。

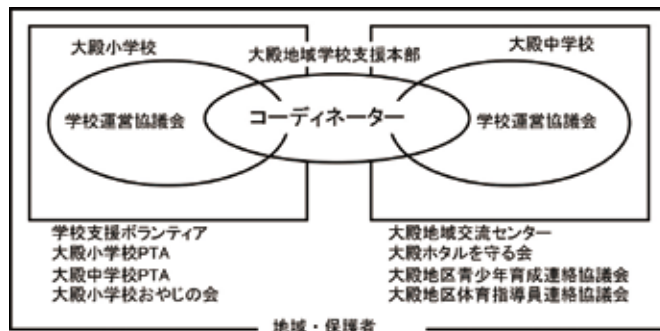
平成23年度からは、中学校区全域で児童生徒を育てる組織の構築のために、大殿中学校へも支援活動を拡大し、ボランティアの共有化や小学校での職場見学・地域探検と中学校での職場体験の継続的な実施等の工夫を図っている。

### <実践にあたっての工夫>

教職員との意思の疎通をしっかりと図るために、コーディネーターの座席は大殿小学校職員室内に配置している。地域からのボランティアが来校する際には、名札づくり、出迎え、教室までの送迎、終了後の見送りまでをコーディネーターが行い、担当が授業に集中できるように配慮されており、学校側で大変喜ばれている。コーディネーターは、小、中両校の学校運営協議会委員となっており、小中連携の取組が充実するよう、両校の情報交換を密に行っている。広報誌「みんなの手で」を発行したり、支援活動の様子をその都度、校内に掲示したりすることで、支援の充実を図るとともに、地域住民の生きがいにつながる工夫を行っている。

### <その他の特徴>

26年前から地域に生息する天然記念物であるゲンジボタルの保存活動を行っている。大殿小学校全校児童によるカワナ採りや「ホタル鑑賞の夕べ」での作品展示、生態についての学習、ホタルの放流などの活動は、「大殿ホタルを守る会」やボランティアの方々を支えられながら継続実施され、地域を愛する心の醸成が図られている。



## 事業を実施して

継続的な取組により、学校が目指す教育と地域の求める教育の姿が次第に近づいてきたように感じている。また、学校の展開するそれぞれの教育活動に対する地域からの支援が充実してきており、ボランティアが新たなボランティアを生む等、地域内での自主的な活動の広がりも出てきた。以前は、ボランティアの皆さんから児童生徒とともに過ごした喜びの声を多く聞いていたが、最近では、参加した喜びはもとより、学校のために役に立ったことに対する喜びの声を多く耳にするようになった。こうしたボランティアの皆さんの声が地域に広がりつつあることは、地域の教育力の向上につながるものと考えている。

こんな活動です!!

# 地域力が生きるコミュニティ・スクール ～地域コミュニティの広がりと深まりをめざして～

## 活動名

あさなえネット【山口県光市】

## 関係する学校

浅江中学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
-	-	○	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成23年4月1日	11人	331人	13学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

「あさなえネット」とは、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)を中心に広がっている、学校・家庭・地域の「つながり」のことである。

学校運営協議会の下には、地域住民と教職員、保護者代表の委員で構成する企画推進委員会が設置されており、当事者意識をもって3つの部会(学力向上、心の教育、体力づくり)でプロジェクトを企画・検討している。各プロジェクトは、学校運営協議会に提案され、承認を得たものが実際の活動となっている。

地域住民の活躍の場や、得意分野を地域の子どもたちに還元する機会を多く設けており、「地域の人が学校に頻繁に来たくなる意図的な場づくり」、「子どもたちのために地域と教員がつながる開かれた学校づくり」を進めている。

※平成24年度活動内容

### (1)学力向上プラン

- ①サンド・アートin 光
- ②あさなえ学習会(年3回)
- ③響け!歌声
- ④カレンダーづくり

### (2)心の教育プラン

- ①潮音寺山まつり支援
- ②敬老のつどい
- ③迎春準備
- ④心を磨くトイレの清掃活動
- ⑤虹ヶ浜松林の清掃活動

### (3)体力づくりプラン

- ①早朝元気クラブ
- ②ふれあい元気マラソン
- ③小学生の部活動見学
- ④あさなえヘルシープラン
- ⑤生活習慣改善プラン

## 特徴

★公民館を母体とする浅江地区コミュニティ協議会が全面的にバックアップしている。その中でも、地域のおやじの会である「浅江やろう会」が実働の中心となって活動している。

★学校を支援することだけが目的ではなく、地域力の醸成や住民自身のやりがいを感じる場となっており、地域と学校との間に損得感情がなく「Win-Win」(双方にメリット)の関係が成立している。

★コミュニティ・スクールとして、文部科学省から2年間の指定、その後、市の指定校として2年目を迎えている。その間、「光市教育開発研究所」(光市の教育力向上に向けた自主研修組織)において、様々な立場からの意見や指摘をいただきながら、コミュニティ・スクールの推進をしている。

★全教職員が3つの校内プロジェクト部会に関わっているため、校務分掌とあさなえネットがリンクしている。

★小中連携を柱とし、子どもたちの9年間の育ちや学びを地域全体で支援していく体制づくりを進めている。



全国中学校駅伝大会



敬老のつどい(竹細工)



あいさつ運動



あさなえ学習会

## 事業を実施して

「自由に意見が言える」ボトムアップ的な組織体制の中で、皆が夢や希望を語りながら活動しているので、「やらされ感」がなく、満足度の高い継続的取組となっている。学校行事と地域行事の整合性も図られ、生徒が地域行事に参加する教育的価値も高まっている。地域住民、保護者、生徒、教職員と一緒に活動することで「つながり」が深まり、お互いの顔と名前を知ることによって安心感や信頼感が構築されていく。また生徒にとっても、活動の場が広がることで評価される場が増え、自己肯定感とさらなる活動への意欲が高まっている。



こんな活動です!!

# 地域で子どもを育てるネットワークの構築が地域づくりにもつながる!

## 活動名

福川地区放課後子ども教室  
【山口県周南市】

## 関係する学校

福川小学校、福川南小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	○	○	—

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数		ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	—人		—人	—年度	—
子ども放課後教室	福川小学校、福川南小学校	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		1人	42人	146日	あり
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	空き教室、校庭、体育館			21年度	あり
福川会館、シニア交流会館	福川会館、シニア交流会館	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		1人	29人	67日	あり
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携
	交流室、野外			20年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	
福川小学校	平成24年4月1日	13人	245人	13学級	
福川南小学校	平成24年4月1日	14人	287人	12学級	

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コーディネーターが中心となり、地域住民、民生委員・児童委員、老人クラブ、PTA、婦人会等の参画を得て、平日は各小学校ごと、土曜日は2小学校区合同で、年間延べ200を超える教室を開催している。

平日の教室においては、空き教室や体育館、校庭を活用して、昔遊び、文化、伝統芸能に関するもの、子どもたちの決めるオリジナルメニューなど、多様な分野の活動を展開している。土曜日の教室は、物づくり教室(第2土曜)、自然体験教室(第3土曜)、囲碁教室(第2、4土曜)の3つのプログラムで活動している。

[物づくり教室]手づくりの面白さを伝えるとともに、道具の正しい使い方、危険予知に関する知識を身につけさせる。

[囲碁教室]ルールや技術を身につけることで、伝統文化に触れる機会をつくる。

[自然体験教室]自然と触れ合う楽しさを体験させ、遊びを作る楽しさとともに環境問題にも目を向けさせる。



校長先生と一緒にカレーを食べたよ

## 特徴

★校内に子ども教室指導者用の控室を設け、教職員との連携を図りながら、学校の授業の外部講師として協力するほか、環境整備にも力を入れるなど、子ども教室の取組が学校支援活動へも波及している。

★指導者に対する安全研修会を開催し、事故の未然防止に努めるほか、年に2回の交流会で指導者間の連携を強めている。

★保護者への説明会を毎年実施し、指導方針や、欠席連絡等の事務的なことについて周知を図り、理解を求めている。

★異学年の縦割りグループを作り、低学年には高学年の言うことを聞くように、高学年には低学年の面倒をみるように指導することで、子どもたちの中でリーダーを育成することを心がけている。

★民生委員・児童委員、老人クラブ、見守り隊、婦人会等、たくさんの地域住民の参画を得ることで、「地域で子どもを育てる」ネットワークが広がり、県教委が推進する幼児期から15歳までの子どもの育ちを地域で見守る「地域協育ネット」の土台になりつつある。



学校の授業で昔遊びを教える



安全研修では真剣そのもの



保護者説明会の様子



交流会で子どもの様子を語り合う

## 事業を実施して

- ・子どもと接することで若返った。これからも続けたい。(安全管理員)
- ・今の6年生なら、どこに出しても恥ずかしくない。(実行委員会代表)
- ・教室を卒業して中学生になっても、地域であいさつしてくれる。(コーディネーター)
- ・2年生の時から6年生の時までお世話になった。宿題も昔の遊びも教えてもらって本当によかった。(保護者)
- ・地域の方に叱ってもらったり、褒めてもらったり。学校や家庭ではできないこと。(学校長)

こんな活動です!!

# ～地域に広げる子育ての輪～ 撫養クラブ子ども教室

## 活動名

撫養クラブ子ども教室【徳島県鳴門市】

## 関係する学校

撫養小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	34人	136日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
図書室、体育館、家庭科室、会議室、斎田公民館		17年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

○撫養クラブのスタート!

平成17年度に放課後子ども教室の前身である地域子ども教室をPTAで立ち上げ、平成19年度には、地域子ども教室の土台を元に放課後子ども教室を4月当初より実施し、平成24年度で6年目を迎えている。

○クラブの運営体制!

教室運営委員会・コーディネーターを中心に、PTAOBや退職教員、地元の大学生など多くのボランティアが参画し、子どもたちの興味や、時には意見を取り入れた様々な学習や体験活動を行っている。

○クラブの活動内容!

スポーツ、国語・算数、英語の学習、おやつ作り教室や工作教室などの体験教室、また、親子参加型の奉仕作業や美化運動。季節行事として夏祭り・クリスマス会や、地域のお祭りの御輿かつぎなど地域の伝統行事に参加している。



お父さんと一緒に御輿かつぎ

## 特徴

○**撫養クラブの毎月の活動メニューはこうして決まる!**

★コーディネーターが中心となり、月末に小学校と翌月のスケジュールについて綿密に協議し、学習アドバイザーとの連絡調整を行う。

★学習アドバイザーは各方面の専門性の高い指導者に依頼し、特にスポーツ活動は多岐にわたっており、バレー、バスケット、カーディオキック、カンフー、器械体操、卓球やリズム体操を実施している。

○**撫養クラブの家庭・地域との連携!**

★保護者全員が一年を通して、いずれかの行事にボランティアとして参加する。

★地元機関である県観光協会の協力依頼を受け、韓国の100人近くの小学生と撫養クラブとの交流会を行った。交流会では、日本の夏祭りを地元の商工会や老人会の協力で再現し、夜店体験や阿波踊りを踊った。また日韓の子どもたちが日本語や韓国語で「世界に一つだけの花」を一緒に歌い、貴重な思い出となった。

★地元大学生とのクリスマス会は子どもたちも楽しみにしているが、大学生も毎年趣向を凝らした行事を企画し、練習を重ね、相互の成長の場になっている。

★地元の秋祭りにおいて御輿を担ぐなど、地域の伝統行事に参加するとともに、高齢者施設を訪問し、地域の人たちや高齢者の人たちと積極的にふれあい、このふれあいは子どもたちと地域の方々の相互の好感感を育んでいる。

○**撫養クラブに子どもたちがやってくる理由!**

★学習アドバイザーや安全管理員がかける何げない温かい言葉ややりとり、スキンシップも子どもたちがクラブに足を向ける理由の一つである。



大学生とのふれあいが楽しいクリスマス会



一番人気のおやつ作り教室

## 事業を実施して

○子ども教室の活動やPTA活動を前向きに取り組んでいると、地域の宝である子どもたちを豊かな成長へと導くことができるとともに、子どもを核にしたネットワークがどんどん広がっていく。また、指導者や協力している親の姿を見ている子どもたちが、このような活動を次世代へ受け継いで行ってくれるように思う。

○まだまだ新しいスタッフの参加が少ないことや継続への不安はあるが、子ども教室を通して地域の一員として多くの絆を大切にしながら子どもたちの未来に続く道作りに協力できるようにしていきたい。



こんな活動です!!

# 地域をあげて、「見守ろう」「育てよう」！ 子どもは地域の宝！

## 活動名

新町小学校放課後子ども教室  
【徳島県徳島市】

## 関係する学校

新町小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	20人	94日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	空き教室、校庭		19年度	なし
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

●西富田公民館、新町公民館の両公民館長をはじめ、両公民館が関わる様々な団体(社会福祉協議会、婦人会、老人会、民生児童委員会、体育協会・防犯協会など)のメンバーやPTAを中心に多くの地域住民が関わり、学習アドバイザーを中心に、科学的要素を取り入れた創意工夫ある活動やスポーツ活動を行っている。

### ●活動時間

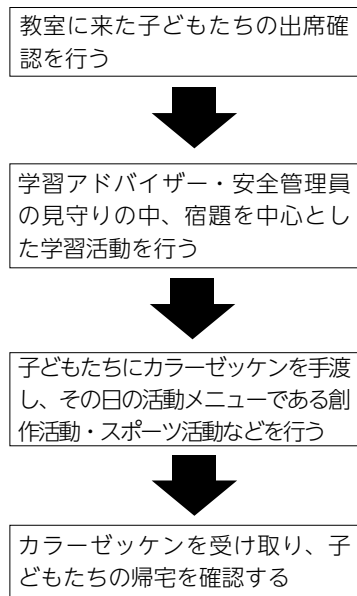
毎週 月・水・金曜日

午後2時30分から午後4時30分まで

### ●参加対象者

新町小学校に在籍する1年生から6年生

### ●教室の一日の流れ



## 特徴

### <活動ポイント>

- 地域の各種団体を中心に多くの住民が一丸となり、地域住民の知識や経験等によって得た成果を子どもたちの活動に活かしている。
- 地域と学校の連携のもと、災害対策や緊急時の協力体制を構築している。
- 地域住民と子どもたちが集い、つながりを深め、ともに笑顔が絶えない交流の場となっている。
- バルーンアートやスライム作り等、実験的な要素を踏まえた活動を実施し、子どもたちは楽しみながら、科学的な考え方を身に付けている。

### <学習アドバイザー・安全管理員の充実>

子どもたちの安全確保と活動サポートの為、現在68名の学習アドバイザー・安全管理員が登録されている。地域の関係団体16団体による当番制となっており、その時々々の活動内容に応じて、それぞれの得意分野でご協力いただいている。

### <実施に当たっての工夫>

運動場での活動の安全確保のため、子どもたちはカラーゼッケンを着用している。

### <特徴的な活動内容>

- 日本の伝統的な遊び  
(将棋・コマ・ゴム鉄砲・紙飛行機・紙芝居等)
- 科学の心を育てる遊び  
(浮沈子、クルクルサークル、バルーンアート、スライム作り等)
- 小物作り(手作り人形等)
- 夢をあたえる遊び  
(お化けごっこ、ジャンボしゃぼん玉等)



ジャンボしゃぼん玉



スライム作り



浮沈子(ふちんし)

## 事業を実施して

地域の関係団体(16団体)が一体となり、地域の方々が童心に返りながら、得意な活動を楽しく指導し、子どもたちの喜んで取り組む姿に喜び、子どもたちが教室に来たい!と思えることや、もっと楽しんでもらえることを日々考えている。

◆子どもたちからの感想:「いろいろなことが体験できて楽しい。」

◆地域の方々からの感想:「子ども支援の役割を担っているが、私たちこそ子どもから生きる喜びを与えてもらっている。」などの、非常に好意的な感想が寄せられている。

こんな活動です!!

# 地域の人々が学校のおじいちゃん・おばあちゃんとして児童と学校を支援する活動

## 活動名

児童を守ろう会【徳島県藍住町】

## 関係する学校

藍住東小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	-	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

### ○活動の始まり!

徳島市のベッドタウン、藍住町では地域で子どもを育てる気運の醸成が課題となっていた。

このような中、障がい者の授産施設との連携の中で、木箱に入れた鈴虫を郵便局等を通じて販売し、その収益金を障がい者の生計の一助にしようとする活動があり、平成5年に児童と地域の高齢者との協働作業で「鈴虫の木箱作り」が始まった。この活動が藍住東小学校区における地域と児童の連携の出発点となった。

その後、現役を引退した地域住民を中心に、稲作体験や「餅つき」行事、高齢者とのふれあい交流などが実施されてきた。

### ○「児童を守ろう会」誕生!

平成17年1月の下校時の子どもたちの安全パトロール開始を機に「児童を守ろう会」と命名し、以来、この活動は毎日続いている。

11年間に亘る熟成の時を経過し、また、平成16年度からの地域住民と藍住東小学校5、6年生児童とによる田植えからわらぼうし作りまで行う体系的な「稲作体験教室」の始まりにより、絆が一層深まり、現在の地域一体型の活動として実を結ぶに至った。

## 特徴

★常時、子どもたちと関わることを楽しみにしている20人のボランティアメンバーが活動!

行事内容によっては、地域からさらに応援メンバーが加わる。

★学校のある日は毎日、子どもたちの下校時の安全ボランティアを行っている。

毎日、子どもたちとふれあうため、現在、自然発生的なあいさつ運動となっている。

★小学校の行事である入学式・卒業式・運動会、子どもたちが地域の人々と交流を深める「ふれあい交流」等にメンバーが参加し、子どもたちの成長を見守っている。

★5、6年生と一緒に年間を通じた体系的な稲作体験(田植え・稲刈り・お餅つき・わらぼうし作り等)を行い、子どもたちに楽しく米作りを教えている。



下校時安全パトロール活動



田植え体験指導



餅つき体験指導



稲わらを使ってのわらぼうし作り

## 事業を実施して

平成5年度から始まった地域一体型のこの活動は、平成16年度から本格的な活動となり、現在の黄金期を迎えている。この活動は行政からの依頼や要請から始まったのではなく、地域の人々の自発的・自然発生的なボランティア精神によって始まり、「子どもたちのために」を合言葉に続けられている。地域と学校との教育協働作業の一つのモデルとして、大変意義深い活動である。



こんな活動です!!

# 地域の特性と地域力を活かした学びと 交流活動による子どもたちの居場所づくり

## 活動名

さぬき市放課後子ども教室  
【香川県さぬき市】

## 関係する学校

津田小学校、前山小学校、神前小学校、志度小学校

## ●基本データ

学校支援 地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	一人	一人	一年度	—
放課後 子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	36人	265日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童 クラブとの連携
コミュニティ スクール	特別教室、空き教室、校庭、体育館など	19年度	あり	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	○	—	—

## 活動の概要

地域の意向で発足し、様々な体験型学習や自主性を重んじた活動を行っている。また、地域の清掃活動を行ったり、放課後児童クラブと合同で行事を実施し、それを通して関係者との交流と資質向上を図っている。

## 特 徴

- 地域の意向で発足し、様々な体験型学習教室など各地域の実情に応じ、地域の工夫と協力により、自主性を重んじた活動を実施している。
- 児童クラブと合同行事実施。行事開催を通して子ども同士、児童館・児童クラブ等関係者との交流や、学習アドバイザーなどの資質向上を図っている。
- 学生ボランティアの参加が多く、子ども教室を卒業した中学生が遊びに来たり、高校生になってボランティアとして参加している。
- 学校・児童・保護者へのアンケートにより、成果と課題を検証しながら次につないでいる。



高校生と和三盆作り体験



広い体育館でのびのびと遊ぶ子どもたち



百人一首に挑戦！耳をすませて集中



夏休み、生地からピザ作り体験



お茶会ではお点前を披露します



地域に伝わる盆踊りを継承



交流事業では、毎年恒例の山登り



松原清掃と、段ボールの家づくりで交流



そろばん教室では学年ごとに学習



子どもたちに人気のパソコン教室



帰りの挨拶は、「さよならジャンケン」



デイキャンプ カレー作りと川遊び

## 事業を実施して

○(保護者の声)：「毎日の子どもの生活の中で放課後子ども教室の存在はとても大きいようです。教室のある日は、とても張り切っています。ボランティアの方々には子どもたちをあたたく見守ってくださり、ありがとうございます。色々な年代の人と触れ合ったり、喧嘩したり、優しくされたりして成長していると思います。礼儀作法、計算力、対応力など今社会で必要な力をすべて身につけられているような気がします。」

○(地域ボランティアの声)：「異学年の子どもたちが一緒に遊べ、学べる。そして、地域の方や高校生とも触れ合える。そんな時間を共有することができ、嬉しく思います。そして集団の中で遊ぶことにより、子どもは色々なことを感じ、学んでいると思います。子どもが主体的に遊ぶことに協力する立場で関わり、時には、自我が出て喧嘩もおきますが、よほどの危害がない限り、見守るようにしています。」

○(高校生の声)：「子どもたちのためにと思って、ボランティア活動に参加していますが、毎回、私たちが子どもたちから元気をもらっています。私たちの力は微力ですが、少しでも、子どもたちの力になることができれば、大変うれしいです。次回の活動もしっかりと頑張り、将来、人の役に立つことのできる大人になりたいと思います。」

○(学校関係者の声)：「地域ボランティアの方々、積極的に活動に参加され、素晴らしいと思います。また、放課後の子どもたちの明るい笑顔が見られ、関係者の努力の賜物だと思います。」

こんな活動です!!

# 放課後児童クラブとの連携 すべての子ども、地域の方が心地よく過ごせる居場所づくり

## 活動名

久万子どもの居場所づくり教室  
【愛媛県久万高原町】

## 関係する学校

明神小学校、久万小学校、畑野川小学校、直瀬小学校、父二峰小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	8人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
児童館、近隣公園、地域の施設		19年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平日には学習活動や野外活動、土曜日には地域の人を講師に招いたプログラムや、料理教室・手芸教室などを行っている。同じ児童館で開設している児童クラブの子どもと交流したり、指導員の研修やイベントを合同で実施するなど、連携が図られている。

### <主な活動内容>

- ★ クラフトコーナー(毎日)
- ★ 笛ヶ滝DAY(毎週水曜日)
- ★ フラダンス( // )
- ★ お菓子屋さん(毎週木曜日)
- ★ ジャグリング( // )
- ★ COOKドウドゥル(第1土曜日)
- ★ こっとなコットン(第2土曜日)
- ★ カルチャレンジャー(第3土曜日)

	時間帯	活動内容
月	14:30～17:00	クラフトコーナー(月～土)
火	14:30～17:00	
水	15:00～17:00	・笛ヶ滝DAY ・フラダンス
木	14:30～17:00	・お菓子屋さん ・ジャグリング
金	14:30～17:00	
土	9:00～17:00	・cookドウドゥル ・こっとなコットン ・カルチャレンジャー

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ・児童館において、平日の放課後と土曜日に年間約290日開催。安全な子どもの居場所が確保されている。
- ・普段できない遊びやスポーツ、自然観察、駄菓子の販売、工作、料理、手芸等、ニーズに応じた多様な活動を行っている。
- ・地域の方の協力で、幅広い世代での交流活動の場となっている。
- ・同じ児童館で開設している児童クラブと緊密に連携。子ども同士が交流したり、指導員の研修やイベントを合同で開催している。

### <実施に当たっての工夫>

- ・毎日9:00～17:00まで開館していて、地域の子どもが誰でも自由に参加できるとともに、児童館内で実施している放課後児童クラブ利用児も一緒に参加している。
- ・毎月第3土曜日には『カルチャレンジャー』を実施。地域の方を講師に迎えたり、普段できない遊びに挑戦する。
- ・毎週水曜日には『笛ヶ滝DAY』を実施。地域の公園に向いて野球をしたり、児童館周辺を散歩したりして、自然に親しむ。
- ・毎週木曜日には、昔の雰囲気を楽しめるよう『お菓子屋さん』を実施。(駄菓子の販売)
- ・毎週水曜日は「フラダンス」木曜日は「ジャグリング」を行っており、時間になると町内の小学生が集まり、講師の先生を招いて踊りや技に磨きをかけている。
- ・いつでも工作が楽しめるように(月替わりで)、『クラフトコーナー』を用意。
- ・夏休みには地域の消防署の方にお越しいただき、レスキュー体験や教師OBによる科学教室、英語教室、フラワーアレンジメント等を行う。また学生や社会人ボランティア、親子クラブや保育園の乳幼児との普段の交流を積極的に行う。



科学教室の様子



フラダンスの様子

## 事業を実施して

【成果】・イベントや活動を定期的に実施し、放課後児童クラブも実施しているため、ある程度まとまった子ども集団ができ、活発な放課後の活動の場となっている。

・町内の施設や、地域の方の協力を得ることで、児童館内だけでなく、幅広い世代の交流の場となっている。

【課題】・児童館(NIKONIKO館)は放課後児童クラブ(NIKONIKOクラブ)に登録している子どもしか利用できないと思っている人も多く、イベントの参加者など毎回決まった子どもの参加になってしまう傾向があるので、地域への広報活動を充分に行い子育て世代の方々のみではなく、広く地域の方へ理解と協力を呼びかけたい。



こんな活動です!!

# 私たちの誇り「多喜浜塩田」を みんなで未来へ伝えよう

## 活動名

地域と共に塩田文化を繋ぐ活動  
【愛媛県新居浜市】

## 関係する学校

多喜浜小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	-	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

学校内にあるミニ塩田「ソルティ多喜浜」を利用し、地域住民が講師を務め、塩づくり教室や塩田史跡めぐりなどを実施している。

その塩を使って子どものアイデアを活かしたお菓子作りに市内の業者と協働して取り組み、商品化も行った。学校と地域が一体となって塩田文化の歴史を伝えようと色々な取組を行っている。



ミニ流下式塩田「ソルティ多喜浜」

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ・小学校の敷地内にミニ流下式塩田を復元し、実際に塩を作っている。
- ・自治会や老人会、PTA、公民館等、地域の様々な立場の人がボランティアとして登録している。
- ・塩作りや、総合的な学習の時間・社会科でのゲストティーチャー等、様々な学校の教育活動を支援している。
- ・塩を使って子どものアイデアを活かしたお菓子の商品化や、塩田作業から創作した盆踊りを披露するなど、支援活動が広がっている。

### <実践に当たっての工夫>

- ・総合的な学習の時間には、お年寄りが昔の塩田作業の道具の説明や当時の暮らしについて生の言葉で語り、その後、塩を子どもたちと作るという教育支援活動を継続的に行っている。
- ・地域で生まれた「塩田讃歌」を運動会で地域の方と小学生と一緒に踊ったり、小学生主導で生まれた塩キャラクター「ソルティちゃん」や「ソルティちゃん音頭」を地域で披露する場をつくったりすることで、三世代の交流を深めている。
- ・小学生のアイデアを活かしたお菓子などの商品化が図られたことで、子どもたちの夢が実現される感動をみんなで味わった。さまざまなイベントで販売活動を経験した子どもたちは、先輩たちの活動を引き継ぎ誇りを育て、さらに新しい商品を開発したいという目標も手に入れた。次につながる活動を大切にしている。
- ・校区内の塩田遺跡を歩いて巡り、地域ガイドの説明を聞く「塩田ウォーク」に参加した小学4年生が地域の歴史や史跡を読み込んだ「塩田カルタ」を授業で作成した。公民館でA3ラミネート版カルタを作り、保護者にも呼びかけて体育館で「塩田カルタ大会」を開催した。大変好評であったので、地域の人も巻き込み、「多喜浜塩田カルタ」を作り上げようという動きに繋がっている。



塩を使った商品



塩田ウォーク



ソルティちゃんと音頭の発表会

## 事業を実施して

「ソルティ多喜浜」が完成してから、学校と地域社会が手を取り合うことで、子どもたちに地域社会での役割を与えることにつながり、すべての世代が協力し合う新しいまちづくりが展開されている。地域でお祝いする中学2年生のイベントでは、「地域の人が優しく声をかけてくれる愛のあるまちだと思う。」「多喜浜塩田などの伝統を守り、素晴らしい地域だと思う。」と郷土愛と地域への感謝のあふれる発表があり、これまで活動に関わった地域住民の感激はひとしおであった。

こんな活動です!!

# 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもを育てる

## 活動名

三崎中学校区学校支援地域本部  
【愛媛県伊方町】

## 関係する学校

三崎中学校、三崎小学校、二名津小学校、佐田岬小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	132人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成20年度から、中学校1校と小学校3校を対象に学校支援地域本部を設置し、学校のニーズに合わせた様々な活動を行っている。

主な支援内容は、以下のとおり。

- ・登下校の見守り、安全指導
- ・地域の方やボランティア団体による読み聞かせ
- ・花木の剪定、害虫の駆除等
- ・運動会ビデオ撮影、行事の交通整理等、学校行事の手伝い
- ・料理教室の講師、補助等の学習支援
- ・地域特有の産業や伝統文化について、ゲストティーチャーとして講話等

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ・地域特有の産業や伝統文化の体験

“学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもを育てる”を合言葉に、学校からの強い要望である地域特有の産業や伝統文化について、ゲストティーチャーとして話をしたり、体験実習の補助をしたりするなど、地域のよさを伝える活動に力を入れている。

- ・地域コーディネーター

教員経験のある地域コーディネーターが支所の公民館に勤務しているため、学校からのリクエストに対しては、公民館が蓄えている地域の豊富な情報を活かし、学校現場にあったきめ細かい対応でボランティアを調整することができる。

- ・みさきっ子応援ボランティア新聞

活動を多くの方に紹介するため、学校支援ボランティア広報紙を年3回、対象地域全戸に配布し、啓発に努めている。

### <実践に当たっての工夫>

- ・支援活動の実施については、学校からの依頼を受け、コーディネーターがボランティアと調整を行うこととし、押し付けで学校側に負担がかからないよう配慮している。

- ・ボランティアの確保については、学校支援ボランティアの広報紙を定期的に配布し、活動のPRやボランティアの募集を行うほか、公民館と連携して関係団体に協力の呼びかけを行っている。



校庭の整備



ボランティア新聞



裂き織体験



登下校の見守り、安全指導

## 事業を実施して

ボランティアのアンケートの中に「我が子も成長し、孫もない私にとって、ボランティアに参加し学校や地域の子どもたちとも繋がりがもてたことは何よりうれしい。子どもたちにエネルギーを分けてもらいながら、小さなボランティアを続けていきたい。」という意見があった。今まで学校に関わりがなかった多くの方々が、支援ボランティアをきっかけに様々な協力をしてくれるようになっていく。学校・家庭・地域の連携をますます強くしていきたい。



こんな活動です!!

# 内と外に開く教育活動を生徒と教職員が協力して全員で取り組む学校!

## 活動名

中土佐町立大野見中学校  
【高知県中土佐町】

## 関係する学校

大野見中学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	—人	—人	—年度	—
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	9人	220日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
余裕教室		22年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日	14人	32人	5学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コミュニティ・スクールの指定以降、「内と外に開かれ生徒・保護者・地域から信頼される学校」という学校運営協議会の方針のもと、多くの地域住民と学校が、生徒の成長や活躍を共に喜び合うことができる環境づくり(6つのコミュニティづくり:学校体制、保小中連携、学校行事、作品展示、生徒支援、学習活動)に取組んでいる。

内に開かれた学校づくりでは、同じ目標に向かって、生徒と教職員が一緒に取組む学校環境をつくり、取組や活動状況を生徒、教職員、保護者の全員で確認している。

外に開かれた学校づくりでは、生徒や学校を正しく理解し、支援・協力していただける環境をつくり、教職員と保護者、地域住民で生徒の成長を共に喜び合っている。

## 特徴

- ★「内と外に開かれた学校づくり」というテーマに向けて、取組を進めている。
  - 内に開かれた学校づくり(全校読書・チャレンジタイム・帯タイム等)
  - 外に開かれた学校づくり(茶摘み行事・文化発表会・総合的な学習の時間等)
- ★地域のボランティア団体が全面的にバックアップしている。
  - 大野見自然愛好会の皆さんとの町内清掃活動
  - おおり会の皆さんによる文化発表会でのカレーライス作り
- ★不登校対策をはじめ健全育成・生徒支援で大きな成果を上げている。
  - 生徒支援連絡会に関係機関や専門的立場の方が参加
- ★地域に支えられ、「温もりのある、明るく、豊かな学び」が保障されている。
  - 全校一斉縦割りの総合的な学習の時間
  - 伝統文化を学ぶ(地域の方から「花とり」や「浦安の舞」の指導)
  - 茶摘みカゴづくり(地域の方の協力で茶摘みで使うカゴを製作)
  - 地域住民との交流(学校行事への地域住民の参加・協力による交流活動)
- ★保小中連携教育は最も身近なコミュニティ・スクール。
  - 中1ギャップを解消するための交流授業や出前授業



伝統文化継承



町内清掃活動



お茶栽培

## 事業を実施して

- 学校だけでは解決できないことがある。親、学校、地域全体が子どもを指導していく、みんなで育てていく、それを楽しみながら活動することが大切である。
- 文化発表会において生徒も地域の人も笑顔で行うことができた。そんな地域は学校批判が少ない。
- 学校によっては形式的な開かれた学校づくりの会になっている。コミュニティ・スクールにすれば学校や子どものことがよくわかり地域全体で支援や協力ができる。

こんな活動です!!

# 大月の子どもは大月で守り育てる! 地域に見守られ、豊かに育て 地域の宝「大月っ子」

## 活動名

大月町放課後子ども教室【高知県大月町】

## 関係する学校

大月中学校、大月小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	57人	185日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
小学校(多目的室、体育館等)、中学校(放課後学習支援室)		21年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

大月町では、平成21年度に町内9校を1校に統合し大月小学校が開校した。子どもたちの多くは約20分かけてのスクールバスでの登下校となり、帰りのバスの時間まで学校で過ごす放課後の時間帯の子どもたちの安全、安心な居場所づくりが重要な課題であったため、開校と同時に放課後子ども教室を開校した。

活動の核となる実行委員会は、退職教員・保育士、各種団体役員など地域の方々約30名の参画により組織されている。月1回開催する実行委員会には、委員のほかに学校、行政からも担当者が参加し、教室の運営や児童の様子、今後の運営方針等について、情報を共有し連携する仕組みができています。

教室の活動内容は、学習活動やスポーツ活動、昔遊びの体験など、地域住民と児童がふれあう機会が充実している。隣接する中学校においても空き教室を利用した学習活動を始めるなど、中学校との連携にも取り組んでいる。

## 特徴

★休日等を利用して、「夏休み親子自然体験教室」「植物の標本づくり教室」「クリスマス・お正月用リースづくり教室」「ジンジャーブレッドハウスづくり教室」など子どもと保護者が参加するイベントを開催。保護者が地域と交流する場を確保している。

★放課後の学習支援では、学校との定期的な連絡会を設けることで、学習が遅れ気味の子どもへの対応も充実している。

★子ども教室の安全管理員がスクールバスに同乗し、バス通学に慣れない新入生の安全を確保している。

★学校の総合的な学習の時間で行われているプロジェクトへの支援や、放課後の時間帯に避難訓練を実施するなど、学校と連携した取り組みがなされている。

★定期的に放課後だよりを各家庭に配布し、活動内容について周知を行っている。



スクールバス添乗



学習活動



昔遊び体験



リースづくり教室



ジンジャーブレッドハウスづくり教室



総合的な学習の時間支援  
アサギマダラマーキング

## 事業を実施して

教室開設当初の児童の申し込みは全児童の6割程度であったが、現在は約8割の児童が申し込みをしており、放課後子ども教室の活動が児童にとっても保護者にとっても必要な取り組みとして着実に定着してきている。

また学校、家庭、地域、行政が連携・協力し、幅広い年齢層との交流を通して児童の社会性や豊かな人間性を育むとともに、実行委員として参画する地域の方々の生きがいづくりの場となっている。



こんな活動です!!

# みらいに羽ばたく なんちゅう生徒を みんなで育てる共育活動

## 活動名

春日南中学校学校運営協議会  
【福岡県春日市】

## 関係する学校

春日南中学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		-	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成22年4月15日	20人	527人	17学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

「未来にはばたく南中学生をみんなの力で育てよう」を目標として、学校と地域をつなぐ『なんちゅうバックアップ隊』を組織して、夢や目標ははぐくむ「チャレンジアッププロジェクト」、地域の中での体験を通して地域参画をめざす「さわやかコミュニティプロジェクト」、地域の方々と共に学ぶ「なんちゅうカレッジプロジェクト」の3つのプロジェクトを学校と地域が一体となって推進している。

### 【3つのプロジェクト活動概要】

<チャレンジアップP>

- ☆地域の声を活かした「全校道徳」
- ☆地域とともに創る「夢満開講座」
- ☆地域が表彰する「マイタウンマップコンクール」

<さわやかコミュニティP>

- ☆夏休みラジオ体操支援
- ☆地域感謝デー(地域美化活動)
- ☆地域夏祭り支援
- ☆地域支援に延1499名の生徒が参加(H23~H24)

<なんちゅうカレッジP>

- ☆開講11年目の画期的な取組
- ☆地域が創る共育の場



ラジオ体操支援

## 特徴

- ★「地域は学校の応援団」、「学校は地域の応援団」、学校と地域がWinWinの関係づくりをめざす。
- ★開講11年目の「なんちゅうカレッジ」、現在27講座が開設され、生徒と地域の方々が共に学びを広げる。
- ★地域での様々な体験活動の実践が、生徒のコミュニケーション能力や社会性の向上につながっている。
- ★「学校ヒアリング」の実施を通して教職員の考えを理解し、学校との連携を深める工夫を模索している。

### 【学校と地域をつなぐ「なんちゅうバックアップ隊」】

学校と地域が双方向の関係を構築するために、センター的な機能を果たす「なんちゅうバックアップ隊」が学校、地域の代表31名で構成されている。「学校にとっての教育効果」や「地域にとっての地域活性化」につながる活動の企画運営を行っている。その結果、学校で実施困難であった様々な実体験の場の増加や、地域課題であった高齢者主体の地域活動に中学生が参画するなど多くの面でWinWinの関係が構築されている。

### 【チャレンジアップPの成果】

- 「学校は命の大切さを教えてほしい」の地域の声を道徳の授業に活かした「全校道徳」を実践。
- 夢や目標をはぐくむ「夢満開講座」を実施し学校、家庭や地域が共に「がんばる事の大切さ」を学び生徒を育てる目標の共有化を図ることができた。

### 【さわやかコミュニティPの成果】

- 生徒の様々な活動に地域人材が指導者となり実践することで地域の教育力向上につながった。
- 生徒は地域での活動を通して、指導や評価を受けることで自己有能感や自己有用感、コミュニケーション能力が向上し、自尊感情の高揚につながった。

### 【なんちゅうカレッジPの成果】

- 平成23年度より「生徒自由参加型」から「1・2生全員参加型」へ転換したことで活気ある学びの場となった。
- 「おもしろサイエンス」、「救命介護」、「ゴルフ」、「家庭菜園」、「ギター」、「陶芸」、「管弦楽」、「防災減災」、「おもしろ法律」、「茶道」、「演劇」等、幅広い分野から学校では学ぶことが出来ない内容を学ぶ場となった。
- 地域人材と生徒との交流が活発となり、このことが地域の中での交流の広がりにつながった。



地域感謝デー



なんちゅうカレッジ

## 事業を実施して

地域が学校に目を向け、生徒を育てようとする意識を高揚させたことで、学校と地域が協働した効果的な教(共)育活動の創造が可能となった。また、学校の積極的な地域参画により地域の活性化が促進された。この双方向の関係構築を通して学校、地域の教育力が向上し、生徒の自尊感情を高揚させることとなり、学力や規範意識の向上にもつながっている。今後、更なる推進を図るためにも学校、家庭、地域が一体となって取り組む教(共)育活動への熟議を通して、様々な仕掛けと仕組みを構築していきたい。

こんな活動です!!

# 「地域の子は地域で育てる」 — 学校教育と連動した家庭・地域活動 —

## 活動名

山田小学校学校運営協議会  
【福岡県岡垣町】

## 関係する学校

山田小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	—	○	—

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	—人	—人	—年度	—
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	—人	—人	—日	—
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
—		—年度	—	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日	15人	846人	28学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校運営協議会は、学校の教育目標の具現化を図るために策定した活動計画に沿った実践を行う。「山田小協育委員会」を組織し、学び、心、体、安心の各側面からの学校支援に取り組む。4つの協育委員会を校務分掌に位置づけ、学校・家庭・地域の協働の体制整備を明確にする。

## 特徴

### 学校・家庭・地域が互いに連携し、役割の明確化を図る

・「地域の子は地域で育てる」をスローガンに、学校・家庭・地域の教育力の向上に努めている。学校では学力の向上を、家庭では学びの協育委員会が提供するアクションカードを活用し基本的な生活習慣の見直しを、地域では校区コミュニティや校区育成会が中心となり、登下校時の見守り活動や各種の体験活動を行っている。

### 学校運営協議会を基盤に、課題別に組織された「山田小協育委員会」の取組の充実を図る

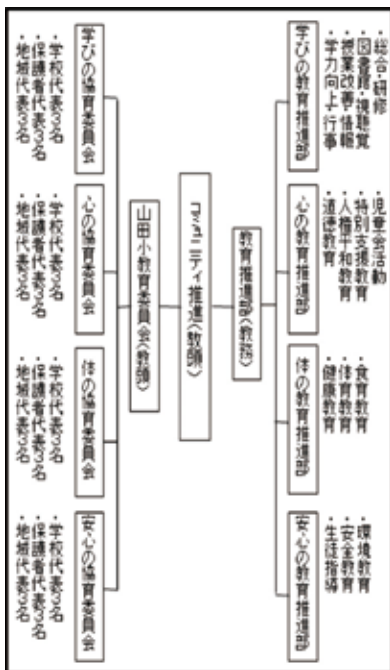
・学校運営協議会が中心となり「教科書に載ってないアフリカ」「3.11復興支援」等、「命の教育」をテーマに取り組んでいる。また、「学びの協育委員会」はコミュニティ・ティーチャー(CT)の導入や家庭学習、長期休業中の自習教室等の取組を、「心の協育委員会」は挨拶、靴並べ等の取組を、「体の協育委員会」は体力向上や食育等の取組を、「安心の協育委員会」は安全指導や見守り活動等の取組を三者(学校・家庭・地域)が連携しながら行っている。

### 校務分掌に山田小協育委員会を位置づけ、学校職員の参画意識を高める

・校務分掌に4つの協育委員会を位置づけ、学校の4つの教育推進部と連携させることで、三者が同じ視点でブレずに子どもの教育に当たることができるようにしている。そのことが職員の参画意識を高めている。

### 地域人材を授業に取り入れ、充実感を与える活動内容を考える

・学びの協育委員会が中心となり、CTを積極的に授業に取り入れている。俳句学習、性教育、科学教室(理科)、習字学習等で俳人や看護師、大学教授、書道家など専門性の高い人材を活用することで授業の質を高めている。俳句大会や科学作品展等各種大会で入賞・入選する子どもも多い。



校務分掌組織(簡易版:一部抜粋)



課題別実行委員会(安心の協育委員会)



俳句の先生と校区内を吟行

## 事業を実施して

学校運営協議会主催の取組や4つの課題別実行委員会の三者連携活動を行うことで、学校・家庭・地域が共通の視点で「ブレのない教育活動」を行うことができるようになった。地域の人や保護者が入り教育活動を支援したり、地域行事・家庭教育を学校が支援したりするなど互恵関係が築かれた。その結果、子どもの学力や学習意欲、規範意識等の向上が図られるとともに、透明感のある開かれた学校づくりが推進され、信頼関係がさらに構築された。



こんな活動です!!

# 学校の強力な応援部隊として、 行事や教育活動において活躍中!!

## 活動名

蒲池スクールサポーターズ  
【福岡県柳川市】

## 関係する学校

蒲池中学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	22人	50人	19年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		一年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

PTAの役員OBを中心に、地域の様々な立場の方の協力を得て発足、PTA本部役員の中にサポーターズ担当を配置し、学校教育活動やPTA活動を応援している。学習支援、学校環境支援、安心・安全活動、広報・募集活動に取り組んでいる。

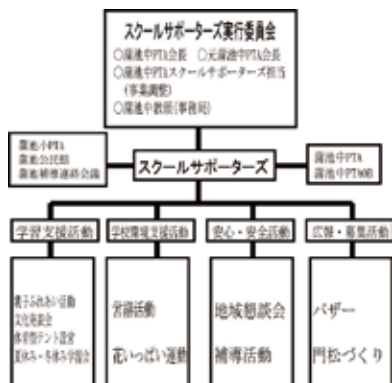
## 特徴

### 蒲池スクールサポーターズがめざすもの

- 蒲池の子どもたちにとってよりよい教育活動を展開する(子ども)
  - ・地域の大人が教育活動に関わることで、多様な体験・経験の機会が増えたり、規範意識やコミュニケーション能力の向上を図ることができる。
- 蒲池中学校の家庭教育の充実を図る。(おとな)
  - ・基本的な生活習慣を身に付けさせたり、子どもの自主的な活動を見守ったりする親としての役割や具体的な活動を学んでいくことができる。
- 地域の教育力を向上させ、生涯学習の構築を目指す。(地域)
  - ・生涯学習社会として、地域の人々が生活や職業上学んできた成果を生かすことのできる活動の機会と場(子どもたちが基礎的な知識・技能を習得するためのサポート)を提供する。

### 基本方針

- 気軽にサポーター活動ができ、地域の様々な立場の方が参加できる体制を作る。
- 学校のニーズに応じた「学習支援」「学校環境支援」「安全・安心」「広報・募集」の4つの柱を中心とした活動を展開する。
- PTA本部役員会にサポーターズ担当を位置づけ、学校やPTA、地域との連携を図る。
- 学校内に地域室を設け、PTA活動だけでなく地域にも開放する。



小中合同バザー支援



門松作り餅つき会支援



主な行事(月)	活動内容
体育祭(5月)	保護者テント設営・補導・駐車場案内・PTA 種目応援
親子ふれあい行事(6月)	レク活動の指導、審判、支援
夏休み・冬休み学習会	学習支援・応援
文化発表会(10月)	PTA 合唱の手伝い、参加
花いっぱい運動(11月)	PTA 環境委員会への協力
小中合同バザー(11月)	物品回収、搬入、販売の協力
門松づくり・餅つき大会(12月)	PTA 家庭教育委員会への協力
学校営繕活動	修理ボランティア

(スクールサポーターズの活動予定)

## 事業を実施して

本事業(学習支援活動、学校環境支援活動、安心・安全活動、広報・募集活動等)を通して、学校の教育活動は地域に支えられていることを実感している。学校・家庭・地域の三者に温かく見守られて育つ本校生徒は大変幸せだと思う。今後、蒲池スクールサポーターズの活動を小学校の支援にも広げられるよう、小中連携を進めていくとともに、取組の周知を幅広く行い、地域住民へ深く浸透するよう継続した取組を行っていきたいと思う。

こんな活動です!!

# 合言葉は「心はひとつ チーム祇園」・地域の子どもは地域で育てる

## 活動名

祇園小学校学校支援会議  
【長崎県佐世保市】

## 関係する学校

佐世保市立祇園小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	2人	47人	19年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	54人	24日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	図書室、多目的室、体育館、運動場		19年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

佐世保市立祇園小学校区では地域とともにめざす子どもの姿を「地域への愛着心を育てる」「未知のものや新しいものへの挑戦する心を持たせる」「思いやりの心を育てる」という3つの共有目標として掲げ、それを実現するために、学校支援会議を毎月開催し、4つの専門部(学習活動・体験活動・安全・環境)を設置することにより、具体的な活動を通して学校づくりや地域づくりをおこなっている。

活動は1学校区内にとどまらず、同じ中学校区の小・中学校4校にも呼びかけ、中学校区の全地域で行事の企画や9か年にわたるカリキュラム編成をおこない取組を進めるなど、地域を巻き込んだ活動をしている。学校教育目標の達成のために地域が協力し、またそれを住民が生きがいと感じるなど、学校と地域の相互共栄が図られている。



学校清掃大作戦

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★学校支援会議(長崎県版学校支援地域本部)を毎月開催することで、行事の企画・運営の検討、学校の教育課題及びその対策についての共有化を図るばかりでなく、地域住民同士の交流機会を提供し、地域づくりに貢献している。
- ★4つの専門部によりそれぞれの目的に応じた活動が主体的に展開されている。
- ★小学校区にとどまらず、近隣の小・中学校区に呼びかけ、9か年のカリキュラム作成を行っている。
- ★学校と地域の協働関係の構築により、地域住民の生涯学習支援を行っている。
- ★日頃のあいさつ運動はもちろん、参観日や教職員の研究授業を参観することで、学校関係者評価の充実に活かしている。

### <実践に当たっての工夫>

- 「中庭のレイアウト」「清掃大作戦」「どんと焼き」の企画運営をし、広報活動を充実させることで行事の趣旨等の周知を図り、保護者や公民館長・民生委員児童委員等をはじめ、一般の地域住民等が多数参加している。
- 多数の店舗が集まっている地域性や様々な技を持った地域の達人を活かし、授業の中に位置づけることで、豊かな体験活動を充実させている。
- 学校支援会議委員が放課後子ども教室の実務を兼務し、内容の企画や事前準備のボランティア召集など、ネットワークを活かした取組を行っている。



### <その他の特徴>

- 一人ひとりの支援会議委員が当事者意識をもち、「良い地域が良い学校を創る」という強い思いで取組を支えている。
- 鍛錬遠足など多数の保護者や地域住民のコミュニティとしての場を提供しており、学びを通じて人がつながっている。

地域での「祇園ショップ」

### <年間の主な活動計画>

4月 会則確認・年間計画立案	10月 県下一斉パトロールの実施
5月 6月集会の取組について	11月 研究授業参観
6月 心をつめる集会実施	1月 どんと焼き
7月 教育課題及び対策の共有	2月 学校関係者評価
9月 学校清掃大作戦	3月 体育館清掃 卒業式出席

## 事業を実施して

- 学校支援会議のメンバーが、「学校の株主」という当事者意識を持って学校の現状や課題について共有しており、学校の強力な支援者としての存在は大変貴重である。協働による新しい教育が開けてきている。
- 様々な人との関わりによる豊かな体験が、子どもたちの心の教育になっている。また、子どもとのふれあいを楽しみに笑顔で集まってくださる方から、「子育ては自分が育つこと」という言葉をいただき、大変うれしく思っている。



こんな活動です!!

# 「かっちえて」は、いろいろな仲間を増やす合い言葉

## 活動名

かっちえてクラブ(日野小学校区放課後子ども教室)  
【長崎県佐世保市】

## 関係する学校

佐世保市立日野小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	29人	17年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	49人	20日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	日野小学校体育館、運動場、その他		16年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の人材や学習資源を有効に活用した様々な活動に継続的に取り組んでいる。

学校教育では体験できないようなことが意図的に企画され、学校教育を補完する役割を果たしている。

また、住民に対して生涯学習の場を提供するとともに、参画する住民同士がネットワーク化されており、地域の基盤づくりにもつながっている。



ペンギン体操



本物のペンギンとのふれあい

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

★地域人材や校区内の自然環境などを積極的に活用して、郷土を学ぶ多様な機会を数多く展開している。

★学校教育では体験することが難しい機会を積極的に提供し、学校教育を補完する関係を構築している。

★活動の中で、地域住民の学習成果を発揮する機会を意図的に設け、生涯学習支援と地域のネットワークづくりに貢献している。

★校区内の大学と連携し、大学の専門性を活かした活動を行うとともに、相互支援・相互貢献の関係を構築している。

### <実践に当たっての工夫>

○校区内に居住する様々な人材を発掘し、星空観望会や科学教室など、専門的知識を有する地域人材が、地域に住む一住民として教室に参画している。

○九十九島など地域の財産を学習資源として活用し、郷土に対する関心を高め、郷土愛を醸成している。

○開催にあたり、地域住民のスタッフとしての参加を増やし、地域の子どもたちを地域みんなで育てようという機運のもと運営している。



もちつき大会



出前牧場

### <年間の主な活動計画>

6月 エアロビクス・出前牧場	11月 みんなで遊ぼう
7月 紙飛行機づくり・習字・竹細工	12月 クリスマスクラフト作り
8月 工作・石膏粘土・習字	もちつき大会
9月 英語	1月 グランドホッケー
10月 英語・ペンギン体操	2月 お菓子作り・少林寺拳法
	バスケットボール

## 事業を実施して

○保護者と地域の信頼関係が生まれ、放課後子ども教室以外でも、朝の登校見守り活動や、子どもをまきこんだ地域行事などが活発化している。

○子どもの豊かな育みの時間・場を創出しただけでなく、地域住民や保護者そして近隣大学及びその学生の相互理解や連携を生み、子どもも大人も地域の中で成長していつている。特に大学生との交流は、子どもたちや地域に大きな活力を与えている。

こんな活動です!!

# 公民館での学習を学校支援活動に活かす!!

## 活動名

益城町学校支援地域本部【熊本県益城町】

## 関係する学校

飯野小学校、広安小学校、津森小学校、益城中央小学校、広安西小学校、袴野小学校、木山中学校、益城中学校

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	206人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

公民館で学習する地域住民が、ボランティアとしてその成果を学校支援活動に還元する「知の循環」を実現しており、公民館活動の充実、地域教育力の向上を図っている。コーディネーターのうち1人を教育委員会に配置、また、小学校のコーディネーターは常駐に近い形で配置し、学校と地域住民がスムーズに連携している。



そろばん指導ボランティア

## 特徴

### 【公民館での学習を学校支援に活かす】

公民館で活動する団体の代表者会議等で事業説明やボランティアの依頼を実施している。支援を行った地域住民は公民館での学習成果を地域に還元するとともに、自らの学習を振り返る機会を得ることができる。このことにより、公民館活動の充実と地域教育力の向上につながっている。

### 【GTではなくAT】

学校教育活動への支援であることを重視し、地域ボランティアは補助(アシスタントティーチャー)に徹する。ゲストティーチャーとなる場合においても、十分な打ち合わせを行うこととしており、地域住民は負担なく学校の支援ができています。

### 【コーディネーターの配置】

コーディネーター3名のうち、1名は教育委員会に配置し、全体的なマネジメントとコーディネーター配置校以外の支援を行う。また、公民館講座の講師を兼務し、公民館でのボランティア養成を行っている。

学校配置のコーディネーターは学校教育課の補助職員配置事業(ドリーム益城っ子事業)の職員と兼務することで、常駐に近い状態で学校で活動している。このことにより、学校のニーズを引き出しやすくしている。

### 【コーディネーター会議の実施】

コーディネーター3名と教育委員会担当で月1回程度会議を実施し、成果や問題点の共有、及び今後の対応について検討している。

### 【学校年間計画への位置付け】

これまでの学校支援の積み重ねから、学校の年間指導計画にボランティアによる支援教科や方法を位置付け、コーディネーター及び学校職員が見通しを持って活動できるようにしている。



書写指導ボランティア



わらぞうり作り指導ボランティア

## 事業を実施して

現在はコーディネーター配置校の2校を拠点に事業を展開しているが、支援の輪が町内全校に拡がりつつある。ボランティアとして支援に参加した地域住民は学習成果の活用だけでなく、子どもとの交流や生きがいづくりとなっている。また、きめ細やかな指導により、子どもたちの学力や技能、意欲の向上が見られる。学校は地域住民を活かした能動的な授業を展開している。地域は、学校への理解がより深まりつつある。先生方の負担軽減までは至っていないが、この事業を今後も町内に拡げていきたい。



こんな活動です!!

# 網田小学校と網田中学校の連携教育を支える、地域の取組

## 活動名

宇土市立網田小・中学校【熊本県宇土市】

## 関係する学校

網田小学校、網田中学校

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	一人	一人	一年度	—
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	—
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	—		一年度	—
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成18年5月15日	15人	116人	7学級
指定日	委員数	児童生徒数	学級数	
平成20年5月15日	15人	79人	4学級	

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

小中一貫教育の取組をさらに推進するため、学校運営協議会を設置しており、そのもとに組織された6つのコミュニティ(学校地域安全、ボランティア活動、PTA活動、学校・社会行事など)が体験活動や学習支援活動に取り組んでいる。網田中学校で取り組んでいる「親子サミット」では、児童・生徒、保護者、学校運営協議会委員などが意見交換を行う機会を設けている。

平成24年度から、学校運営協議会の在り方を見直し、「学校が地域に求めること、地域が学校に求めること」という協議題を中心に話し合いを進めるようにしたことで、学校支援の具体像が見えてきた。その一例が、校内美化作業への網田地区各種団体の協力である。囑託会をはじめ、婦人会、体協、教育の里づくり隊等29人の協力があつた。

## 特徴

- ★月1回程度、学校運営協議会を開催し、小・中9年間を見通した児童・生徒の育成について話し合っている。
- ★学校運営協議会は、学校関係者評価を主な活動としている。各学校で委員による授業参観を行い、その後、感想や意見を述べる場を確保している。
- ★毎月の会議では、「学校から地域へ」、「地域から学校へ」という協議項目をたて、互いの要望等を出し合っている。
- ★委員を招いて始業式や終業式でミニ講話を実施。児童生徒と地域とのつながりが深まっている。
- ★休業中の児童・生徒の様子を聞かせていただいたり、外部から見た評価をいただいたりすることで、客観的な様子をとらえることができる。



網田サミットの様子

網田中「親子サミット」は、中学生と保護者だけでなく、地域の方々や小学生も参加し、年に一回実施している。「学習」「進路」「生活」「防災」等のテーマごとに分かれて討論を行った。出てきた意見は、スローガンとしてまとめ、発信した。



囑託会による剪定作業

11月4日に、「網田教育の里まつり」で実施された「ロング巻きずし作りに挑戦」の様子である。

小学生と中学生がいっしょになって、地域の方々に作り方を学びながら、のりや貝などの地元の食材を用い、巻きずしを作った。



網田教育の里まつりの様子

## 事業を実施して

これまで、網田小学校・網田中学校は、9年間を見通して互いに連携しながら学校運営を進めてきた。そこに学校運営協議会が加わり、学校の経営方針(小・中共通の方針、発達段階に応じた方針)を理解していただいている。学校の方針を理解した上で地域で児童・生徒を見ていただき、児童・生徒の健全育成に向けて学校・家庭・地域が一体となって取組を進めることができている。さらに、本年度は協議の中に「学校から地域へ」と「地域から学校へ」という項目を加え、互いの思いを感じながら協議会の運営を進めることができている。

こんな活動です!!

# 地域の力を学校に!～暮らしの中で培った知識・技術が学校支援の大きな戦力に～

## 活動名

氷川町学校支援地域本部  
【熊本県氷川町】

## 関係する学校

竜北東小学校、竜北西部小学校、宮原小学校、  
竜北中学校、氷川中学校

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	一人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成18年度からコミュニティ・スクールとして指定を受け、保護者や地域の声を学校運営に反映させてきた。

また、平成20年度から学校支援地域本部事業に取り組み、学校と地域をつなぐ地域教育コーディネーターを配置している。このことにより、地域の要望を的確にとらえ、学校運営に反映させると同時に、学校の要望をボランティア団体に伝え、学校支援の充実を図ることができた。

現在、町内全ての小・中学校で学校支援地域本部事業に取り組んでいる。平成23年度は、各教科をはじめとする学習支援活動、学校内外の環境整備、登下校時の安全見守り、読み聞かせなどについて、老人会、婦人会、民生児童委員等による延べ6500人のボランティアに支えていただきながら、活動を継続的に行っていた。

## 特徴

3人の地域教育コーディネーターが役割を分担したり協力しながら、町内全体のボランティアを組織し、学習支援から家庭教育支援まで幅広く取り組んでいる。学校内に、地域教育コーディネーターが常駐できる部屋を設けたり、職員室に机を設置したりするなど、日頃から学校との情報交換や学校支援のニーズを把握できるよう努めている。

地域教育コーディネーターは、学校の要望をもとに学校支援計画を各学校毎に作成し、それに応じたボランティアを募り、①学習支援 ②豊かな心づくり支援 ③安全見守り支援 ④学校行事支援 ⑤美しい学校づくり支援 ⑥地域交流支援 ⑦職場体験・農業体験支援等の活動を実施している。また、学校の教育課程と連動して地域の物的・人的資源を活用した学習支援や地域交流を盛んに行っている。

さらに、随時発行している広報紙『氷川っ子元気だより』を保護者に配布したり、地域に回覧したりすることにより、地域と学校が連携した活動の紹介やボランティアの募集等を行うなど、学校支援の核となり、学校と地域が一体となり、子どもの「生きる力」がより育成されるよう努めている。



ボランティアとの花苗づくり  
【美しい学校づくり支援】



専門家による毛筆指導  
【学習支援(書写)】



読み聞かせボランティア  
【豊かな心づくり支援】



算盤お助け隊による支援  
【学習支援(算数)】

氷川町学校支援地域本部活動参加ボランティア数 ※延べ人数

	H21	H22	H23
学習・豊かな心づくり支援	131	1091	1191
安全見守り支援	62	62	775
学校行事支援	251	170	345
美しい学校づくり支援	874	1103	1399
その他の支援	189	289	738
部活動支援	2010	2010	2050
合計	3517	4725	6488

## 事業を実施して

教師は、支援ボランティアを活用することにより、個に応じたきめ細やかな指導が可能になり、授業のねらいがより効果的に達成されている。また、子どもと向き合う時間の確保ができています。

児童・生徒は、支援ボランティアによる専門的な指導により、嬉々とした表情を見せ学びを更に深めることができるようになった。また、地域の大人と接することにより、みんなから守られているという実感を持つことができた。

地域の人々は、生涯学習講座での学びの成果や、これまでの自分の経験を生かすことができる場ができたことで、自身の生きがいづくりや学校を核とした地域づくりにつながり、地域の活性化の一助になっている。また、学校理解と学校支援の気運が高まりつつある。





こんな活動です!!

# 地域の人材を活かした教育の協働

## 活動名

高田中学校区学校支援地域本部会議  
【大分県豊後高田市】

## 関係する学校

高田中学校、高田小学校、  
桂陽小学校、呉崎小学校、草地小学校

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	360人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	-	-	-	-

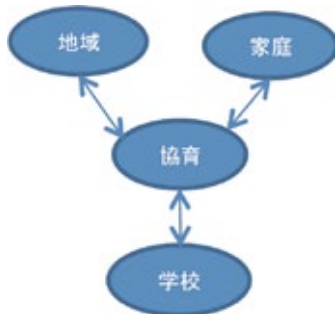
※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

公民館主事がコーディネーターを兼務している。地域、学校、家庭を結び、子どもたちを協力して育む「協育」という言葉を掲げ、地域の個性を生かした伝統の継承(能楽)や特産品(そば・白ねぎ)の植え付けから調理までの一貫した支援を行っている。

## 特徴

- ★呉崎小学校では毎年9月に学校の菜園を利用して、地域人材を活かした白ねぎ栽培をしている。土作りから植え付け、肥料やり、土上げ作業、収穫まで半年にわたって指導している。
- ★近年は生活改善グループの方が3月の初めに収穫した白ネギを使って、調理指導をしている。毎回5品ほどのバラエティーに富んだメニューは、大変好評。(ネギ餃子、ネギのお好み焼き、味噌炒め、ザーサイ和え等)
- ★支援者の児童が卒業したら在校生の保護者が引き継いで指導している。料理指導には10名ほどの方が来る。
- ★支援者の情報を収集しながら人材バンクを充実させ、他地区とも情報交換を密にしてネットワーク作りをしている。



苗を植えた後の肥料まき



収穫したネギを調理



能楽指導(信長出陣の舞)桂陽小



昔の遊び(けん玉コーナー)



昔の遊び(風ぐるまコーナー)

## 事業を実施して

児童の感想としては、地域の方とふれあうととても楽しい。生活の知恵をたくさんもらえる。また成育の過程を覗てきた児童にとって収穫の喜びは、格別のようだ。支援者の声としては児童からのお礼の手紙や、出会った時声をかけてくれるので嬉しいようだ。昔のおもちゃで遊ぶ教室では、「遊びのおじちゃん、また来てね。」と言う1年生全員の大きな声に支援者も大きなパワーをもらった。



こんな活動です!!

# 地域総参加で子育てのまちづくり ～地域の力を結集して～

## 活動名

長洲中学校区地域協育協議会  
【大分県宇佐市】

## 関係する学校

長洲中学校、長洲小学校、柳ヶ浦小学校、  
和間小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	53人	22年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
-		-年度	-	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

登下校時の見守り・安全指導や挨拶指導、ビーチクリーンアップなどの環境整備等、子どもたちの健全育成を願う地域の方々のいろいろなサポートを受けるとともに、学校と連携をはかりながら、幅広く活動を行っている。



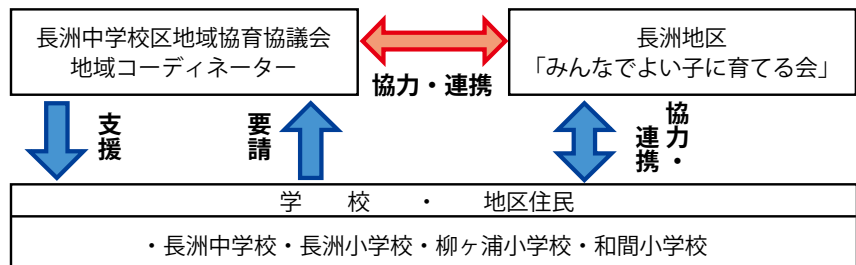
米作りを学ぼう!

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

★宇佐市は平成20年度から学校支援地域本部事業に取り組み始め、平成23年度には宇佐市の中学校・小学校すべてで実施している。

★長洲中学校区地域協育協議会は、平成22年度から開始し、今年で3年目になるが、長洲地区には「みんなで良い子に育てる会」があり、子どもたちの健全育成を願い、25年前に組織され地域の方々からのいろいろなサポートをいただいている。その礎もあり、子どもたちの登下校を毎日見守っている見守り隊の方々による交通安全指導とあいさつ指導、読み聞かせ、平和学習、米作り、御囃子、学校行事の支援、そろばん指導、ミシン補助、環境学習など学習支援から環境整備まで幅広い内容で支援活動が行われている。また学校や子どもたちは地域のイベントに積極的に参加するとともに、地域の方と交流・親睦を深めている。



地域の方による交通安全指導



脱穀体験



ミシン指導

## 事業を実施して

子どもと地域の方が交流することにより親睦が深まり、地域の方々のおたかさが子どもにもしっかり伝わっている。学校においても、特に専門的知識を要する学習支援については助かっているという声が上がっている。

こんな活動です!!

# 市内全域における学校支援体制の整備 ～ KSSVCによる運営～

## 活動名

こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)【宮崎県小林市】

## 関係する学校

小林市内12小学校・9中学校  
(市内の全小・中学校)

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	31人	1197人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	4人	8～29人	204日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
西小林小学校体育館、幸ヶ丘小学校生活科室、紙屋地区公民館、三ヶ野山いきいきコミュニティーセンター		19年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	—人	—人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	—	—

## 活動の概要

平成20年度、モデル校の指定により取組を開始し、その成果を基に、平成23年度より市内すべての小・中学校を対象にして、学校支援方針についての協議や、コーディネーターの養成研修などを行う「こばやしスクールサポートボランティアセンター」を設置した。学校ごとに配置された学校コーディネーター(教職員)と地域コーディネーター(地域住民)が連携し市内全域での学校支援活動の充実を図っている。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- 市内全ての小中学校を対象にした学校支援の方針や問題点などの協議や学校コーディネーター・地域コーディネーターの養成研修、全中学校区への指導・助言等を行う「こばやしスクールサポートボランティアセンター」(略称KSSVC)を設置するとともに事務局に3人のアドバイザー(教職員OB)を配置し、学習支援活動の充実を図っている。
- 市教育委員会が教職員を学校コーディネーター(無償)として任命するとともに、地域からも地域コーディネーター(無償)を委嘱することにより、市内の全中学校区において学校支援地域本部を展開している。
- 地域の特性に応じた支援が充実し、小中学生の相互交流活動も行われるようになっている。

### <実践に当たっての工夫>

- KSSVCのアドバイザーが、各学校支援地域本部の支援やボランティア人材バンク等の充実・整備を図っている。



学校支援推進協議会



学校コーディネーター研修



ボランティアとの対面式



学校コーディネーター研修



卒業生による学習支援



郷土芸能活動支援

## 事業を実施して

- ・地域で子どもを育てようとする意識が高まってきた。
- ・学校でのボランティア活動を通じて、やりがいと子どもたちから元気をもらっている。
- ・地域の方にお手伝いをいただいて大変助かり、子どもたちも生き生きしている。



こんな活動です!!

# 地域みんなで子どもを守り・育てる 木城っ子安全守る隊・木城っ子応援隊

## 活動名

木城町学校支援地域本部【宮崎県木城町】

## 関係する学校

木城中学校、木城小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	103人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	8人	39日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
会議室 他		20年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校支援ボランティアの数は100人を超え、卒業生や保護者を巻き込んだ「木城っ子安全守る隊・木城っ子応援隊」(学校支援ボランティア)が活発に活動している。学校支援地域本部が、学校内にとどまらない、地域の様々な組織をつなぐパイプになり、地域全体で子どもを育てる推進役となっている。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- 青少年に関わる組織等の代表者による「木城町地域教育推進プロジェクト会議」を通じた情報交換や企画により、町ぐるみで学校支援が行われている。
- 「木城っ子安全守る隊」の日常的な活動により、登下校時等の安全確保が図られている。
- 「木城っ子応援隊」が校外活動を支援。町の自然、歴史、文化等の調査活動の充実に加え、安全確保が図られている。
- 児童生徒と「安全守る隊」・「応援隊」との対面式や交通教室を行うなど、学校行事も充実している。

### <実践に当たっての工夫>

- 安全見守り活動を通し、地域の連帯感をより一層深めるため、あいさつ運動を展開している。
- 日々の下校時間など学校行事の情報提供・共有を行っている。

### <その他の特徴>

- 夏休み子ども教室の学習アドバイザーや安全管理員を地域住民が務めることによる生きがい増進。
- 児童の放課後の居場所づくりとして、毎週水曜日、会議室開放。



夏休み子ども教室 デイキャンプ



木城小学校2年生 お芋料理



木城小学校1年生 昔遊び



木城小学校2年生 町探検



木城小学校 交通教室

## 事業を実施して

- ・「子どもから元気良く話しかけられ、学校との距離が縮まったように感じる。」(応援隊隊員)
- ・「子どもたちとあいさつを交わし接することで、元気をもらえる。」(守る隊隊員)
- ・「気負わず・気楽に・気長に、子どもたちと地域の方々が交流を図ることで、木城っ子を見守りたい。」(プロジェクト会議委員)

こんな活動です!!

# 地域みんなで支える学校・育てる子ども ～できることを・できるひとが・できるときに～

## 活動名

高原地区学校支援地域本部  
【宮崎県高原町】

## 関係する学校

高原町内4小学校・2中学校  
(町内の全小・中学校)

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	144人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

- ・平成20年に委託を受けスタート。コーディネーターを核とした学校支援ボランティア活動を開始。
  - ・活動に参加したボランティアの成就感を意識したり、フォローなどすることで地域の学校を意識する機運が高まった。
  - ・新燃岳の噴火の際には、校舎の窓ガラスに空振対策テープを貼る等、防災対策を行った。また、外壁の清掃を行った。
- (主な活動内容)
- ・読み聞かせ活動
  - ・環境整備・植栽活動
  - ・登下校時の見守り・あいさつ活動
  - ・三世代交流活動
  - ・社会科学習支援



学校コーディネーター研修



空振対策テープ張り

## 特徴

### 〈組織・手法〉

●社会教育指導員を兼務するコーディネーターを教育委員会に配置し、ほとんどのボランティア活動に参加している。学校とボランティアとの打合せはコーディネーターが実施している。

### 〈活動に当っての工夫〉

- 支援活動を広く町民に知ってもらうために、区長会回覧を通してチラシの配布や教育委員会広報誌「友遊」にボランティア活動の様子を掲載。また各種会合の折出かけ、PRしている。
- 日ごろからコーディネーターが住民や地区との交流を図りながらボランティアへの参加を呼びかけている。
- 活動の後、労をねぎらうための工夫を実施している。

### 〈幅広い支援活動〉

●地域住民が読み聞かせ・見守り・あいさつ活動、環境整備・三世代交流など多岐・多様にわたり協力している。今年、小小連携授業において、文化調査委員による学習支援も実施した。

### 〈連携・広がり〉

- ボランティアの地域住民への働きかけにより、ボランティアが増加した。
- 多くのボランティアが一つの活動のみに限らず、それぞれの活動に参加している。
- 読み聞かせ活動は、学校行事への参加や、学校間で活動を行っており、町ぐるみ読書活動につながっている。



学校園除草



登校時の見守り



読み聞かせ



三世代グラウンドゴルフ

## 事業を実施して

- ・「できることを・できるひとが・できるときに」をモットーに支援活動を実施。ボランティアの自らの経験を生かせる場として、自己実現や生きがいづくりとなっている。事業を通して、ボランティアは子どもたちや教職員との交流を深め、更なる学校支援への参加につながっている。
- ・「見守りたい帽子」「読み聞かせエプロン」などの着帽・着用により、ボランティア間の意識の高揚が図られて、ボランティア同士の連帯感も生まれている。



こんな活動です!!

# 学校応援団で子どもは笑顔! 大人はイキイキ! 地域は元気!!

## 活動名

丹波小学校区学校応援団事業  
【鹿児島県指宿市】

## 関係する学校

丹波小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	43人	20年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校応援団協議会を組織化し、学校のニーズ把握やボランティアの育成・確保についてスムーズな運営が行われるよう協議している。学校と校区公民館が応援団(学校支援)の趣旨をよく理解し、地域の中の学校という認識のもと、地域に根差した活動を行っている。また、地域住民にとっては、学校支援が公民館で学んだ成果を生かす機会となっている。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★学校応援団協議会を中心に幅広い関係者の参画を得て、効果的な運営や支援活動が行われている。
- ★校区公民館が地域本部。公民館主事がコーディネーターとなって、学校のニーズと学校支援ボランティアのマッチングを行っている。
- ★子どもたちと学校支援ボランティアが交流。「朝のあいさつ」や「読み聞かせ」などは、交流を深める機会となっている。
- ★公民館講座生がボランティアとして活躍。公民館で学んだ地域住民が、その成果を還元している。
- ★これまでの地域に根差した既存の活動を、学校応援団活動に融合し、活動の拡充を図っている。

### 【ボランティア募集内容】

- ・ 学習指導の補助
- ・ 部活動指導の補助
- ・ 学校行事への協力
- ・ 読み聞かせ
- ・ 環境整備
- ・ 施設等の補修
- ・ 校門での朝のあいさつ
- ・ 図書の整理 など



きな粉作り指導の補助



ミシン縫いの指導の補助



町探検サポート



昔の遊び「竹馬」

## 事業を実施して

取組の成果として、学校を地域全体で盛り上げようとする機運が高まっている。次のような感想が寄せられている。

- ・ ボランティアの方々が、私たちの学校をかげで支えてくださり、とてもうれしい。(6年生児童)
- ・ 私たちが学んできた「お手玉遊び」の体験を、子どもたちがとても喜んでくれて感動した。(70代女性)
- ・ 地域の方々による支援活動により授業が計画どおりに進むなど、学校の教育活動等が充実し、ありがたい。(丹波小学校)

こんな活動です!!

# 地域ぐるみで次代を担う人材を育てる学舎活動

## 活動名

いきいき大丸学舎【鹿児島県南九州市】

## 関係する学校

大丸小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	11人	107日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	大丸校区公民館、図書室、体育館、校庭		19年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

大丸小学校では、校区公民館、民生委員・児童委員、地域の方々やPTAなど、地域ぐるみでの活動が熱心に行われている。平日は、校区公民館を中心とした教科の学習活動や読書活動、週末には、地域における体験活動として、環境保全に関する活動などを実施している。また、文化的活動も盛んで、校区六月灯(夏祭り)で子どもたちがダンスを発表したり、11月に行われる校区文化祭で、陶芸教室や生け花教室に参加した子どもたちが、作品展示に協力したりしている。

年間計画(23年度)

月	活動(休日)内容	支援団体
4	鯉のぼり上げ	校区公民館
6	EM菌だんご投入	校区公民館
7	校区六月灯(夏祭り) 空きびん回収	PTA
7	大谷川生態調査	校区公民館
11	陶芸教室 花の寄せ植え教室 生け花教室 ふるさと探検隊 グランドゴルフ大会	校区公民館 PTA
12	空きびん回収	PTA
2	風の子ごみ調査隊	校区公民館
3	ウォークラリー	おやじの会

## 特徴

- ★学校、校区公民館、民生委員・児童委員、PTA等が連携。効果的な組織の運営や各種活動が行われている。
- ★学習活動と読書活動を実施。火・水・木は学習指導員、月・金は公民館主事がボランティアで行っている。
- ★環境保全に関する学習活動を実施。大谷川の水質改善のためのEM菌作りや生態調査を行っている。
- ★「風の子ごみ調査隊」活動を実施。自然環境等に関心を持ち、郷土を愛する心を育てるため、ごみの種類を集計するなどの活動を行っている。
- ★「校区六月灯」の出演のためにダンスなどの練習に励んでいる。
- ★7月と12月の空きビン回収では、保護者とともに各自自治会から空きビンを回収する手伝いをしている。



放課後子ども教室



大谷川生態調査



風の子調査隊



六月灯(夏祭り)

## 事業を実施して

- 子どもたちに様々な学びの場を提供することで、学習への意欲や地域の自然に対する興味・関心を高めることができた。
- 地域の方々とのふれあい活動を通して、相互理解が図られ、地域が子どもを育てるという意識を広めることができた。
- 校区の様子を調べる活動や奉仕活動に親子で参加することで、話題づくりができた。



こんな活動です!!

# 学校、地域、子ども教室、学童クラブが連携プレーで子どもの安全を守る!

## 活動名

壺屋小放課後子ども教室【沖縄県那覇市】

## 関係する学校

壺屋小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	25人	205日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	空き教室、体育館、パソコン室		19年度	あり
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

活動内容が充実しており、平日はほぼ毎日実施している。学習活動では個人目標を設定し、子どもの意欲を引き出す工夫をこらしているほか、日頃の活動内容(空手、バトン)を地域の行事で披露するなど、地域との関わりも深い。児童クラブとの連携も密で、学習指導に当たっては、学習アドバイザーが相互に連携して対応している。

## 特徴

- ★月曜日～土曜日まで毎日、放課後、児童が安全に楽しく、有意義に過ごすことができる場所を提供している。
- ★スポーツ、パソコン、バトン、学習、空手、手作り教室、いずれも児童が「今日は活動ある?」と、楽しみにしている。
- ★学校・学童と連携して計画をたてている。学童と綿密に連絡を取り児童の居場所を把握し、保護者にもメールで状況報告している。
- ★PTAをはじめ地域の方々の協力により、児童がより充実した環境で活動できるような体制となっている。



学習教室の様子



リズム＆バトンの人たち

- ★毎年、学校で開催される「陶器まつり」で、保護者とボランティアが協力して、カレーやおそばなど販売し、その収益を子ども教室の活動費用(パソコンのインク代やごほうびのお菓子代など)に充てている。

月	日	活動内容	参加人数	備考
1	1			
1	2			
1	3			
1	4			
1	5			
1	6			
1	7			
1	8			
1	9			
1	10			
1	11			
1	12			
1	13			
1	14			
1	15			
1	16			
1	17			
1	18			
1	19			
1	20			
1	21			
1	22			
1	23			
1	24			
1	25			
1	26			
1	27			
1	28			
1	29			
1	30			
1	31			
2	1			
2	2			
2	3			
2	4			
2	5			
2	6			
2	7			
2	8			
2	9			
2	10			
2	11			
2	12			
2	13			
2	14			
2	15			
2	16			
2	17			
2	18			
2	19			
2	20			
2	21			
2	22			
2	23			
2	24			
2	25			
2	26			
2	27			
2	28			
2	29			
2	30			
2	31			
3	1			
3	2			
3	3			
3	4			
3	5			
3	6			
3	7			
3	8			
3	9			
3	10			
3	11			
3	12			
3	13			
3	14			
3	15			
3	16			
3	17			
3	18			
3	19			
3	20			
3	21			
3	22			
3	23			
3	24			
3	25			
3	26			
3	27			
3	28			
3	29			
3	30			
3	31			
4	1			
4	2			
4	3			
4	4			
4	5			
4	6			
4	7			
4	8			
4	9			
4	10			
4	11			
4	12			
4	13			
4	14			
4	15			
4	16			
4	17			
4	18			
4	19			
4	20			
4	21			
4	22			
4	23			
4	24			
4	25			
4	26			
4	27			
4	28			
4	29			
4	30			
4	31			
5	1			
5	2			
5	3			
5	4			
5	5			
5	6			
5	7			
5	8			
5	9			
5	10			
5	11			
5	12			
5	13			
5	14			
5	15			
5	16			
5	17			
5	18			
5	19			
5	20			
5	21			
5	22			
5	23			
5	24			
5	25			
5	26			
5	27			
5	28			
5	29			
5	30			
5	31			
6	1			
6	2			
6	3			
6	4			
6	5			
6	6			
6	7			
6	8			
6	9			
6	10			
6	11			
6	12			
6	13			
6	14			
6	15			
6	16			
6	17			
6	18			
6	19			
6	20			
6	21			
6	22			
6	23			
6	24			
6	25			
6	26			
6	27			
6	28			
6	29			
6	30			
6	31			
7	1			
7	2			
7	3			
7	4			
7	5			
7	6			
7	7			
7	8			
7	9			
7	10			
7	11			
7	12			
7	13			
7	14			
7	15			
7	16			
7	17			
7	18			
7	19			
7	20			
7	21			
7	22			
7	23			
7	24			
7	25			
7	26			
7	27			
7	28			
7	29			
7	30			
7	31			
8	1			
8	2			
8	3			
8	4			
8	5			
8	6			
8	7			
8	8			
8	9			
8	10			
8	11			
8	12			
8	13			
8	14			
8	15			
8	16			
8	17			
8	18			
8	19			
8	20			
8	21			
8	22			
8	23			
8	24			
8	25			
8	26			
8	27			
8	28			
8	29			
8	30			
8	31			
9	1			
9	2			
9	3			
9	4			
9	5			
9	6			
9	7			
9	8			
9	9			
9	10			
9	11			
9	12			
9	13			
9	14			
9	15			
9	16			
9	17			
9	18			
9	19			
9	20			
9	21			
9	22			
9	23			
9	24			
9	25			
9	26			
9	27			
9	28			
9	29			
9	30			
9	31			
10	1			
10	2			
10	3			
10	4			
10	5			
10	6			
10	7			
10	8			
10	9			
10	10			
10	11			
10	12			
10	13			
10	14			
10	15			
10	16			
10	17			
10	18			
10	19			
10	20			
10	21			
10	22			
10	23			
10	24			
10	25			
10	26			
10	27			
10	28			
10	29			
10	30			
10	31			
11	1			
11	2			
11	3			
11	4			
11	5			
11	6			
11	7			
11	8			
11	9			
11	10			
11	11			
11	12			
11	13			
11	14			
11	15			
11	16			
11	17			
11	18			
11	19			
11	20			
11	21			
11	22			
11	23			
11	24			
11	25			
11	26			
11	27			
11	28			
11	29			
11	30			
11	31			
12	1			
12	2			
12	3			
12	4			
12	5			
12	6			
12	7			
12	8			
12	9			
12	10			
12	11			
12	12			
12	13			
12	14			
12	15			

こんな活動です!!

# 地域の子どもは地域で育てる (学校と連携した地域住民の参画)

## 活動名

うるま市立具志川小学校支援地域本部  
【沖縄県うるま市】

## 関係する学校

具志川小学校

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	85人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	19人	90日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
具志川小学校低学年広場・具志川公民館		19年度	—	
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	—人	—人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	○	—	—

## 活動の概要

地域団体(わかば会)や地域企業が、率先して平日の登下校指導を行っている。地域の方が無償提供した畑では、総合学習の一環として、毎年5年生の稲作づくりを実施。夏休みの強化学習として、公民館での父母や高校生・大学生による学習支援を実施しているほか、キャリア教育の一環として、各分野で活躍している職業人による夢スクールの開催等、多くの地域人材を活用している。

## 特徴

- ★地域住民による登下校の指導が徹底している。
- ★夏休みに、公民館での強化学習を行っている。父母や高校生・大学生が協力。
- ★キャリア教育の一環として、職業人による夢スクールを開催。
- ★5年生には稲作づくりを体験。収穫したお米で感謝会を開催。



こがねの森の整備



朝の登校指導



水泳指導



教室修繕



夢スクール講演



稲刈り体験



感謝会の開催

## 事業を実施して

- 住民の声 : 児童と接する機会が増え元気になり、学校に貢献できることに生きがいを感じる。  
 子どもの声 : ボイストレーニングにより発声が上達し、発表が楽しくなった。  
 学校の声 : 習字・水泳等地域の方の経験者による指導のもと、学習が充実した。



こんな活動です!!

# 地域・保護者・教諭が一丸となったわがシマの学校づくり

## 活動名

浦添市立沢岬小学校支援地域本部  
【沖縄県浦添市】

## 関係する学校

沢岬小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	184人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	一年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	一学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校長・コーディネーターを中心に、地域の団体とPTAが連携し、幅広く活発な活動が行われている。学校教育計画に「地域人材活用計画案」を掲載したり、毎月のボランティアだよりでの活動紹介や、地域ボランティアへの感謝集会なども行っている。



地域ボランティアとの打ち合わせ



エプロン隊のお母さんたちによるミシン指導

## 特徴

- ★地域懇談会を行なって、地域の方に活動状況報告と、ボランティアへの協力呼びかけ・募集を行なっている。
- ★定期的にボランティア交流会を行い、学校との情報・意見交換会を行なっている(成果や改善点、要望等)。
- ★学校教育計画の中に、「地域人材活用計画案」が含まれている。
- ★教育課程の充実や校外学習時の安全確保をはじめ、学習環境の整備に大きく貢献している。



3年生の地域探検(総合学習)  
地域ボランティアによるマンゴー園の説明

保護者が作った大型紙芝居をボランティアが読み聞かせ



時期	学年	教科等	内容
4月	1年	理科	体育館での交通安全指導
	3年		チョウの育ち方についての指導
5月	1~4年	総合	教材園を耕す
	全学年		春の遠足時の交通安全指導
6月	3年	家庭科	町探検
	6年		ミシン指導

…  
…

毎年、年度始めに活用計画をたて、4月から支援を行う

## 事業を実施して

- 学校や地域、保護者との連携が深まり、相互交流が盛んになった。  
学習支援することで子どもたちは分かる喜びと学ぶ喜びが実感でき、学校生活全般においても明るく積極的になった。
- 【ボ】保護者からお礼を言われたり、子どもたちから挨拶されて嬉しい。  
【学】ボランティアの指導のおかげで、授業がスムーズに余裕を持って進めることができた。  
【コ】地域の方が喜んで協力し、また、子どもたちと触れ合う様子を見るととても暖かい感じがした。

こんな活動です!!

# 「地域の窓口」そして「学校と地域の架け橋」を目指して

## 活動名

加茂中学校区学校支援地域本部【仙台市】

## 関係する学校

加茂中学校、加茂小学校、虹の丘小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	230人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成21年4月に加茂中学校にて本事業を開始する。もとより「地域は中学校区」と考えていたため、学校側の協力を得、2年目からは学区内の小学校を含めた3校での支援体制を整えた。この年より、各学校に担当地域コーディネーターを配置し、そのとりまとめや関係機関との連絡調整役としてスーパーバイザーをふくめ4人のスタッフ構成となった。教職員の理解もあり、活動を通して小・中の連携も深まっている。大学・高校・市民センター(公民館)・各地域団体が学校支援を通してつながりを持てるよう働きかけを進め、地域全体の学びや福祉を支えるシステムの窓口となることを目指している。

## 特徴

### 【スタッフの共通理解】

担当地域コーディネーターは各学校の地域連携担当教員との連絡により、学校のニーズにあった地域ボランティアをいち早く紹介し応えていく。

学校と地域の架け橋として常にぶれない共通意識を持ってそれぞれのニーズに応えたいと願い、定期的に確認ミーティングを行っている。

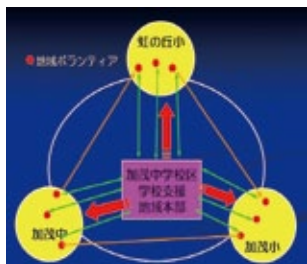
### 【加茂中学校区ネットワーク】

学校を含む地域団体で作る『ネットワーク』を構築し、学校支援地域本部はその窓口としての役割を担っている。

「学校への支援」を中心に、「学校が地域を支援する」ことへ発展し、さらに、今後は地域住民の生涯学習ともなる「地域と地域」の絆が強まることを願い、「地域の窓口」としての機能を果たしている。

### 【子どもを育む地域フォーラムin加茂中学校区】

東日本大震災という未曾有の体験から、学校と地域との絆をより強く感じるようになった。「学校・家庭・地域」の協働が子どもたちの輝く未来に繋がると信じ、平成24年1月にフォーラムを開催した。『加茂中学校区ネットワーク』を最大限に活用した行事となり、仙台市内の他中学校区からも参加者があり大成功を収めた。



加茂中学校区  
学校支援地域本部構成図



郷土料理(ずんだ団子)作り  
【虹の丘小学校】



読み聞かせ(道徳の授業)  
【加茂中学校】



地域フォーラム「子ども冬祭り」  
【加茂小学校】

## 事業を実施して

- 児童・生徒は … 学区内にある小・中学校全てに地域住民ボランティアが支援している環境なので、児童・生徒を継続的・安定的に見守ることが子どもたちの安心感にもつながっている。地域住民が授業に関わることで、子どもたちに良い刺激を与えることができる。子どもたちは地域住民の話に興味津々で、授業態度も熱心である。
- 学校は … 地域住民が授業に入る前に、担当教員と打ち合わせの時間を設けている。そのひと手間が、良い成果を生んでいる。ひいては学校への理解につながっている。
- 将来は … 地域が学校を支援するだけでなく、生徒たちが地域の行事(防災訓練等)に関わることも多くなってきている。生徒たちは地域の一人として地域の仕組みを知り、愛情を受けていると感じる。将来は、地域に力を還元してくれることと思う。



こんな活動です!!

# 子どもにも大人にも大切な「居場所」作り。 地域のつながりの中で子育て支援・学校支援

## 活動名

わいわいパーク黒松【仙台市】

## 関係する学校

仙台市立黒松小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	5人	227人	22年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	17人	222日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	生活科ルーム、余裕教室、校庭等	17年度	あり	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
-	-人	-人	-学級	

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成17年度の放課後子ども教室開設以降、子ども会育成会や学校、学校施設開放運営委員会、児童館、市民センターなど地域の協力をいただき、取り組みを継続してきた。

### ●全校児童対象「わいわいパーク」

月・水・土曜日実施

- ①自由広場…自由遊び
- ②学習支援…宿題や自主学習支援
- ③運動遊びスポーツパーク
- ④遊び講座…親子幼児参加、地域講師
- ⑤体育館自由開放…家族や地域へ開放  
土・日曜日の安全な遊び場所
- ⑥参観日の懇談会託児
- ⑦自由来室…月～金曜日、登録不要

### ●1～3年登録「わいわいクラブ」

月～金曜日放課後、長期学校休業日21日以上。児童クラブに登録できなかった待機児童の預かり。

●平成22年度の学校支援地域本部の設置にあたり、教室の組織が核となって、地域人材や諸団体、講師ボランティアなど多方面から協力を得ている。



好きな時間に参加するボランティア  
友達のように会話し遊び、楽しそうに子どもを見守っている。

## 特徴

### ★卒業生も顔を出す放課後子ども教室。地域の子どもの縦のつながりは永年の活動の成果!

学校帰りに立ち寄る中学生やボランティアに来る大学生、土日の体育館自由開放に参加する中高生、兄弟姉妹で6年まで参加する子どももみられる。児童数の減少をみこし将来的には、児童クラブの待機児童の預かりは、異年齢の子どもが自由に集まれる教室を想定している。自由来室は、クラブの子どもたちが友達を誘ったり、日常の家庭生活の延長にあるあそびの形を模索する取り組みにもなっている。

### ★学校支援地域本部の核・子どもの「ななめの関係」づくりの場として 学校・地域の「なくてはならない存在」に成長した。

子ども教室のスタッフやボランティアの多くが、学校支援地域本部でもコーディネーターやボランティアの中心となり活動している。逆に学校支援に参加された方が、子ども教室の講師やボランティアに加わることも多々ある。子ども教室の人材や人脈を学校へ繋ぐ役割を担うと同時に、子ども教室と学校支援本部が連携することで、より地域を巻き込んで子どもへの関わりを作り出している。

### ★毎日の活動後の反省や毎月の事務局会議が定着した形で行われ、スタッフの学びと育成につながっている。

子どもの理解や発達段階、個々への対応、担任の先生からの助言、家庭とのやりとりや、指導員間の情報交換や伝達事項など、意識の共有をはかる努力を続けている。特に、配慮が必要な子どもに対しての学校からの指示や助言は、すべての子どもを受け入れるために欠かせない大きな力になっている。



地域講師によるペーパークラフト教室  
親子や幼児も参加し、異学年が関わり合いながらクラフトや遊びを楽しんでいる。



土・日曜日の体育館自由開放  
「今日は高校生のお兄ちゃん居る～」  
「俺も黒松小だったんだよ」

## 事業を実施して

### ●子ども教室の枠を越えて…

地域が中心となって長い目で子どもの成長を見守る活動になっている。特に震災後は、地域で子どもを育てる意味と必要性を再認識した。子どもの豊かな育ちのために、顔がみえる地域作りの視点からも子育て支援や学校支援へと目的を広げながら、日々の実践を積み上げている。

### ●自由なボランティアの場、居場所として地域に根付く!

「私自身が参加して楽しい!」と語る高齢者、仕事がない日に遊びに来る父親など、子どもはもちろん人が集まる居場所に変容してきた教室。学校に子ども教室があることが自然に受け入れられ、地域と学校を繋ぐひとつの手立てとして、今後も継続して育てていきたい。

こんな活動です!!

# 特別支援学級・放課後児童クラブ等も含め全児童対象の楽しい「児童の居場所」

## 活動名

桜木子ども広場／桜木小チャレンジスクール【さいたま市】

## 関係する学校

桜木小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	24人	22年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	43人	79日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の方々の参画を得て、子どもたちの自主的な学習、スポーツ及び文化活動等を通して、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を確保するため、平成17年度より、放課後子ども教室の先駆けである「地域子ども教室」としてスタートした。平成22年度には、学校支援地域本部としてもスタートし、それぞれ連携をとって、活動を行っている。

勉強面(特に英語、英会話)や工作、読み聞かせ等、多岐にわたり活動を行っており、頑張りに応じて「ありがとう!券」がもらえ、それを元に各学期末にお買い物ごっこを行っている。



国算コース



かるた大会

## 特徴

### <特徴のある活動>

- ①宿題・絵本の読み聞かせ・リサイクル品を使っての工作(CDでコマ作り・フリスビー作りなど)・カルタなど。
- ②おもしろえいごクラブ(1～2年)、Hello English Club(3～6年。会話は全て英語)、国算コース(国語と算数)と3つのコースに分かれて、それぞれ学習。

①及び②を曜日ごとに種目を変えて活動している。また、長期休暇時には、茶道・料理・習字・地域ボランティアグループによる「フラダンス指導・手品ショー」などの特別な体験活動も行っている。参加日数に応じて「ありがとう!券・THANK YOU!券」が貰え、それを元に各学期末には、お買い物ごっこを行っている。勉強面(特に英語・英会話)、工作、読み聞かせだけでなく、お買い物ごっこや茶道・料理など、多岐に渡る活動が特徴である。

### <幅広いスタッフの充実>

安全管理員15人、学習アドバイザー19人、ボランティア5人の計39名がスタッフとして登録されている。

PTA・参加者の保護者・元教員・民生委員・青少年育成地区会・大学生・シルバー人材センター・地域の団体所属者・放課後児童クラブ指導員など地域に根ざした方が、多方面から子どもたちを見守っている。

### <放課後子ども教室・学校支援地域本部との連携>

当市では、放課後子ども教室を「放課後チャレンジスクール」、学校支援地域本部を「土曜チャレンジスクール」という名称を使用し、放課後子ども教室を市長部局、学校支援地域本部を教育委員会というように、二事業で連携し、当該活動を支援している。

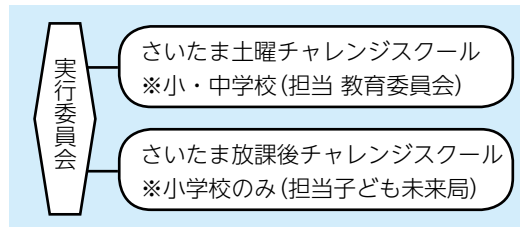
### <その他の特徴>

特別配慮の必要な児童について、学校職員と話し合いを持っている。

放課後児童クラブの児童も受け入れ、良好な関係を築いている。



ありがとう!券・THANK YOU!券



チャレンジスクール推進事業

## 事業を実施して

活動を行っていく上で、学年をこえた友達との関わりや、社会のルールなどが身に付くようになった。また、「○○を下さい。」や「ありがとうございます。」といった、挨拶等がきちんとできるようになり、子どもたちの成長に役立っている。

また、ボランティアスタッフから「参加している児童(卒業生も)の殆どが、街中でも『放課後の先生だ!!』と、スタッフに声をかけてくれます。」「保護者以外の方にも、『いつもご苦労様です』『ありがとうございます』と言われることもあり、面はゆい時があります。」等の声が寄せられている。



こんな活動です!!

# 子どもたちが元気で楽しく遊びまわる場所、 たくさんの選択肢から自由に選ぶ

## 活動名

三橋いきいき広場／三橋小土曜チャレンジスクール【さいたま市】

## 関係する学校

三橋小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	○	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	16人	23年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	71人	66日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
校庭、体育館(三橋小学校、三橋児童センター)		18年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の方々の参画を得て、子どもたちの自主的な学習、スポーツ及び文化活動等を通して、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を確保するため、平成18年度より、放課後子ども教室の先駆けである「地域子ども教室」としてスタートした。平成23年度には、学校支援地域本部としてもスタートし、それぞれ連携をとって、活動を行っている。

また、児童センターとも連携を取っており、多種多様な遊び道具を用意し、自由に好きな遊びを選んで活動を行っている。



どうぶつしょうぎ



一輪車でピース

## 特徴

### <特徴のある活動>

校庭では、バドミントン・サッカー・ソフトボール・一輪車・フラフープなどのスポーツの他に、竹馬のような昔遊びも行っている。

また、1回の参加児童数が多いため、同時に児童センターでも活動しており、そこでは、室内でボール遊びや読書、カプラなどを行っている。そのため、室内遊びの選択肢が多数であり、雨の日でも実施する事ができる。

土曜日には、勉強を中心に、音読やスライム作りなどの工作も毎回企画し、活動を行っている。

誰でも自由に参加でき、勉強や工作などだけでなく多種多様な遊び道具を用意し、自分で自由に好きな遊びを選んで活動できるところが特徴である。

### <幅広いスタッフの充実>

放課後子ども教室のボランティアスタッフが20人、学校支援地域本部のボランティアスタッフが16人、延べ36人のスタッフが登録されている。

卒業生の保護者・民生委員・自治会・地元のサッカー少年団・大学生・図書ボランティア・地域の団体所属者など地域に根ざした方々が、多方面から子どもたちを見守っている。

### <放課後子ども教室・学校支援地域本部との連携>

当市では、放課後子ども教室を「放課後チャレンジスクール」、学校支援地域本部を「土曜チャレンジスクール」という名称を使用し、放課後子ども教室を市長部局、学校支援地域本部を教育委員会というように、二事業で連携し、当該活動を支援している。

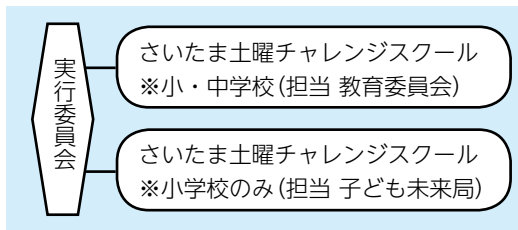
### <その他の特徴>

ボランティア(多くは地域のご年配の方)との交流の場になっている。

放課後児童クラブの児童も受け入れ、良好な関係を築いている。



野球の練習



チャレンジスクール推進事業

## 事業を実施して

子どもたちが自由に選択して遊ぶことで、成長し、社会の中で生活していく手だてを身に付けられるようになった。また、こういった活動をすることで、地域のボランティアの方々子どもたちとの良い交流の場になっている。

参加している児童からは、「いつも友達と一輪車やフラフープで遊んでいます。」、ボランティアスタッフからは、「子どもたちを見守る役目ですが、むしろ私たちが楽しく遊ばせてもらっています。」、児童の保護者からは、「親がないところで、子どもが安全に遊べるのはありがたい。」など様々な声が寄せられている。

こんな活動です!!

# 「子どもの笑顔を真ん中に!」を合い言葉に地域を挙げた学校支援

## 活動名

新潟市立味方小学校【新潟市】

## 関係する学校

新潟市立味方小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	4人	100人	19年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	1人	1日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	1人	1人	1学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

地域の学校・公民館・児童館などの年間行事予定を集約した「地域カレンダー」を地域全戸に配布しており、地域住民の支援・協力の輪が広がっている。

多くのボランティアの協力を得て、学習の場である「宿題片付け隊」や、地域が一体となった学校行事を実施するなど、児童が認められる機会が増した。教職員の協働への意識の高まりも見られている。



地域の方々と学ぶ子どもたち

※宿題片付け隊は、隔月の水曜日の放課後2時から1時間程度実施される



地域の方から学ぶ文化祭体験教室

※文化祭では、作品展示の他に、地域と一体となって体験教室、伝統芸能発表、バザー等が展開される。

## 特徴

### <支援の輪を広げるコミュニティカレンダー>

★学校、保育園、公民館、児童館、自治協などの主要な行事を集約した「味方地区コミュニティカレンダー」を地域の全戸に配布。支援の輪を広げている。



味方地区コミュニティカレンダー

### <各ボランティア組織が主体的支援を展開>

★ボランティアが中心となって、「宿題片づけ隊」などの自主学習や体験学習など多様なプログラムを展開している。

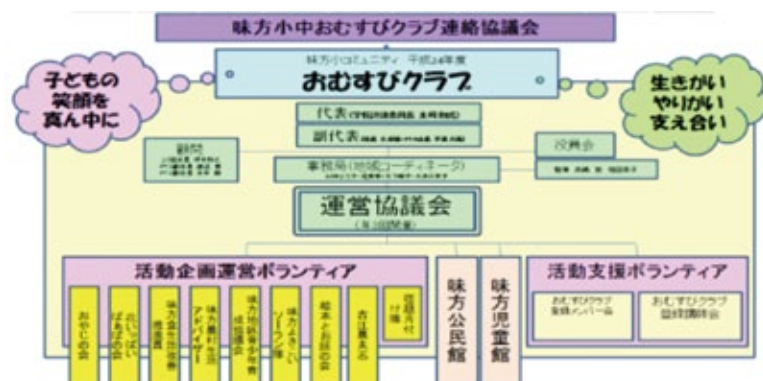


運営協議会の様子

### <生きがい・やりがい・支え合いを大切に>

★地域教育コーディネーターが核となり、学校支援を通して、ボランティア組織「おむすびクラブ」の活動の充実や住民同士の絆づくりを進めている。

★社会教育施設で活動する地域住民が、ボランティアとしてその成果を還元している。



おむすびクラブ運営協議会組織

## 事業を実施して

「おむすびクラブ」が発足して6年目を迎えた。その間、様々な組織との連携や新組織の発足が進み、平成23年度には運営協議会が組織された。これを機に、学校への支援体制が一層高まったことを感じる。運営に当たっては、それぞれの団体の独自性を活かしながらも、協議会を通して連携を図りながら進めている。学校には、絶えず地域の方々が来校し、年間700人に及ぶ。地域の宝である子どもたちをみんなで育てていこうとする意識が益々高まることを願っている。



こんな活動です!!

# 学校が元気に！ 地域が元気に！ 子どもが元気に！

## 活動名

新潟市立東中野山小学校【新潟市】

## 関係する学校

新潟市立東中野山小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	192人	19年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)			

## 活動の概要

学習ボランティア宅を示した「名人マップ」を作成し、児童が訪問できる仕組みをつくっており、子どもと地域住民のかかわりが豊かになっている。また、ボランティアのネットワークづくりのため、コーディネーターが住民宅を定期的に訪問している。年間を通した稲作や収穫後の米粉パン作り、学習支援など、多岐にわたる活動を行っている。



着付け名人さんを訪ねて



名人マップを使って名人さん探し

## 特徴

- ★自宅ボランティア活動を示した「名人マップ」を作成。子どもたちが訪問して直接ふれあいを深めている。
- ★地域教育コーディネーターが定期的にボランティア宅を訪問。ネットワークを広げている。
- ★ボランティアが学年に応じた学習支援を継続的に行うとともに、「ボランティア会議」を定期的に行き、子どもたちの成長を語り合っている。
- ★公民館サークル・老人クラブ・大学生など、多様なボランティアに支えられている。

### 【地域の名人さんが支援してくださっている主な活動】

学校全体…クラブ活動・英語であそぼ・お茶会・オカリナコンサート・読み聞かせ  
 1年生…昔の遊び・野菜づくり・校区探検 2年生…校区探検・野菜づくり・体力テスト  
 3年生…校区探検・野菜づくり・体力テスト 4年生…稲作・エコ活動・紙漉  
 5年生…稲作・裁縫・算数補助 6年生…裁縫・キャリア教育・算数補助  
 在宅での支援…料理・着付け・裁縫・囲碁将棋・昔の遊び・習字



稲作名人さんと一緒に田植え



お茶会で礼儀を学ぶ



まなびの部屋へようこそ

### 【まなびの部屋】

学校と地域をつなぐ拠点である。地域教育コーディネーターが、いつも笑顔で常駐している。また、毎日のように、朝から地域のボランティアさんが来校される。休み時間ともなると子どもたちでいっぱいになり、裁縫や折り紙を教えていただいたり、相談に乗っていただいていたりする姿が見られる。ボランティアさん同士の情報交換や打合せ・反省会も行う。

## 事業を実施して

子どもたちから、「学校は輝いています。それは、地域の人たちと一緒に勉強したり、たくさんのことを教えていただけたりするおかげだと思います。」という声をよく聞く。この声のとおり、地域の方々は学習支援ボランティアとして、毎日、児童の生活にかかわってくださっている。平成23年度のボランティア数は1,014名であった。この人数も年々上昇している。『地域の教育力を子どもたちのために生かしたいと考えている学校』と、『子どもを学校任せにせず、地域も積極的にかかわろうという地域』の考えが一致している現れである。今後も、地域と学校の双方向の力で、子どもたちをよりよく育てていきたい。

こんな活動です!!

# 地域の力を活用して、子どもたちに豊かな「遊び」「学び」「体験」「交流」の場の提供

## 活動名

小幡北小学校トワイライトスクール  
【名古屋市】

## 関係する学校

小幡北小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	32.6人	289日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	プレイルーム、校庭、体育館		10年度	なし
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

定期的に運営連絡会を開催することで、学校・地域との連携が十分に図られている。コーディネーターが、地域人材と地域資源を活用し、地域で自然体験活動を行っている団体と連携し、小学生向けのプログラムとしてコーディネートすることで地域・学校と一体となった取組を継続的に実施している。

## 特徴

- ★定期的な運営連絡会の実施により、学校・地域・保護者の豊かな連携が図られている。
- ★地域のボランティアの力を活用して、豊かな「遊び」「学び」「体験」「交流」の機会が提供されている。
- ★緑地公園に隣接する豊かな自然環境という地域特性を活かして、独自の活動機会を提供している。

### 【活動内容の特色】

- 地域の「ホタルを守る会」が、小学校の北側の小幡緑地公園を地域資源として活用し、長年にわたって地域をあげて自然保護の活動を行っている。
- 地域では、学校の「総合的な学習の時間」の学習支援とともに、トワイライトスクール「ホタルまもり隊」への活動支援による「ホタルの里を守ろう」という環境保全活動の取り組みを平成15年から継続的、積極的に行っている。
- 地域団体である名古屋環境塾「ドングリコロコログループ」と連携し、年間3回にわたり、土曜日に「小幡の森であそぼう」を実施し、子どもたちが自然とふれあいながら自然を守ることの大切さを学ぶ機会を提供している。



地域の支援による自然体験活動



地域支援による「ホタルまもり隊」の活動



「ホタルまもり隊」による環境保全活動

## 事業を実施して

「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことができる場を提供し、日常的な異学年交流や学習習慣の定着化を図っている。

地域協力員や体験活動講師として地域の方々の協力を得て、日々「遊び」・「学び」・「体験」・「交流」の豊かな活動が実施されており、本事業を通して、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。



こんな活動です!!

# 地域力を活用して、子どもたちに豊かな「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場の提供

## 活動名

金城小学校放課後子どもプランモデル事業【名古屋市】

## 関係する学校

金城小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	39.1人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	プレイルーム、校庭、体育館		11年度	なし
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学童保育が解散した地域に、トワイライトスクールに改良を加え、学区のすべての子どもたちの笑顔のためにとモデル事業として開設された。定期的に運営連絡会を開催することで、学校・地域との連携が十分に図られている。地域課題やニーズをとらえた防災体験や地域ふれあいイベント、スポーツなど様々な活動がなされている。

## 特徴

- ★定期的な運営連絡会の実施により、学校・地域・保護者の豊かな連携が図られている。
- ★地域のボランティアの力を活用して、豊かな「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場が提供されている。
- ★家庭的な雰囲気が味わえる豊かな活動と、地域課題やニーズをとらえた工夫した活動機会の提供が行われている。

### 【活動内容の特色】

- コーディネーターが地域と学校の多大な協力を得ながら、「学区の全ての子どもたちの笑顔のために」と、「流しそうめん」「餅つき大会」や「ハイキング」などのアットホームな雰囲気があふれるイベントを工夫して提供している。
- 地域で日ごろから青少年育成にかかわっている方や学区連絡協議会などの団体と連携し、「防災炊き出し体験」を実施するなど、地域課題やニーズをとらえた工夫した取り組みを行っている。
- 地域と連携した防災体験や地域ふれあいイベント、スポーツ体験などの様々な豊かな体験活動がバランスよく提供されている。



地域の支援による防災炊き出し体験



地域の方と共に炊き出し体験



「餅つき」体験で地域の方とのふれあい

## 事業を実施して

「地域の子どもは地域で育てる」という意識のもと、学校という安心・安全が確保されている場所で、学年の異なる子どもたちが一緒になって思い切り遊び、学ぶことができる場を提供し、日常的な異学年交流や学習習慣の定着化を図っている。地域協力員や体験活動講師として地域の方々の協力を得て、日々「遊び」・「学び」・「体験」・「交流」の豊かな活動が実施されており、本事業を通して、子どもたちと地域の大人との交流が深まっている。

こんな活動です!!

# 学校運営協議会を核とした地域ぐるみの学校づくり

## 活動名

新町小学校学校運営協議会【京都市】

## 関係する学校

新町小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

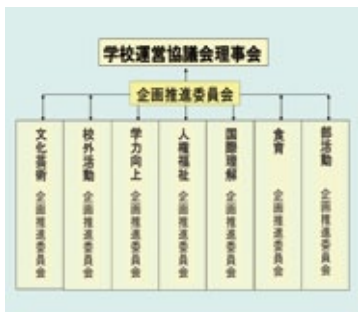
## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	0人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成17年5月20日	14人	429人	16学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校運営協議会の設立当初より、理事会を支える組織である、地域住民ボランティアを中心とした企画推進委員会の活動が充実して展開されている。文化芸術、校外活動、学力向上、国際理解、人権福祉、食育、部活動の7つの分野に分かれ、約140人の企画推進委員が様々な学校支援活動に取り組んでいる。



食育企画推進委員会の活動

## 特徴

- ★教職員とボランティア総勢140名が、7つの企画推進委員会のいずれかに所属し、活躍している。
- ★子供たちと保護者や地域の方とのつながりが深まっているだけでなく、大人の方どうしのつながりも深まっている。
- ★「あすなる」という学校運営協議会便りを発行したり、「出前発表会」と称して各地域で発表会をしている。
- ★長期宿泊活動(山の家3泊4日・みさきの家2泊3日)で子どもたちの支援にたくさんの方が参加してもらっている。



パネル作成



広報紙「あすなる」



出前発表会



長期宿泊活動「山の家」の支援

## 事業を実施して

学校運営協議会の取組を通して、子供たちに本当の意味での「たくましく生きる力」が育ってきた。また子どもと大人との繋がりが深まっただけでなく、教職員と地域の方々また地域の人同士との繋がりも深まり、新町学区としての結びつきが強く感じられるようになった。そして新町小学校や児童に愛着を持っていただいた方が本当に増えたと実感している。



こんな活動です!!

# 自学自習の学習習慣の定着！ 工作や手芸などの特別活動も実施！

## 活動名

神川小学校放課後まなび教室【京都市】

## 関係する学校

神川小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
—	○	○	—

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	—人	—人	—年度	—
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	1人	43.2人	177日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
京都市立神川小学校図書室		20年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年3月24日	11人	747人	26学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

宿題の後プリント学習に取り組むなど、自主学習を中心とし、夏季休業中には工作や手芸なども行い、楽しく活動している。スタッフ会議を月1回開催し、教室の運営や子どもの状況について共有を図っている。学校の教員も日常的に教室の活動に参加するなど、学校との連携も図られている。

## 特徴

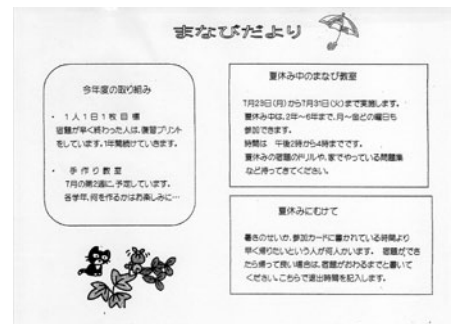
- ★学校教育目標をもとに、「放課後まなび教室」の活動目標を設定している。
- ★スタッフが心を一つにして活動できるよう月に1回スタッフ会議を開催している。
- ★学校敷地内にある児童館とも連携している。
- ★月ごとの学習目標、年間計画を立てて取り組んでいる。
- ★宿題などの学習支援のみならず、工作や紙芝居など子どもたちが楽しめるような活動を工夫している。

神川小学校放課後まなび教室年間計画	
4月	授業の復習
5月	読書の復習
6月	読書を楽しむ
7月	地域名人になろう
8月	地域の学習をしよう
9月	読書の復習
10月	読書の復習
11月	読書の復習
12月	読書の復習
1月	読書の復習
2月	学年のまとめ
3月	アワード発表会

年間活動計画



宿題・プリント学習



保護者宛ての「たより」を発行



ハンカチ染め



スタッフから子どもたちに贈られる「がんばり賞」

## 事業を実施して

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得や自学自習による学習習慣の定着が図れた。
- ・工作や手芸などの工夫した特別活動を通して、学習意欲の向上や豊かな心の育成に取り組めた。

こんな活動です!!

# 伸び伸びと楽しく活動する「いきいき」を求めて

## 活動名

高津小学校「いきいき」活動【大阪市】

## 関係する学校

高津小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	35人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
グラウンド、体育館、余裕教室(大阪市立高津小学校)		5年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

黒門市場での魚さばきの見学、学校と連携した三味線体験など活動メニューが充実しており、学校だけでなくPTA、地域で参加の呼びかけを行ったり、実行委員会に地域の団体も参加し、年間の活動計画づくりに関わるなど、学校・保護者・地域が連携した活動を展開している。また、児童の意見を取り入れて活動内容を工夫している。

### 特色ある取り組み

- ・週1回のゲートボール教室
- ・文楽、三味線体験(学校との連携)
- ・特別プログラム  
魚さばきなど黒門市場見学
- ・子どもの意見を入れた活動
- ・多彩な室内活動と集団活動

## 特徴

- ★日本の伝統芸能のひとつである「文楽」を体験活動として取り入れ広めている。
- ★豊かな集団活動を通じて、異なる学年児童同士の交流が密接となりコミュニケーションが活発化している。
- ★地域ボランティアである「いきいきパートナー」の支援・交流の輪が拡大・継続している。
- ★教職員といきいき指導員との日常的な連携が指導に活かされている。



紙細工による作品づくり



地域の人によるゲートボール教室



人気の一輪車



木工細工による作品づくり



夢中になってサッカーを!

## 事業を実施して

どちらかと言えば小規模校に属する学校だが、継続して参加する児童が多い。「いきいき」の時間になると、にこにこ笑いながらたくさん児童が固まりでやってくる。運営する指導員の創意工夫により、行事の充実だけでなく、集団として良好な人間関係づくりができています。また、地域・学校・保護者との連携が密で、何かにつけ連絡し合い情報を交換しながら取り組みを進めており、それが児童の健全育成につながっている。地域の方々も「いきいき」に対して非常に協力的であり、地域に定着している。



こんな活動です!!

# 「楽しくすごす」いきいき活動をめざして

## 活動名

五条小学校「いきいき」活動【大阪市】

## 関係する学校

五条小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	3人	65人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	グラウンド、体育館、余裕教室(大阪市立五条小学校)		7年度	なし
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

将棋や手芸、七夕祭りなど、地域の支援を受けた活動が行われている。これらの活動の中で、将棋連盟や図書館、警察署等の地域の団体との連携により、幅広い人とのつながりができている。また、毎年参加している作品展に向け、それぞれの子どもが分担して一つの作品を仕上げている活動を行っている。



作品展の制作

## 特徴

- ★地域の「女性会」をはじめ多様なボランティアが参加し活気のある「いきいき」となっている。
- ★「作品展」を目標として、児童の創意工夫が活かされた活動が行われている。
- ★「七夕の集い」など地域と連携した多様な集い・イベント活動が充実し、相互の繋がりが深まっている。
- ★地域図書館・警察署等の地域の団体との連携・支援も年々拡大している。

## 年間活動内容

4月	お茶会	10月	手編みのマフラーづくり
5月	楽しい花植え	12月	クリスマス
7月	七夕飾り	2月	鬼であそぼう
8月	盆踊り	3月	おひな様かざり
9月	紙芝居、人形づくり		



盆踊りの練習



楽しい花植え

## 事業を実施して

「いきいき」活動の時間は、子ども達の放課後の時間を保障するだけでなく、望ましい態度の育成や、健全育成にむけた内容に重点をおいた取り組みになっている。とりわけ、これまでの実績や伝統を生かしながら、活動内容に工夫を凝らすとともに、地域の諸団体などの協力を最大限に活用した活動を展開している。

子ども達と地域の人々とのふれあいのなかで、豊かな心や思いやりの心、感謝のこころが育ってきていることが大きな成果である。

こんな活動です!!

# 地域の伝統産業を活かすなど 保護者、地域の方の多様な学校支援!

## 活動名

堺市立錦西小学校【堺市】

## 関係する学校

錦西小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	-	○

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		-	-年度	-
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

「堺・地域コミュニティ学校推進事業」で「学校運営委員会」が組織され、コーディネーターが調整役となり、従来個別に行われてきた支援活動を結びつけながら、多様な学校支援活動を展開している。また、地域の人々が学校への支援を契機として結びつき、学校が地域コミュニティの場となっている。

- ①聞かせ亭：本の読み聞かせ
- ②かじやクラブと  
金属アートクラブ
- ③サポーターズクラブ：  
校庭の「芝生化の推進」と芝生の上での「グリーンコンサート」、「ペットボトルロケットを飛ばそう大会」、「学校に泊まろう」など
- ④咲かせ亭、美緑委員会：  
花や緑の環境づくり
- ⑤スクラムボランティア：  
登下校時の安全の見守り
- ⑥マイスタディ：  
放課後の学習のサポート



「聞かせ亭」

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

包丁と言えば「堺」。堺打刃物の製作で有名な校区で、子どもが「包丁」づくりをするなど、地域の伝統産業を活用した支援を受けている。刃物製作所の「親方」（子どもたちは、そう呼んでいる）による、「包丁」製作の指導は、12年間続いている。年間10回の活動は、すべて製作所に通い、親方の皆さんは、毎回、自分の仕事を止めて、指導にあたってくださっている。2月には、自分の名前を彫った堺包丁が完成し、子どもの一生の宝となる。また、金属アートクラブでは、子どもが、ランプ、モビール、蜀台などを製作している。

### <実践に当たっての工夫>

学校が地域から支援を受けるだけでなく、学校が地域に貢献する活動にも取り組んでいる。例えば、「堺市立町家歴史館 山口家住宅」や「堺伝統産業会館」の見学者を、子どもが、打刃物の作業場へ案内する。子どもは、このボランティア活動の中で、見学者に、自分の体験を語り、堺の打刃物の素晴らしさを伝えている。他にも、子どもが、特別養護老人ホームでペーパーサートを見せたり、保育所で紙芝居をするなどの活動にも取り組んでいる。

組織図



「かじやクラブ」



「サポーターズクラブ」

## 事業を実施して

学校を支援する各グループが、目的と情報を共有し、互いの活動内容を知ることで、各グループ間の連携が強化され、学校の教育活動、特に学校行事などの充実が実現した。子どもたちは地域や地域伝統産業についての理解が深まり、地域の人々は学校への支援を契機として結びつき、学校が地域コミュニティの場となった。



こんな活動です!!

# 地域ボランティアの協力を得て児童館で放課後子ども教室を開設

## 活動名

仁井田放課後子ども教室【秋田市】

## 関係する学校

仁井田小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	61人	293日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
仁井田児童館		19年度	なし	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

秋田市では、児童館、児童センター、小学校の余剰教室等を活用して、全小学校区での放課後子ども教室の開設を目指している。

仁井田児童館を活用し平成19年に開設、開設時間は平日は学校終業後から午後6時30分まで、土曜日や長期休業期間は午前8時30分から午後6時30分までとし、年間約290日の開設となっている。

地域ボランティア団体等の協力を得て、様々な体験、交流ができる子どもたちの安心で安全な居場所となっている。

## 特徴

児童館が学校に隣接していることで、低学年や留守家庭の利用児童が多く、放課後の安心安全な居場所として定着している。

児童館職員が安全管理員を兼務している。

児童館職員が学校に赴き学校行事の情報を得て開館時間を変更したり、月1回発行の広報紙を学校を通じて全児童に配布するなど学校と連携をしている。

児童館で開設していることで施設を占有できるため、集会室での自主学習や、遊戯室でのボールを使った自由遊び、図書室での読書など子どもたちの自主的な活動ができています。

地域のボランティア団体が、週1回の図書の貸し出し、月1回の読み聞かせやお茶会のほか、豆まき、カルタ、もちつきなどの季節の行事を継続して開催している。また、参加児童が多い行事の開催時には、地域のボランティア団体が運営に協力しているほか、長期休業期間の保育園児を招いた地域交流や地域住民を招いてニュースポーツなどを通じた交流も行っている。



カレーパーティー



オリジナル雪中カルタ



読み聞かせ



もちつき

## 主な行事

4月	新入生歓迎お楽しみ会	8月	スイカ割り、夏休み工作	12月	クリスマスグッズ作り、お楽しみ会
5月	映写会	9月	走らない運動会	1月	初釜
6月	プラバン工作	10月	子どものつどい、カレーパーティー	2月	豆まき、カルタ、おひな様作り
7月	科学遊び	11月	地域の人と遊ぼう	3月	お別れお楽しみ会、もちつき

## 事業を実施して

- 放課後の子どもの安全で安心な居場所が確保されるとともに、異学年や地域の大人との交流を通じて子どもたちが地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりができる。
- 児童館で開設することで施設の有効活用ができるほか、保育士や教員免許等をもった安全管理員を配置できる。

こんな活動です!!

# 地域の教育力を学校の支援に! できることから無理なく・長く・楽しく続ける学校支援

## 活動名

郡山市西田地区学校支援地域づくり  
【郡山市】

## 関係する学校

西田中、高野小、鬼生田小、三町目小、  
根本屋小、大田小

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	113人	21年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

平成21年度から2年間文部科学省委託事業「学校支援地域本部事業」として進め、平成23年度は市独自の事業として、平成24年度は公民館が主体となり進めている。コーディネーターが、各学校の実態を把握し、学校のニーズに応じた地域ボランティアの配置を行い、「できることから無理なく・長く・楽しく続けるために」を合い言葉に活動している。現在は、地域が主体的に進めることができる事業として定着し、他の地域の先行モデルとなっている。小学校では、図書館の読書環境づくりや本の整理を中心に取組み、各学校の図書館が明るく使いやすく整備され、読み聞かせ等により本を読む児童が着実に増加している。また、中学校では、教員OBによる放課後を利用した英語の学習により、英語力が向上するとともにわかる喜びを味わうことができたため、他教科の学習や進路実現にも効果が現れている。

## 特徴

4人でスタートした本事業は、地域コーディネーター・公民館が中心となって地域の様々な団体との連携を実現させ、現在ではボランティア数が113人に増えた。学校の活動が充実するとともに、学校支援を行っているボランティアもそれを生きがいを感じるなど、双方にとって有益な取組となっている。

国の委託事業として開始したが、現在では、地域単独の取組として継続している。

★全体を統括するコーディネーターを中心に、地域のボランティアの横の連携が図られ、校区を超えた支援を行っている。

★学校図書館の整備・読み聞かせを核として、学校のニーズに応じた5つの支援(学習支援、部活動支援、図書館支援・環境整備・見守り隊)を展開し、地域の教育力を学校の支援に生かしている。

★公民館で学習する地域住民は、ボランティアとしてその成果を学校に還元している。また、よりよい支援ができるよう、現在も研修会や情報交換を継続している。

★補助に頼らない独自の取組として活動を継続した結果、ボランティアにも生きがい生まれてる。



見守り隊による安全指導



放課後の英語学習



昔遊び



読み聞かせ



図書館の整備



通学路の整備

## 事業を実施して

- ①見守り隊を実施しているボランティアは、「毎朝、子どもたちから元気の良いあいさつをもらえることや、〇〇さんは今日は来ないのかなどと気遣ってくれることが、うれしくやりがいがある」と話している。また、多くのボランティアは、子どものために役に立ちたい、学校に喜んでもらっているという感想を持っている。このことが、ボランティアの活動意欲につながっている。
- ②コーディネーターと公民館の協力体制が確立され、ボランティア同士の横の連携もスムーズに図られた。
- ③児童生徒が、地域の方がボランティアとして生き生きと活動している姿を日常的に見ることは、人の役に立つ喜びなどの勤労観や職業意識の育成につながるものである。(キャリア教育の一翼を担う)



こんな活動です!!

# 支える、見守る地域の力! 外部コーディネーターがつなぐボランティア活動

## 活動名

前橋市立大胡東小学校学校支援センター【前橋市】

## 関係する学校

前橋市立大胡東小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	3人	ボランティア登録数	60人	開始年度	22年度	補助の有無	なし
	コーディネーター数	子ども平均参加人数	年間開催日数	補助の有無				
放課後子ども教室	一人	一人	一日	-				
	実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携			
	-	-	-年度	-				
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数				
	-	一人	一人	一学級				

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

開校9年目を迎えた本校は、開校以来、地域に根ざす開かれた学校づくりを目指し、学校の様々な活動で地域のボランティアに協力を得るなど、地域の教育力を生かしてきた。

22年度からは、学校とボランティアのつなぎ役であるコーディネーターを地域の方に委嘱して、学校支援センターの組織をより充実させた。コーディネーターは、各領域「図書、寺子屋(放課後の自主学習)、学習支援、安全」において、役割を分担して調整役を果たしている。学校が支援を必要とする際にはコーディネーターに連絡し、コーディネーターがボランティアの方々へ学校支援センター用の携帯電話のメールにより一斉送信して支援者を募っている。

また、公民館主体の子どもわくわく活動実行委員会と連携した「昔遊び」や「わくわく遊び場 夏の学び舎 絵画教室」も実施している。



【ボランティアの協力をえて実施した体力テスト】

## 特徴

### <活動の特徴>

本校では、学校行事や学年での学習支援など様々な分野で、登録ボランティア・学年保護者ボランティア・地域ボランティアと連携し、児童への支援活動を充実させている。学校支援の際には、3人のコーディネーターが役割を分担して調整役を努めるとともに、それぞれの領域にも中核となるリーダーがおり、組織的な活動が行われている。

急な支援依頼に対応し登録ボランティアと連絡調整を行う際や、危機管理対策として地域の方々の協力を必要とする際などにメールを有効活用している。登下校の安全、本の読み聞かせ、寺子屋(放課後の自主学習)、校内外の行事の支援等、予定に沿って行うものもあれば、必要ときに随時支援をしていただくこともあり、いろいろな活動で地域に支えられ、見守られている。

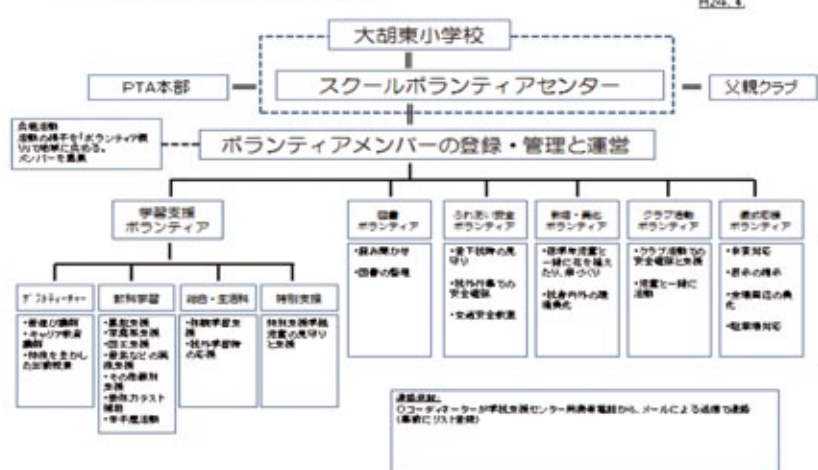


【1年生 下校の見守り】



【読書月間】

前橋市立大胡東小学校 学校支援センター組織図



## 事業を実施して

本校は、開校当初から地域の様々な方々に支えられて教育活動を繰り広げていた土壌がある。今後も継続していくためには、「子どもたちをみんなで育てたい」というボランティアの方々の思いと、子どもたちと職員の間で、学校支援活動が無理なく行われることが必要である。

こんな活動です!!

# 交流を通して地域の人々の思いや願いを知り、本物の「人・もの・文化」を学ぶ。

## 活動名

高崎市立箕輪小学校学校支援センター【高崎市】

## 関係する学校

箕輪小学校

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	0人	364人	19年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	-		一年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
-	一人	一人	-学級	

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

学校の職員がコーディネーターとなり、活動ごとに地域団体の方にボランティアリーダーをお願いし、そのサポートのもとで学校支援を展開している。学校の教科(ふるさと発見学習)と連動し、地域の特産や伝統文化など、地域に根ざした学習支援活動を行っている。



みさと探検隊(4年)



梅干しづくり(3年)

## 特徴

- ★「ふるさと発見学習」として地域の自然や伝統文化を生かした活動をたくさんしている。
- ★学習成果を地域行事で発表。地域行事にも積極的に参加している。
- ★地域団体の代表にボランティアリーダーをお願いし、計画段階から綿密に連携している。
- ★学校職員がコーディネーターであるため、地域とのつながりをより深められるよう努めている。

1~6年 ふるさと発見学習 単元・題材配列表

	4月	5月	6月	7月
地域の行事	みさと祭り			みさと祭り
学校	みさと探検隊	みさと探検隊	みさと探検隊	みさと探検隊
第1学年	生活 ほどきどきわくわく1ねんせい(3)	生活 まさきもの(3)	生活 まさきもの(3)	生活 まさきもの(3)
第2学年	生活 まさきもの(3)	生活 まさきもの(3)	生活 まさきもの(3)	生活 まさきもの(3)
第3学年	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)
第4学年	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)	社会 まさきもの(3)



蛭養殖池へのカワナ放流(4年)



かまどでご飯炊き(5, 6年)

## 事業を実施して

地域の人との交流で、地域の行事に興味をもち、見学や参加する児童が増えた。伝統芸能や産業に気づき、伝えていきたいという気持ちをもつ児童が増えた。児童の学びを作り上げることが、同時に教師自身の学びにつながり、地域をより知ることにつながり、地域との結びつきの上で児童の理解が深まり、自身のふるさとや郷土日本を思うことにもつながった。家庭や保護者も、子どもたちを通じて地域のことに目を向ける機会が増えた。保護者の感想にも、「ずっと箕輪に住んでいるが、残したいもの伝えたいものを改めて実感させてもらった」など、ふるさと箕輪への意識が高まったことがうかがえた。



こんな活動です!!

# 地域の力が注がれる学校をめざして ～新しい風が吹く学校～

## 活動名

西南部中学校支援地域本部【金沢市】

## 関係する学校

西南部中学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	101人	21年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	一人	一人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

本校は、県内一の大規模な中学校である。中学校支援として、学習、部活動、環境整備などの分野で行い、地域と学校の協力体制がバランスよく構築されている。特に、学生ボランティアによる支援が充実しており、学習支援では、定期テスト前の補充教室、3年入試前の補充教室を実施している。また、部活動支援では、月2回程度の指導を受けている。



柔道部支援



学習支援

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

- ★大学との連携が進み、部活動、学習、環境整備(花壇・図書館整備など)に、幅広く大学生と、加えて地域ボランティアが関わっている。
- ★生徒会活動のエコキャップ回収を、多数の地域事業所に呼びかけ、回収作業など、生徒と地域のつながりが強まっている。
- ★キャリア教育で、地域の企業や講師とのふれあいが、生きた学習環境を作る。
- ★地域教育協議会では、年間を通して、人材や事業所紹介、効果的な広報の仕方など話し合っている。

### <実践に当たっての工夫>

- 学生ボランティアの募集は、活動予定記載の案内を大学へ提示する事で、より応募がし易くなる。また、継続した学生の受入は、大学の理解を得ている。
- 活動の確実な実践を積み重ねることは、教職員からの理解を増している。
- 部活動支援では、怪我・事故の防止や技術の伝授につながる活動に向けて、事前に時間を取り打合せる事で、ボランティア能力が指導に発揮される。

### <その他の特徴>

コーディネーターはボランティア募集や活動内容・日時調整・活動準備・担当者打合せ等のほか、地域連携に関係する学習への支援として、学年担当者と打ち合わせや係分担を行い、講師や事業所の発掘にあたる。



野球部支援



花壇整備



プール掃除

## 事業を実施して

学生・地域・社会人ボランティアと生徒との出会いや関わりは、学校に新しい風を吹かせている。部活動支援では、実践によるスポーツへの理解、技術への向上心、関心の高まりなどの活性化が図られている。

- ◆先生よりー事業所で挨拶やお礼を述べることは、社会性を学ぶ良い機会になっている。
- ◆生徒よりー部活動での学生との練習を楽しみにしている。
- ◆学生よりー子どもを理解する勉強になり、自身を振り返る機会となっている。

こんな活動です!!

# 地域ぐるみで子どもをはぐくむ長森南 ～安全で快適な教育環境の実現～

## 活動名

長森南小学校運営協議会【岐阜市】

## 関係する学校

岐阜市立長森南小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	-	○	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	-		-年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	平成21年4月1日	17人	828人	25学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

・学校運営協議会の下、支援推進委員会が組織され、安全部会、学習支援部会、事業部会、クラブ活動部会の4分野で活動している。

・ボランティアの組織が充実している。年間延べ1,500人のボランティアの参加、協力を得て、学校(地域)行事や教科等の学習活動を行っている。

なかでも、文化の日に開催される学校行事「夢生き生き文化フェスティバル」では、20の体験講座を設け、児童、中学生、高校生、保護者、地域の方の心温まるふれあいを生み出している。

参加団体は、消防団、高齢者クラブ、体育振興会などの20の各種団体であり、「竹馬作り」「茶道」「昔の遊び」「エコクラフト」「水墨画」「おもしろ科学実験」などの活動が行われた。



飛行機作りと軽スポーツの様子  
「夢生き生き文化フェスティバル」



## 特徴

### 【学校支援ボランティアの活躍】

・学校行事やPTA活動、地域行事への参画の他、教科や総合的な学習の時間等でも協力を得ている。今年度は、学習サポーターの拡充を図っており、その一環として、4年生が、公民館コーラスクラブの皆様から、教材「ごんぎつね」の朗読と歌を聴かせてもらった。

・各種団体が、学校行事、地域行事に積極的に参画し、児童とふれ合い、健全育成に努めている。



コーラスクラブの朗読

### 【児童の安全を守る】

・防災体制、防災マニュアル、緊急下校の仕方を協議、改善するなど、防災教育に力を入れている。今年度は、改善したマニュアルに従って、6月に緊急下校引き渡し訓練を実施した。828名の児童をスムーズに引き渡せ、改善策の実効性が確認できた。

・子どもの安心・安全を確保するために、地域環境の調査・点検、見守り隊の活動等が充実している。地域環境の整備として、各種団体の働きかけにより、路側帯の真ん中にある電柱の移設、横断歩道の移動等が予定されている。



児童の安心・安全の確保

### 【その他】

「かがやき5項目」を策定し、「児童が学校でできることは地域でもできるように!」という願いのもと、各種団体の指導者も共通の項目で指導にあたることができるよう、スポーツ少年団や長森南文化クラブなど14の団体に依頼した。

### 【かがやき5項目】

- ◎挨拶やマナー、社会のルールなどを身に付ける。
- ◎相手や場に応じた、きちんとした言葉遣いをする。
- ◎学校でも地域でも、集まったら静かに話を聞く。
- ◎自分の思いや考えを、ものおじせず、はっきり話す。
- ◎悪口を言ったり意地悪をしたりしないで、多くの人と仲良くする。

「かがやき5項目」を各種団体に依頼

## 事業を実施して

- 防災体制が大きく改善された。「かがやき5項目」を策定し、「地域ぐるみ」という意識が一層高まった。
- 学校の教育環境が充実するとともに、校区の地域環境も改善、整備され、安全性が高まった。
- 中学生、高校生、保護者、地域住民ボランティアの積極的な参画があり、学校支援活動が充実してきた。
- 学校運営協議会で何を話し合うかが重要。今後も、年間テーマ(例:防災、教育環境等)を決めて協議する。
- 共通実践項目「かがやき5項目」の策定にあるように、児童が学校や地域でさらに輝くように今後も実践を深めていく。



こんな活動です!!

# 「地域の子どもは地域で育てる！」 中学校区一丸となつての取組。

## 活動名

三笠中学校区地域教育協議会【奈良市】

## 関係する学校

三笠中学校・椿井小・大宮小・大安寺西小・佐保川小・大宮幼・大安寺西幼

### 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## ●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	18人	559人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級
	-	-	-	-

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

RVPDCAサイクル(把握・展望・計画・実践・評価・改善)のもと、課題や方向性を明確にした取組を展開。具体的には、地域の実態把握のためのニーズ調査、これを踏まえた大人と子どもによる「子ども未来会議」を開催し、育てたい子ども像を明確にしながら、協働の意欲を高めている。

★協議会会長と総合コーディネーター及び教職員との緊密な連携と協働体制を構築。

★大人と子どもによる「子ども未来会議」を通し、子どもの意見を反映した「ノーテレビデー・ノーゲームデー」「ドッチボール大会」など校区全体の取組の実施。

★地域教育協議会が実施する事業に、中学生が積極的に運営に協力。

★三笠は一つを合言葉に、「三笠まほろば文化祭」を開催し、地域コミュニティづくりを目指している。

## 特徴

### <特徴的な活動内容>

「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、地域ぐるみで子どもを育てることを柱としている。地域の教育力の向上と地域の活性化を図るため、様々な活動を行っている。

### 【特徴的な活動内容】

#### <なら三笠まほろば文化祭>

校区の誇りと一体感を高めたいというねらいのもと「三笠はひとつ、三笠はならのまほろば」をスローガンに掲げ、校区の保育園・幼稚園・小学校・中学校の子どもたちと地域住民が一堂に会した。平成22年度より始め、2年目になる。子どもたちや地域の方々の発表を織り交ぜながら進めた。出演園児・児童・生徒は約350名。総入場者は1000名近くにのぼる。また、運営には裏方スタッフが約120名協力いただいている。

地域教育協議会の各校園・地域諸団体が取り組む本事業が、地域の誇りと一体感を感じさせる新たな校区の伝統事業と定着するよう活動を続けていきたい。

#### <子ども未来会議>

この事業も2年目になる。「世代をつなぐ地域づくりのために」をテーマとして、「同時代を生きる人として、地域の子どもたちと大人が出会い、両方の視点から子どもたちの夢や希望・未来について語り合い、すべての世代がつながり、子どもたちの夢や希望・未来が広がる地域づくりを考える。」を目的として開催している。

第2回は、「ノーテレビデー、ノーゲームデー、子どもたちを光輝かせるか」と題し行った。中学校区で、毎月3日と17日に取り組まれている「ノーテレビデー、ノーゲームデー」をテーマとして、ワークショップと総括講演が行われた。ワークショップでは、4つの小学校区ごとに、小学生・中学生・大人の代表者が意見交換した。テレビやゲームなどの機械が、人を個に分断する原因になっていることや、家族の会話のための時間づくり、家の中でのルールづくりのきっかけになったなどの意見が出た。また、この取組をきっかけに、うちの子がお手伝いしてくれるようになったとの保護者の喜びの声もあがっていた。



奈良まほろば文化祭(会場の様子)



子ども未来会議(会場の様子)

## 事業を実施して

地域教育協議会の活動は、未来を担う子どもたちの成長や学校教育に対して関心の高いコーディネーターたちの献身的な努力により、軌道に乗りつつある。今後は、さらなる機動的な組織づくりのために、学校教職員の意識改革及び幼・小・中間の双方向の連絡体制の整備が必要である。また、地域住民に「地域教育協議会」の知名度を高め、住民参加や協働の必要性を浸透させること、そして、担い手の発掘・育成・拡大が喫緊の課題である。

こんな活動です!!

# 公民館長が地域コーディネーター！地域と学校の架け橋となり、充実した活動を展開！

## 活動名

一ツ橋中学校ぱーとなー本部【福山市】

## 関係する学校

一ツ橋中学校

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	60人	23年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	一人	一人	一日	—
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	—		—年度	—
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	一人	一人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	—	—	—

## 活動の概要

学校と地域相互のニーズを把握し、双方向の支援活動を通して、住みよいまちづくり・開かれた学校づくりを目指している。ボランティアの経験を活かした、多面的な支援による教育内容の充実とともに、町内清掃や花の植え付けなど、生徒の地域への社会貢献も実施している。そのことにより、生徒の自己肯定感も高まっている。



地域の方の協力でぱーとなー花壇づくり。気持ちのいい環境ができた。



## 特徴

- ★中学校区の小学生、地域の方とともに創り上げる行事・活動で、生徒の規範意識・自己肯定感やコミュニケーション能力が高まっている。
- ★地域クリーンアップ活動、校内の花壇づくりで気持ちのいい町づくりを目指している。
- ★地域ボランティアによる校内の環境整備、太鼓部・吹奏楽部・準備片付けボランティアによる地域の夏・秋祭り参加等、双方向の支援活動を行っている。
- ★中学校内の3公民館長が地域コーディネーター！地域と学校の架け橋となっている。

地域クリーンアップ活動への参加を地域へ呼びかけるチラシ



小学生、地域の方々といっしょに中学校区内を一斉清掃！



ボランティアによる「校内駅伝・マラソン大会」での炊き出し



スイーツづくり体験講座

## 事業を実施して

学校や地域社会づくりに貢献することを目的にした計画的・継続的な活動を行った結果、生徒の自己肯定感が高くなってきた。また、規範意識も高まり、落ち着いた環境の中で学習活動を行っている。

◇広島県「基礎・基本」定着状況調査における生徒質問紙調査 H22→H24

「自分にはよいところがある」52.5%→74.0% 「自分のよさは周りの人から認められている」33.6%→56.0%



こんな活動です!!

# 地域とともに、笑顔の居場所づくり

## 活動名

久枝放課後子ども教室【松山市】

## 関係する学校

久枝小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
-	○	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	-人	-人	-年度	-
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	2人	30人	212日	あり
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
松山市立久枝小学校		17年度	あり	
コミュニティスクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

### <教室の実施場所>

主に久枝小学校

### <教室の開催日>

毎週月～金曜日：下校時～17時  
毎週土曜日：9時半～11時半  
長期休業中：午前もしくは午後

### <参加対象者>

久枝小学校児童 1～6年生

### <主な活動内容>

- ・宿題や算数プリント教材を使った学習活動
- ・遊びの要素を取り入れた自由活動
- ・地域の高齢者と子どもの交流活動



上手に作れたかな！?

## 特徴

### <活動のキーワード> 高齢者 つながり 安全安心

- ★**高齢者**・・・子どもとふれあう機会を毎週月・金曜日に設ける。
- ★**つながり**・・・卒業生のピアノコンサートを通じ、つながりを持ち続ける。
- ★**安全安心**・・・スタッフ会議を通じて、様々な危機管理対策。



工作教室の様子



高齢者との交流活動

## スタッフの声

- ・ひとりっ子や年の離れた兄妹がいる子が多く、教室の存在意義を感じる。
- ・おじいさんおばあさんの来てくれる日を心待ちにしている子どもも多い。
- ・趣味の木工で玩具や紙飛行機を作り提供してくれたり、子ども教室を気にかけてくれたり、何より楽しんでくれていることがありがたくすばらしいと思う。スタッフの言うことは聞かない子も、おじいさんの言うことは素直に聞き入れる。そんな関係を大事にしたい。

## 高齢者の声

- ・普段の生活から、「子ども教室で作ると子どもが喜ぶかな」と参考になることがないか自然に心掛けるようになった。
- ・子ども教室に行くのが楽しみで、子どもたちにパワーをもらっている。
- ・将棋やゲームをするとき、子どもが勝つとすごく喜んで報告に来るのが嬉しい。
- ・新しいことを試みるとき「どうしたら興味を持つかな」と考えるのが楽しい。
- ・子ども教室は、新たなライフワークとして欠かせない。

## 事業を実施して

- ・近年、日本の子どもたちから失われてきたといわれる三つの「間(時間・空間・仲間)」子どもたちが健全に育つためのこの「間」を埋めてくれるのが「放課後子ども教室」である。実際、活動している子どもたちを見て、かつて私たちが過ごした「時間・空間・仲間」を彷彿させてくれる。(松山市立久枝小学校)
- ・子どもの安全な遊び場となり、また、地域のボランティアの方に楽しい時間を過ごさせていただき感謝している。(参加者の保護者)

こんな活動です!!

# 合言葉は「子どもは地域の宝」! 多様なボランティアと活動メニューによる学校支援活動

## 活動名

パルキッズ草野【久留米市】

## 関係する学校

草野小学校

活動の区分			
学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティスクール	その他
○	-	-	-

## 基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	3人	85人	20年度	なし
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	-人	-人	-日	-
コミュニティスクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
	-	-	-年度	-
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	-	-人	-人	-学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

## 活動の概要

コミュニティセンターと連携し、多くの地域住民と久留米大学の学生ボランティアの協力を得て、学校支援を行っている。毎週水曜日の放課後は、学生ボランティアによるスポーツ・遊びを中心とした活動を行っている。また、月2回の土曜日は、主に地域人材を講師として「学ぶ・作る・遊ぶ」を中心に多種多様な体験活動を用意し、子ども達に提供している。

**みんな集まれ!**  
放課後・土曜日は  
パルキッズ草野で  
楽しさいっぱい!!

今年度も5月から「パルキッズ草野」がはじまります。  
草野小学校の1年生から6年生まで、久留米大学のおにいさん、おねえさん、地域のみなさんといっしょに、作って、遊んで、楽しみたい。  
今年度もみんなの目が輝くようなプログラムを盛りだくさん準備していることと楽しみにしています。  
新1年生も「パルキッズ草野」の仲間になって、おにいさん、おねえさんといっしょに、学んで、遊びましょう。

**保護者の皆様へ**  
水曜日のパルキッズ草野に参加した日は、学校が17:15より閉校となります。子どもさんが参加される日は、ご家庭での送迎をお願いします。

放課後パルキッズ草野 5月9日(水)からスタートです。  
土曜日のパルキッズ草野 5月12日(土)にスタートします。  
※放課後参加する日は、必ずお父さんかお母さんに来てくださいます。

**みなさんの参加を待っています!!**  
パルキッズ草野への連絡・お問い合わせ先 47-0002  
(草野地区コミュニティセンター)

【パルキッズ募集のチラシ】

## 特徴

- ★コミュニティセンターを核とし、年間50回以上の学校支援活動を計画・実施し、地域づくりの一役を担っている。
- ★コミュニティセンター、老人クラブ、地域の方、PTA、大学生等、多様なボランティアに支えられている。
- ★高齢者が多い地域に、学生ボランティア等の活動的な企画内容が加わり、地域の教育力が活性化している。
- ★学校通信やコミュニティセンター通信で広報することで、学校と家庭・地域の連携を深めるとともに、家庭教育にも貢献している。



久留米大学キャンパス訪問  
担当 久留米大学学生ボランティア



草野町めぐり  
担当 まちづくり振興会



きなこ作り・もちつき大会  
担当 草野小PTA

## 多様な活動メニュー

- ◆ 卑弥呼もびっくり勾玉づくり
- ◆ グランドゴルフ、ドッジボール
- ◆ 新体操「アジャタ」
- ◆ 親子クッキング教室(パン作り)
- ◆ 消防署見学・体験教室
- ◆ パソコン教室
- ◆ ディキャンプ(素麺流し・川遊び)
- ◆ バレーボール
- ◆ スケート教室
- ◆ 絵手紙作り
- ◆ 昔遊び(竹細工) 等

## 事業を実施して

多様なボランティアによる豊富な活動メニューと、年間50回を超す活動で、子ども達の参加者も2年間で2倍に急増する等、事業の活性化につながるとともに、高齢者が大半を占める地域の活性化、教育力の向上になっている。さらに、これらの学校支援活動を学校通信やコミュニティセンター通信等で広報することで、担当ボランティアに協力する地域の方も増え、地域による学校支援の気運が高まってきている。事業後の子ども達の会話や日記には「大学生と一緒に遊んだり、土曜日にいろいろな体験でみんなと協力したりするのが楽しい。来年もぜひ参加したい。」といった来年度の活動内容を期待する声も多い。





## コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

### ●コミュニティ・スクールとは

教育委員会の指定により「学校運営協議会」が設置された学校。教育委員会から任命された保護者や地域住民などが、一定の権限と責任をもって学校運営に参画。

これを通じて

地域とともにある学校の実現

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により導入（平成16年9月9日施行）。



学校運営協議会の主な役割

①校長の作成する学校運営の基本方針を承認します。

②学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べられます。

③教職員の任用に関する意見を教育委員会に述べられます。

## コミュニティ・スクールの成果と文部科学省の取組

- 全国のコミュニティ・スクールでは、学校が抱える様々な課題を解決するために、この制度を活用して、地域と連携した学校づくりに積極的に取り組んでいます。
- 文部科学省では、コミュニティ・スクールの取組の促進に向けて、制度の普及啓発や制度運用の方策等の研究・開発、指定校の実践についての情報発信などの施策を推進しています。

### 成果例

- 地域全体で子どもを守り育てようとする意識が高まり、多くの保護者や地域住民が先生役や見守り役として学校に協力。
- 学校の課題に対して、自治会等による主体的な支援が拡大。
- 地域の行事などに参加する子どもが増え、地域が活性化。

#### 〈指定校における成果認識〉

※文部科学省「学校運営の在り方に関する調査研究」より

・学校と地域が情報を共有するようになった。	92.6%
・地域が学校に協力的になった。	87.7%
・地域と連携した取組が組織的に行えるようになった。	84.0%
・学校に対する保護者や地域の理解が深まった。	82.6%
・教職員の意識改革が進んだ。	77.4%

- コミュニティ・スクールを設置する教育長等からなる「全国コミュニティ・スクール連絡協議会」とも連携し、コミュニティ・スクールの意義や好事例の普及を図る。
- コミュニティ・スクールの推進方策の検討を具体的に進める。

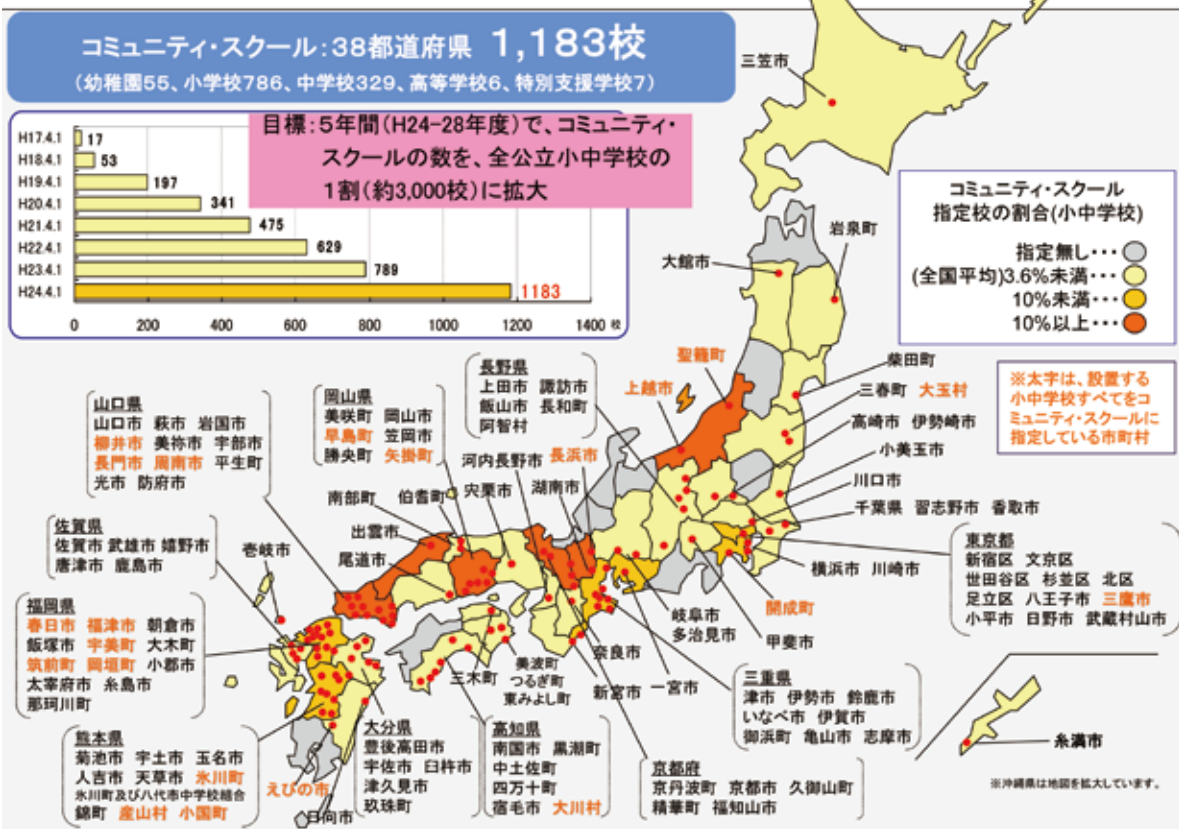
### 文部科学省の取組 <平成24年度>

- 制度等普及説明会 <全国30地域(予定)>
  - ・制度活用の行事例や制度の意義等を普及啓発
- コミュニティ・スクールの導入の在り方に係る研究 <142校>
  - ・これからコミュニティ・スクールを導入しようとする各学校の実情に応じた制度運用の方策を研究
- コミュニティ・スクールでの熟議と協働の充実に関する研究 <7地域>
  - ・コミュニティ・スクールに見られる課題を解決し、実効策を高めるための具体的方策を研究
- コミュニティ・スクールのマネジメント力の強化に関する研究 <100校>
  - ・コミュニティ・スクールにおける地域とともにある学校づくりに必要なマネジメントの在り方等の研究
- 地域とともにある学校づくり推進協議会 <全国7会場>
- 学校の総合マネジメント力強化セミナー <全国1会場>

◆平成24年度予算額：学校運営支援事業等の推進 約1.5億円の内数



## 平成24年度 コミュニティ・スクールの指定状況



## 文部科学省のコミュニティ・スクール推進の取組 (H25年度予定)

### 研究事業

#### <導入促進>

##### ○コミュニティ・スクール導入の在り方に係る研究

- これからコミュニティ・スクールを導入しようとする各学校の実情に応じた制度運用の方策を研究。
- 1市区町村当たり100万円程度の調査研究費。(研究期間:2年間)
- 教職員又は学校事務職員の加配措置

#### <取組の充実>

##### ①コミュニティ・スクールでの熟議と協働の充実に関する研究

- コミュニティ・スクールに見られる課題を解決し、実効性を高めるための具体的方策を研究。
- 1市区町村当たり100万円程度の調査研究費(研究期間:2年間)

##### ②コミュニティ・スクールのマネジメント力の強化に関する研究

- コミュニティ・スクールにおける地域とともにある学校づくりに必要なマネジメントの在り方等の研究。
- 学校事務職員の加配措置+1校10万円程度の調査研究費(研究期間:2年間)

### 地域とともにある学校づくりの促進

今後5年間でコミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割(約3,000校)に拡大する目標の達成



### 普及・啓発等

#### ①地域とともにある学校づくり推進協議会の開催(全国7会場)

- ・研究成果を基にした協議の実施

#### ②制度普及説明会の実施(全国30箇所)※希望に応じて開催

- ・制度活用のお事例や制度の意義等を普及啓発

#### ③学校の総合マネジメント力強化セミナーの開催

- ・学校運営協議会委員等による協議を通じて研究成果を普及。

#### ④情報発信

- ・HP、事例集、パンフレット等による発信。

### 導入・推進への支援・助言

#### ○コミュニティ・スクール推進員(CSマスター)の派遣

- ・コミュニティ・スクールの導入、実践経験のある元校長や教育長、学校運営協議会委員等がきめ細かく丁寧な支援、助言を行う。

- ・約20名のCSマスターを全国各地に派遣予定。



## 学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業

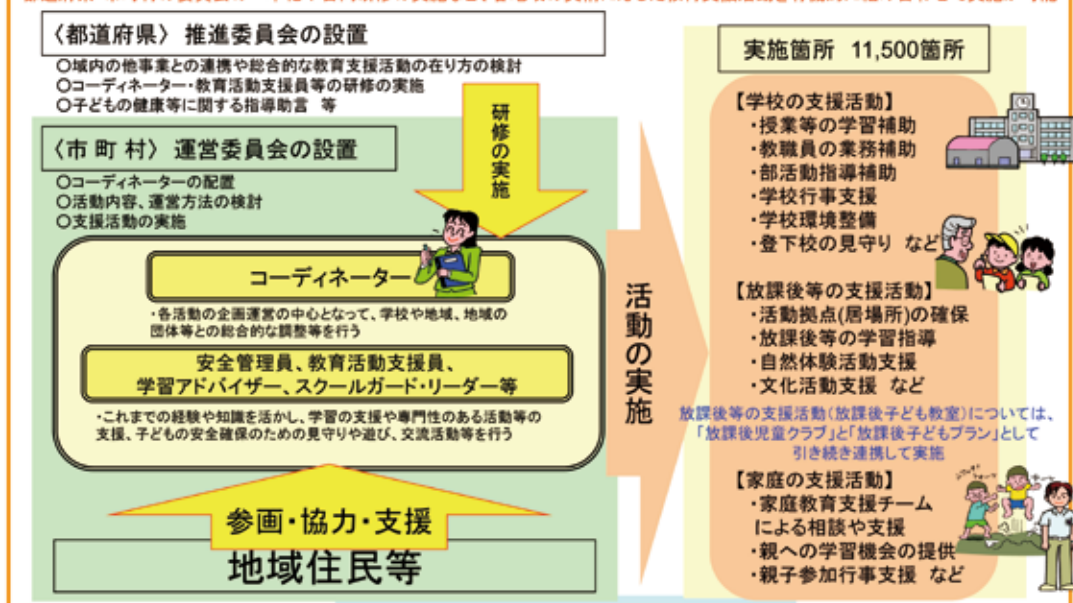
24年度予算額 8,516百万円の内数（前年度予算額 9,450百万円の内数）

【補助率】

地域住民等の参画による「学校支援地域本部」「放課後子ども教室」「家庭教育支援」「地域ぐるみの学校安全体制の整備」「スクールヘルスリーダー派遣」などの教育支援活動を引き続き支援するとともに、各地域の実情に応じたそれぞれの取組を有機的に組み合わせることを可能とし、より充実した教育支援活動を支援する。

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

都道府県・市町村の委員会の一本化や合同研修の実施など、各地域の実情に応じた教育支援活動を有機的に組み合わせて実施が可能



地域社会全体で様々な教育支援活動を実施し、地域の教育力の向上を図る

「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」<sup>※1</sup> 実施状況  
(学校支援地域本部、放課後子ども教室、家庭教育支援)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 <sup>※3</sup>
国庫補助額 (委託費) <sup>※2</sup>	3,774百万円 (2,404百万円)	4,411百万円 (2,166百万円)	4,631百万円 (2,358百万円)	5,166百万円 -	4,649百万円 -
学校支援地域本部 設置数	2,176本部	2,405本部	2,540本部	2,659本部	3,036本部
放課後子ども教室 実施数	7,736教室	8,610教室	9,197教室	9,733教室	10,098教室
家庭教育支援 実施数	332市町村	194市町村	108市町村	315市町村	316市町村
実施市町村数	本部 867市町村 放課後 1,011市町村 家庭 332市町村	本部 1,004市町村 放課後 1,053市町村 家庭 194市町村	本部 1,005市町村 放課後 1,060市町村 家庭 108市町村	本部 570市町村 放課後 1,075市町村 家庭 315市町村	本部 576市町村 放課後 1,076市町村 家庭 316市町村

※1 平成23年度より、学校支援地域本部、放課後子ども教室、家庭教育支援等を総合的に推進する統合メニュー化。(22年度以前は個別メニューで実施。)

※2 学校支援地域本部については、平成20～22年度、家庭教育支援については、平成20～21年度は委託事業として実施。(21年度以降は補助事業も併せて実施。)

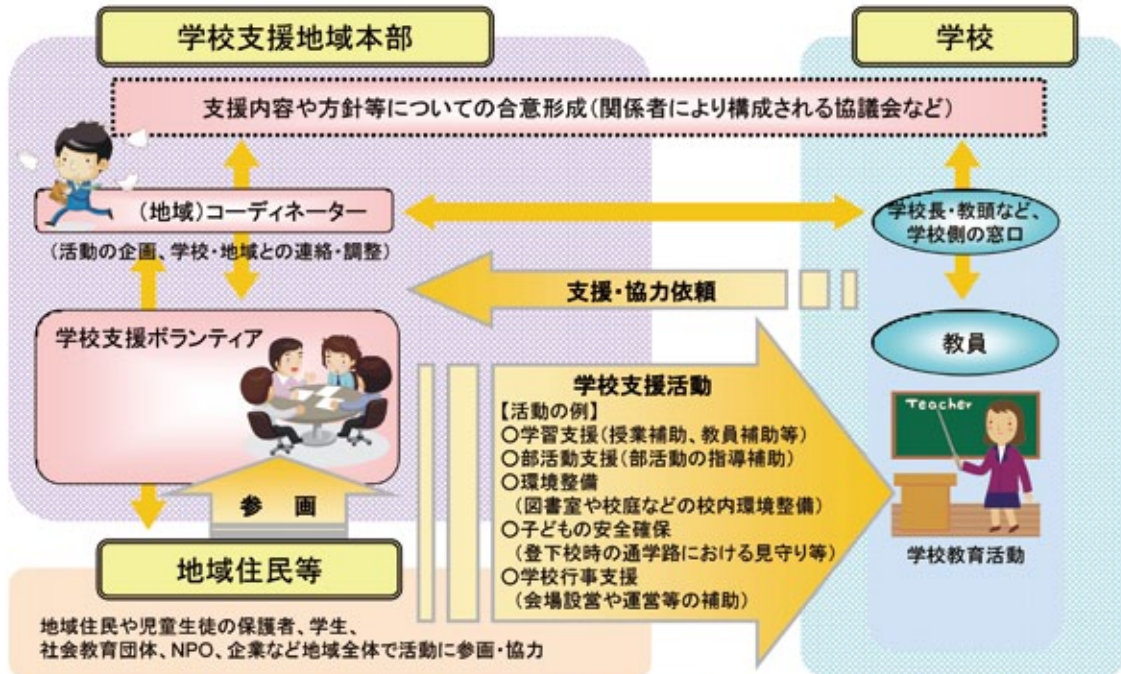
※3 平成24年度は、岩手県、宮城県、福島県、仙台市等の被災自治体は委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」(1,082百万円の内数)で実施。



## 学校支援地域本部

(学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の中で実施)

地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組み(本部)をつくり、様々な学校支援活動を実施



地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る

## 放課後子ども教室

(学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業の中で実施)

地域住民等の参画により、放課後や週末等に、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供



子どもたちの安心安全な活動拠点を確保し、様々な学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに、活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図る

# 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰要項

平成23年3月2日  
文部科学大臣決定

## 1 趣 旨

この要項は、未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支援する活動(以下「地域による学校支援活動」という。)のうち、その内容が特に優れ、他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣が行う表彰に関して必要な事項を定めることを目的とする。

## 2 表彰の対象

表彰は、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」での教育方針に基づいた「地域による学校支援活動」や、「学校支援地域本部」及び「放課後子ども教室」等における「地域による学校支援活動」のうち、その内容が他の活動と比して特に優れ、他の模範と認められるものに対して行うものとする。

なお、PTA活動として行われる学校支援活動については、別に定めるところにより表彰を行うものとし、本要項の対象とはしない。

### 【表彰対象の基準】

組織、運営及び活動について、概ね以下に掲げる内容の活動であること。

#### (1)組織、運営

- ア 地域の実情に応じた組織により、幅広い関係者の参画を得て、効果的な運営が行われていること。
- イ 連携する学校側の意見を十分に反映して運営が行われており、学校関係者との連携協力が円滑に行われていること。

#### (2)活動

- ア 地域のコーディネーターの調整のもと、学習支援、放課後の活動を含む学校外活動、学校環境整備、子どもの安全確保など、「地域による学校支援活動」が活発に、かつ継続的に行われていること。
- イ 多くの地域住民等がボランティアとして参加し、地域の実情に応じた創意工夫のある活動を展開するなどにより、当該地域の教育環境の改善・充実に効果を上げていること。
- ウ 学校以外の地域の各種機関・団体とも幅広く連携協力し、活動が行われていること。

## 3 推薦の方法

### (1)推薦依頼

文部科学省は、都道府県、指定都市、中核市(以下「都道府県等」という。)に対し、上記2を満たす活動のうち、表彰するにふさわしいと判断するものについての推薦依頼を行うものとする。

### (2)都道府県等における推薦方法

都道府県等は次に定めるところにより、被表彰対象候補として、上記2に該当する「地域による学校支援活動」を、文部科学大臣に推薦することができる。

なお、推薦にあたっては、<別紙>優れた「地域による学校支援活動」推薦書に推薦の理由等を記載し、文部科学大臣に提出するものとする。

#### 【都道府県等による推薦数】

都道府県等においては、選考の上、上記2の表彰対象の基準を満たす域内に存在する「地域による学校支援活動」のうち、都道府県については3件以内、指定都市については2件以内、中核市については1件を、それぞれの被表彰対象候補として推薦することができる。

なお、選考にあたっては、都道府県等に関係者からなる選考委員会を設け、その議を経るとともに、複数推薦する場合は、推薦順位を決定し、推薦書に明記した上で提出するものとする。

### (3)文部科学省における推薦

上記(2)による都道府県等からの推薦のほかに、文部科学省は、表彰するにふさわしいと判断する「地域による学校支援活動」を、被表彰対象候補として審査の対象に加えることができる。

## 4 被表彰対象活動の審査及び決定

文部科学大臣は、上記3により推薦された「地域による学校支援活動」について、学識経験者等の意見を聞いて審査を行い、被表彰対象活動を決定する。

## 5 受賞歴について

当該表彰の受賞は1回限りとする。ただし、他の表彰等の受賞歴は問わない。

## 6 表彰の期日等

文部科学省において別に定める。

## 7 表彰の取り消し

次に該当する場合は、表彰を取り消すことができる。

- (1)被表彰対象活動に関する推薦書に不実な記載があると判明したとき。
- (2)被表彰対象活動において、本表彰の趣旨を損なう行為があったとき。

## 8 本表彰にかかる事務

本表彰にかかる事務については、文部科学省初等中等教育局参事官付(学校運営支援担当)の協力を得て、文部科学省生涯学習政策局社会教育課において処理する。

## 附 則

- 1 この決定は、平成23年3月2日から実施し、平成23年度の表彰から適用する。
- 2 放課後子ども教室推進表彰要項(平成20年11月11日生涯学習政策局長決定)は、本要項の決定をもって廃止する。